八潮市地域公共交通網形成計画

調査報告書

令和２年３月

八　潮　市

【　目　次　】

頁

序　計画策定の目的と位置付け …… **1**

１　八潮市の地域特性と公共交通の現状把握 …… **3**

１－１　上位・関連計画の整理 …… 3

１－２　八潮市の現況把握 …… 7

１－３　公共交通に関する現状 ……14

２　ニーズ調査 ……**28**

２－１　市民アンケート調査 ……28

２－２　利用実態調査 ……52

２－２－１　公共交通利用者実態調査 ……52

２－２－２　主要施設利用者アンケート調査 ……59

２－３　運行事業者・関係団体アンケート調査 ……64

２－４　民生委員・児童委員アンケート調査 ……71

２－５　地域会議の開催 ……77

３　公共交通の問題点・課題の整理 ……**87**

４　目指すべき公共交通の方向性 ……**100**

序　計画策定の目的と位置付け

（１）計画策定の目的

八潮市は、大都市地域における宅地開発及び鉄道整備の一体的推進に関する特別措置法により、土地区画整理事業と併せて、鉄道用地を確保する手法により、平成 17 年度につくばエクスプレス八潮駅が開業し、駅を中心として集合住宅や戸建て住宅が建築され、子育て世代や単身者の転入が多く人口が増加している。

一方で、北部地域は市街化調整区域が多く、開発が制限されていることから人口が減少しており、商業・サービス業などの立地状況にも差異が生じている。また、橋や高速道路などの交通状況やバス事業の採算性などから、一部地域において交通空白もしくは交通不便な状況が生じている。

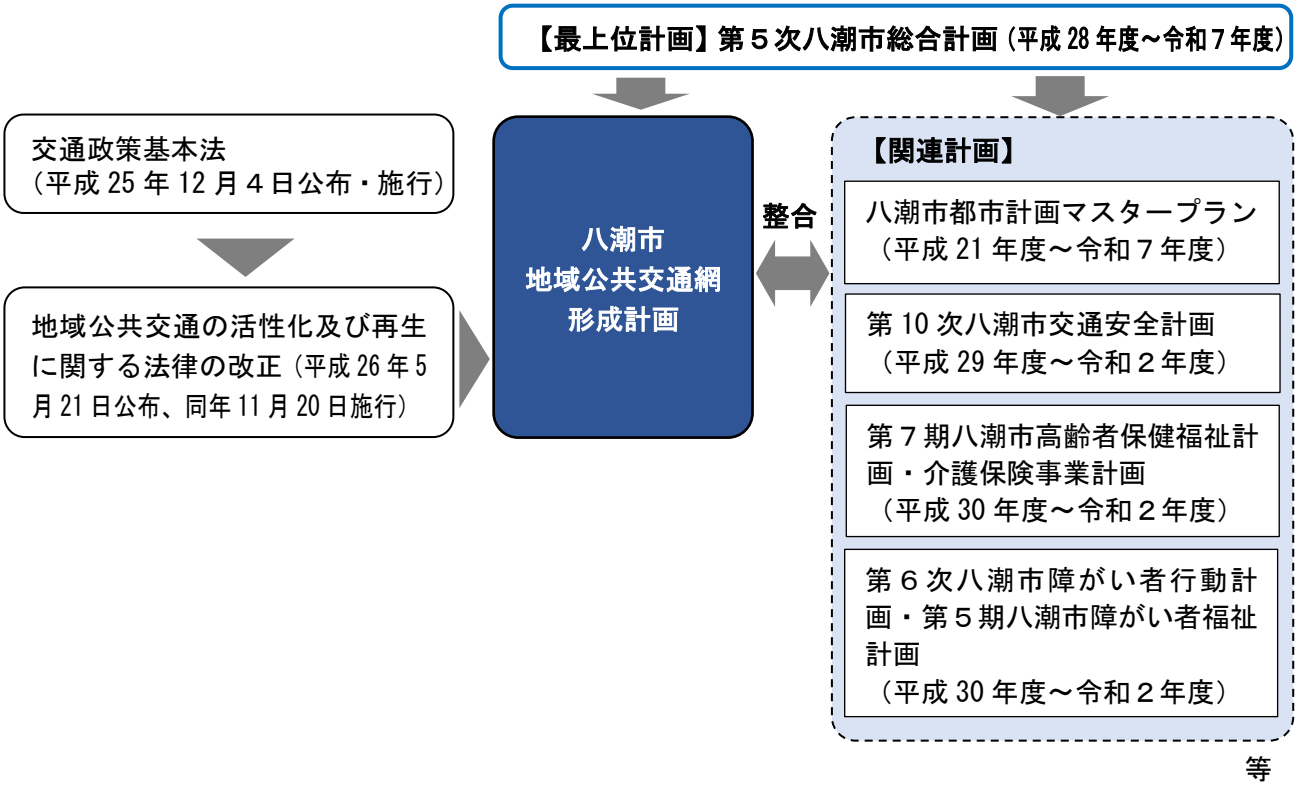
八潮市の高齢化率は 22.8%（平成 31 年４月 1 日現在）と全国平均より低くなっているが、高齢者数は確実に増加し、北部地域など人口の少ない地域では高齢化率が高くなっている。今後は特に 75 歳以上の後期高齢者の割合が高くなると予想されている。

このような状況の中、持続可能な公共交通の構築、公共交通空白・不便地域の解消、高齢者や障がい者などの交通弱者等の移動手段の確保などについて、限られた資源を有効に活用し、最適な配分となるよう路線バス網の再編や地域の実情に即した持続可能な新たな公共交通の可能性も視野に入れた地域公共交通網形成計画を作成するものである。

計画の作成にあたっては、令和元年度に市民ニーズや公共交通の利用実態を把握するためにアンケート調査やヒアリング等を行い、八潮市の公共交通の課題などを把握、分析するとともに、計画作成に向けた基本的な考え方を整理し、令和２年度に課題などに対して、「八潮市地域公共交通協議会」で検討を行い、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に規定する基本方針に基づき、課題を解決するための計画の目標や成果指標、事業等を設定するなど、５年先、10 年先を見据えた実効性のある計画とするものである。

（２）計画の位置付け

本計画は、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成 29 年５月 12 日改定）」（以下「活性化再生法」という。）第５条に規定する法定計画として、最上位計画である「第５次八潮市総合計画」に即し、「八潮市都市計画マスタープラン」等との整合を図り、総合的なまちづくりの一環として公共交通に係る事項を位置付ける計画とする。



（３）計画区域

本計画の区域は、八潮市全域とする。

（４）計画期間

本計画の計画期間は、「第５次八潮市総合計画」や「八潮市都市計画マスタープラン」の目標年次との整合を図り、令和３年度から令和７年度までの５年間とする。

なお、計画の期間内においても、今後の社会情勢等の変化や関連計画の見直し等に適応するよう必要に応じて計画の見直し・修正を行う。

■本計画と主な関連計画の計画期間　　（年度）

年度	～H30	R１	R２	R３	R４	R５	R６	R７	R８～R12
第５次八潮市総合計画	H28～R７								
八潮市都市計画マスタープラン	H21～R７								
八潮市地域公共交通網形成計画			計画策定	R３～R７（５年間）					R8～R12（見直し）

1　八潮市の地域特性と公共交通の現状把握

１－１　上位･関連計画の整理

（１）第５次八潮市総合計画

【計画期間】　平成 28 年度～令和７年度
【まちづくりの基本理念】　共生・協働のまちづくり、安全・安心なまちづくり
【将来都市像】　住みやすさナンバー１のまち　八潮
【将来目標人口】　2025 年度：10 万人
【分野別将来目標】
・教育文化・コミュニティ：学びとつながりを大切にするまち
・健康福祉・子育て：誰もがいきいきと暮らせるまち
・防災・防犯・消防・救急：誰もが安全で安心して暮らせるまち
・産業経済・観光：地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまち
・都市基盤・環境：快適でやすらぎと潤いのあるまち
・新公共経営：協働で経営する自主・自律のまち

【第３節　快適で便利な道路・交通網づくり（道路・交通）】

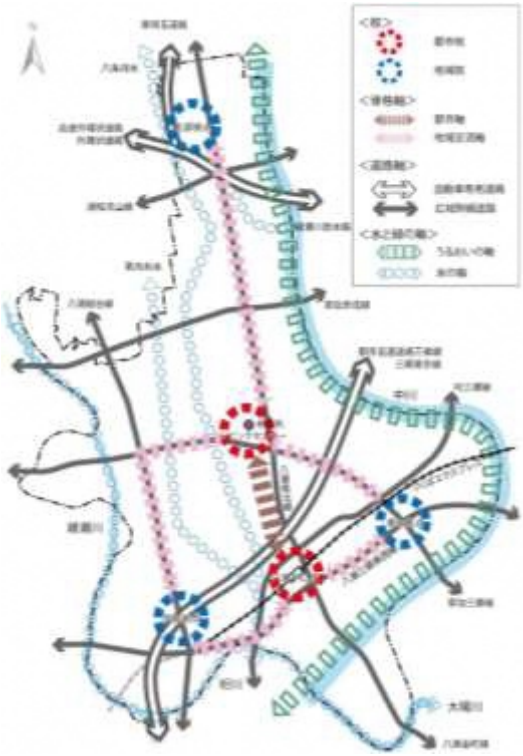
［基本目標］
：市内の主要な幹線道路や生活道路等の整備や改良が進むとともに、公共交通が整備され、誰もが快適で便利に移動することができています。

［施策の内容（公共交通関連のみ）］
○つくばエクスプレスの利便性の向上
沿線自治体と連携を図りながら、つくばエクスプレスの輸送力の強化を促進します。
○地下鉄８号線の導入の促進
地下鉄８号線が本市を南北に縦断するルートで早期に導入されるよう、関係機関等とともに積極的に活動します。
○バス交通の充実
誰もが快適で便利な交通網を整備するため、利用者のニーズを把握しながら、コミュニティバスを含むバス路線網の充実に努めます。また、高齢者や障がいのある人等に配慮したノンステップバスの導入を促進します。
※地下鉄８号線：平成 12 年１月の運輸政策審議会答申第 18 号で示された東京メトロ有楽町線の延伸（亀有～野田市）路線のこと。「東京８号線」「高速鉄道東京８号線」ともいう。

（２）八潮市都市計画マスタープラン

【計画期間】　平成 21 年度～令和７年度
【将来人口】　平成 27 年から令和７年まで：10 万人
【目標とする都市像】
安心して暮らせる　快適都市　やしお
【都市づくりの基本方針】
○安全で“住みよい”都市づくり
○人にも自然にも“やさしい”都市づくり
○個性を活かした“美しい”都市づくり
○にぎわいや活気にあふれ“活動しやすい”都市づくり

■将来都市構造図



【道路・交通システムの整備方針（快適な公共交通システムの形成）】

だれもが利用しやすい快適な公共交通システムを構築することにより、公共交通機関の利用を促進し、自動車交通量の抑制を図るとともに環境にやさしい都市づくりを進めます。

○鉄道利便性の向上

つくばエクスプレスの利便性の向上を図るため、八潮駅始発列車の増発及び快速列車の停車について、首都圏新都市鉄道株式会社に要請するとともに、沿線自治体との連携により、東京駅への延伸を促進します。

また、駅と首都高速６号三郷線八潮パーキングエリアが近接する貴重な特性を活かし、さらなる連携強化を図ります。

さらに、南北方向の交通利便性の向上を図るため、地下鉄８号線の延伸については関係機関とともに、積極的な活動を展開します。

○バス利用の促進

環境対策や高齢者等の交通手段を確保するため、快適なバス停の整備や市街地整備と併せ、バスルートの充実・見直しを促進します。また、先進的なバス運行システムの導入を検討します。

○だれもが利用しやすい交通施設の整備

公共交通機関は、高齢者や障がいのある方の活動を支える重要な移動手段であることから、だれもが利用しやすい交通施設を目指して、バス停車帯やスロープなどの設置を関係機関と協力して推進します。

（３）第 10 次八潮市交通安全計画

【計画期間】　平成 29 年度～令和２年度

【目標】

○事故件数：令和２年までに年間の人身交通事故件数（高速隊の分を除く）を 320 件以下とし、自転車の関係する交通事故死傷者数は 100 人以下とします。

○死者数：年間の交通事故死者数を０人とします。

【人と環境にやさしい道路交通環境の整備→交通需要マネジメントの促進】

交通事故の発生要因となる交通渋滞の解消や高齢者の移動手段を確保するため、路線バス等を中心とした公共交通の充実を図り、過度に依存した自家用乗用車の利用の抑制に努めます。

○バスの利便性向上

バスの利便性向上を図るため、利用状況や道路環境などを総合的に判断しルートやダイヤの見直しをバス事業者に要望します。

○バス停留所の環境整備

安全で快適にバスを利用できるようにするため、バス停留所の上屋などの環境整備をバス事業者に要望します。

○ノンステップバスの導入促進

高齢者や障がいのある人が安全で快適にバスを利用できるようするため、ノンステップバスを購入するバス事業者に対し、購入費の一部を補助しノンステップバスの導入を促進します。

（４）第７期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

【計画期間】　平成 30 年度～令和２年度

【基本理念】　健康でいきいきと安心して暮らしつづけられる地域をめざして

【計画目標】

○高齢者が健康で生きがいをもって、住み慣れた地域で安全・安心に暮らせるまち

→地域包括ケアシステムの推進

介護予防・日常生活支援総合事業の充実

福祉車両・車いす貸出（社会福祉協議会）

○市民一人ひとりが地域ぐるみで助け合い、支え合えるまち

→地域福祉活動への参加の促進

長寿祝金事業の実施（長寿祝金を見直すとともに、運転免許証を返納した高齢者などの交通手段の確保策を検討）

○住み慣れたところで、親しい人たちに見守られながら尊厳をもって人生の最期を迎えることができるまち

（５）第６次八潮市障がい者行動計画・第５期八潮市障がい者福祉計画

【計画期間】　平成 30 年度～令和２年度
【基本理念】　ともに生き、ともに支え合う地域づくり
【基本目標】
○自立した地域生活の維持および継続
○社会参加を進めるための体制の充実
○障がい児の健やかな育成を支援する体制の充実
○地域で支え合い、安心して暮らせる環境づくりの推進
→公共交通機関の充実（ノンステップバスの導入促進、バス路線網の充実、バス停環境の計画的な整備の推進）
→移動支援の充実（移動支援事業の充実、各種支援制度の広報の充実、福祉車両の貸出しの推進、福祉タクシー利用料金・自動車燃料費の助成、福祉有償運送の促進）
○利用者本位のサービスの実現

（６）八潮市産業経済振興基本計画　第２次前期計画

【計画期間】　平成 28 年度～令和２年度
【基本的な施策（７つの基本的な施策に掲げるもののほか産業の振興を図る）】
→産業の振興のために必要と認めるもの（公共交通機関の整備促進）
○地下鉄８号線導入促進事業の継続実施
○路線バス網の継続的な整備促進

（７）第２次八潮市環境基本計画

【計画期間】　平成 28 年度～令和７年度
【望ましい環境像】　水と緑にふれあえる、環境にやさしいまち八潮
【環境目標】
○自然環境分野：きれいな水と豊かな緑に恵まれ、人と自然がともに生きるまち
○生活環境分野：健康で安心した生活を送ることができるまち
○快適環境分野：快適でいつでも住み続けたいと思うまち
○地球環境分野：温室効果ガスやごみの排出量が削減された地球環境を守るまち
○環境活動分野：みんなが環境への思いやりを持ち環境活動に参加するまち

【方針：低炭素型まちづくりの推進】
［施策の方向：公共交通機関の利用促進］
○コミュニティバスの運行
八潮駅へのアクセス、交通空白地域の解消、公共交通機関の利用促進を図り、マイカーの使用を抑制するため、コミュニティバスの運行を充実させます。
○道路交通の円滑化
道路交通の円滑化を図るため、交通案内システム等の導入促進や総合的な駐車対策を推進するとともに、道路交通情報や渋滞情報の提供を行います。
○路線バス網の整備促進
路線バス網の充実を図るため、バス事業者に要望します。
○地下鉄８号線の導入促進
つくばエクスプレスに加え、市内を南北に縦断する新たな公共交通機関となる地下鉄８号線の早期導入に向けて、関係機関に要望します。

１－２　八潮市の現況把握

（１）地形的特性

八潮市は埼玉県の東南部、東京都心から約 15 kmの位置にあり、中川低地の南側に位置し、中川と綾瀬川にはさまれた自然堤防と後背湿地からなる面積 18.02 km^{2}の平坦な地域である。

かつては江戸の穀倉地帯であり、米や野菜の生産を中心とする純農村として栄え、その後、首都圏における人口と産業の集中の影響を受け、工場や住宅の立地が進み、人口も順調に増加した。

■八潮市の位置

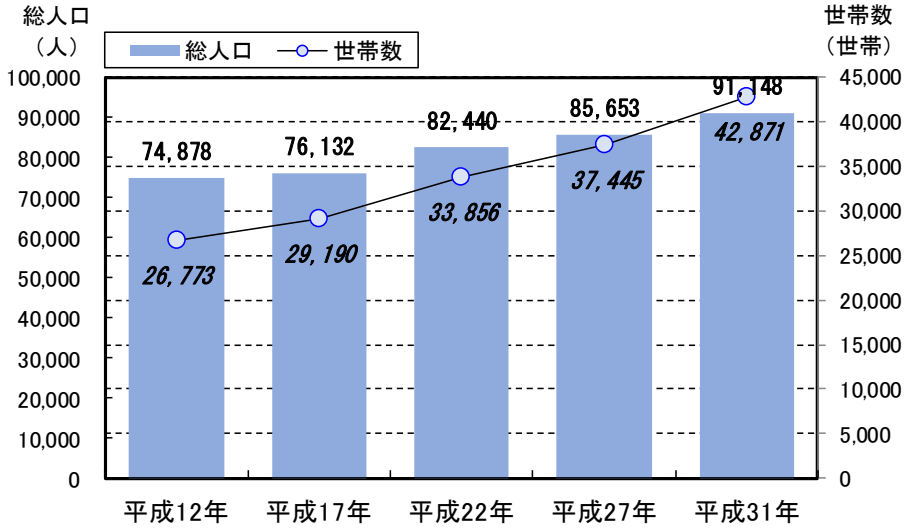
（２）人口動向

①総人口・世帯数

総人口は、昭和 30 年代の工場誘致条例の制定や東武伊勢崎線と営団地下鉄（現東京メトロ）日比谷線との相互乗り入れによる都心との直結等を契機として緩やかに増加した。その後、昭和 40 年代後半に入って急速に増加し、以降は安定していたが、平成 17 年のつくばエクスプレスの開通以降は再び増加に転じている。

平成 31 年４月１日現在、総人口は 91,148 人、総世帯数は 42,871 世帯となっており、総世帯数が年々増加傾向にある一方、一世帯当り人員は減少している。

■総人口・世帯数の推移

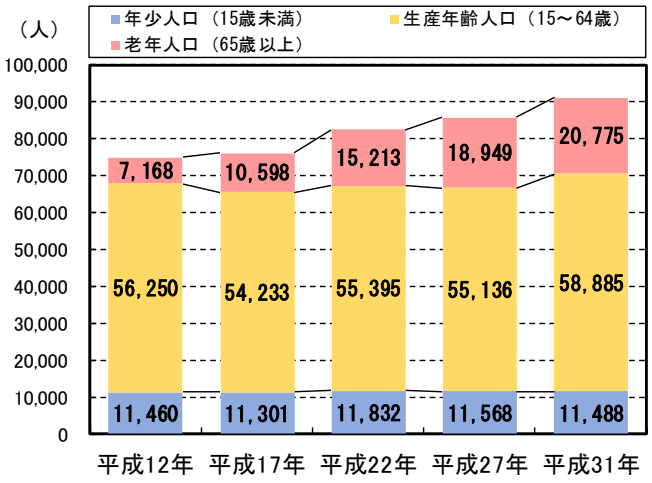


出典：住民基本台帳（各年４月１日現在）

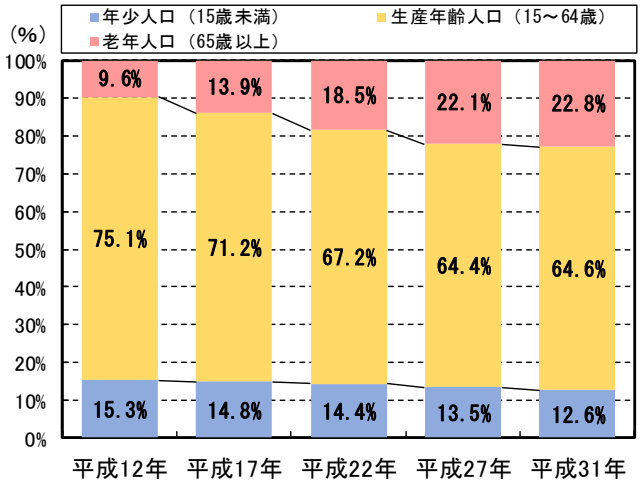
②年齢３区分別人口

平成 31 年４月１日現在、年齢３区分別人口構成比は年少人口が 12.6%、生産年齢人口が 64.6%、老年人口が 22.8%となっており、高齢化率は平成 12 年が 9.6%に対し、平成 31 年が 22.8%と上昇しており、全国（26.7%）、埼玉県（24.8%）と比べ低い水準であるものの、高齢化は進んでいる。

■年齢３区分別人口の推移



■年齢３区分別構成比の推移



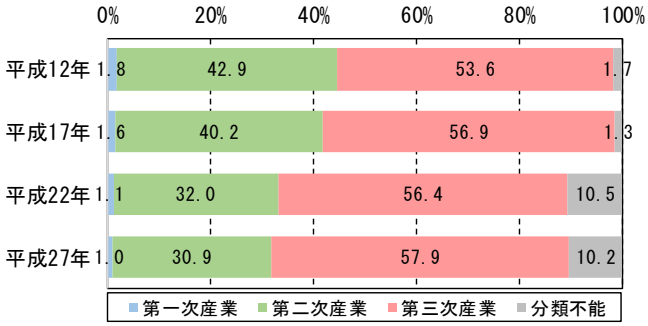
出典：住民基本台帳（各年４月１日現在）

（３）産業動向

八潮市の産業は、昭和 35 年の工場誘致条例の施行を契機に、かつての農業主体の産業構造から大きく変化してきた。

農業を主体とした第１次産業人口と、製造業等を主体とした第２次産業人口が減少し、サービス業を主体とした第３次産業人口はつくばエクスプレス八潮駅の開業に伴う商業集積が進み、増加している。

■産業別人口比率の推移



出典：国勢調査

（４）土地利用状況

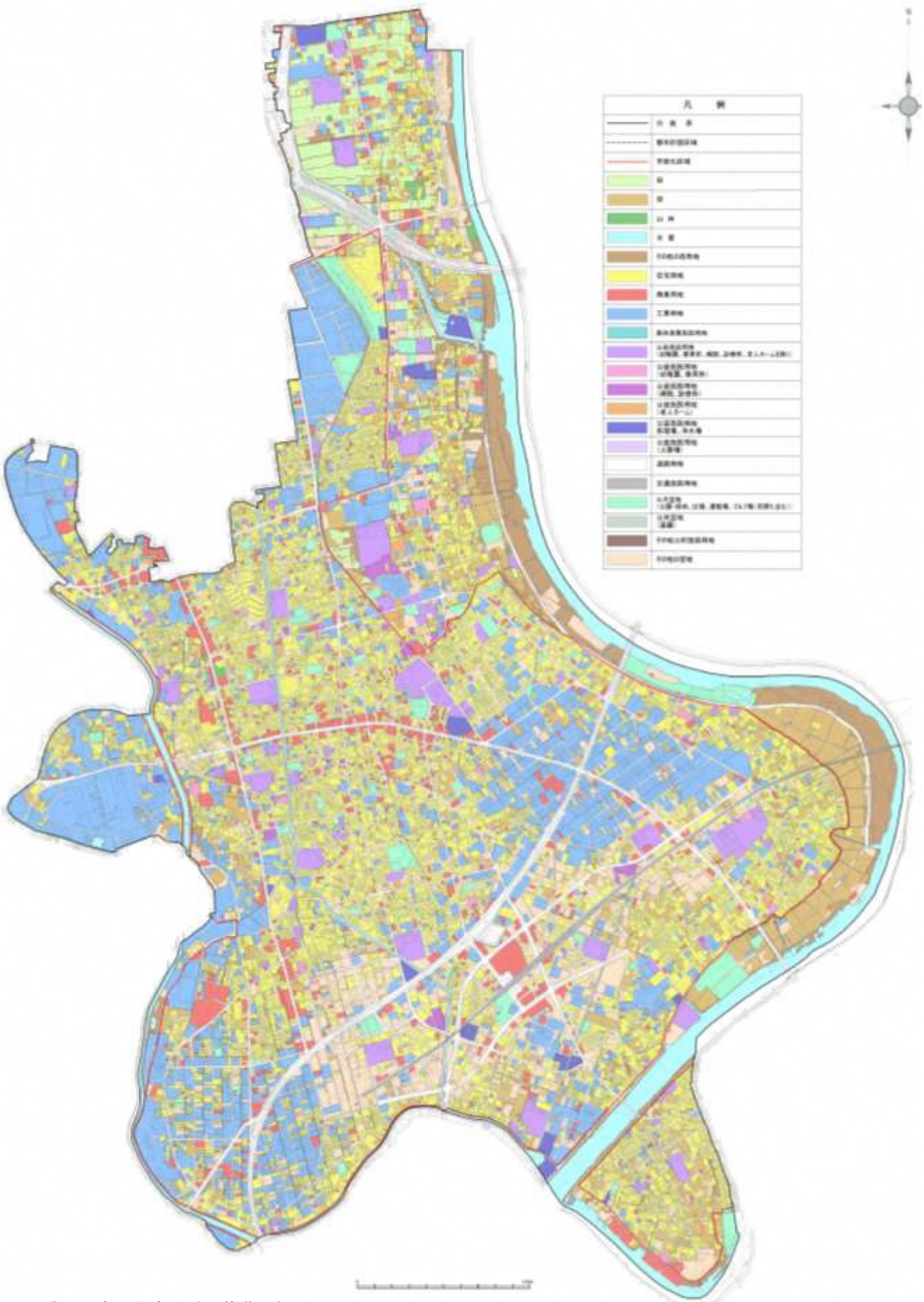
土地利用現況は、平成 27 年都市計画基礎調査によると、農地等の自然的土地利用が 18.1%、住宅用地や商業用地等の都市的土地利用が 81.9%となっている。

平成 22 年から平成 27 年にかけて、都市的土地利用が 2.0%増加し、その主な内訳は道路用地が 0.8%、商業用地、工業用地、公共空地がそれぞれ 0.7%増加しており、自然的土地利用が 2.0%減少している。

■土地利用現分類別面積

土地利用分類		平成22年		平成27年		
		面積(ha)	割合	面積(ha)	割合	増減
自然的土地利用		361.52	20.1%	325.68	18.1%	-2.0%
	農地（田・畑）	173.16	9.6%	162.60	9.0%	-0.6%
	山林	2.03	0.1%	1.93	0.1%	0.0%
	水面	91.49	5.1%	99.89	5.5%	0.5%
	その他の自然他	94.84	5.3%	61.26	3.4%	-1.9%
都市的土地利用		1441.48	79.9%	1476.32	81.9%	2.0%
	住宅用地	447.70	24.8%	457.68	25.4%	0.6%
	商業用地	61.89	3.4%	74.59	4.1%	0.7%
	工業用地	309.31	17.2%	321.19	17.8%	0.7%
	農林漁業施設用地	0.00	0.0%	0.99	0.1%	0.1%
	公益施設用地	84.71	4.7%	92.20	5.1%	0.4%
	公共空地	29.15	1.6%	41.91	2.3%	0.7%
	道路用地	283.62	15.7%	297.59	16.5%	0.8%
	交通施設用地	6.95	0.4%	5.70	0.3%	-0.1%
	その他公的施設用地	0.00	0.0%	0.00	0.0%	0.0%
	その他の空地	218.15	12.1%	184.47	10.2%	-1.9%
合計		1803.00	100.0%	1802.00	100.0%	

■土地利用現況図



出典：平成 27 年都市計画基礎調査

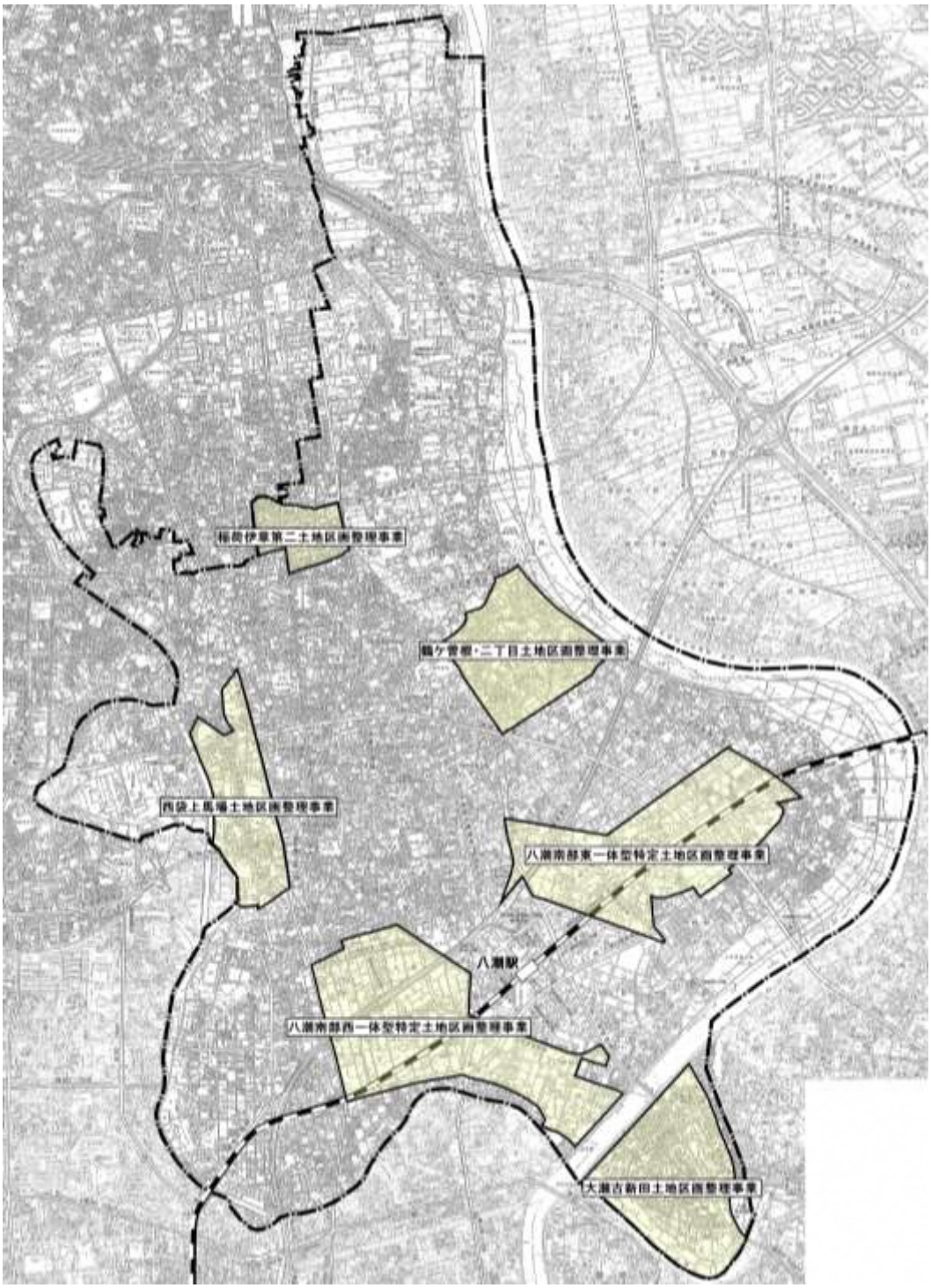
（５）主な都市基盤整備の進捗状況

①土地区画整理事業

市内では、６地区で土地区画整理事業を推進している。

■施行中の土地区画整理事業（平成 31 年４月１日現在）

事業名	街路築造率	事業施行期間	施行面積	計画人口
鶴ケ曽根・二丁目土地区画整理事業	99.0%	昭和 57 年度～令和６年度	50.2ha	4,500 人
稲荷伊草第二土地区画整理事業	99.5%	昭和 58 年度～令和６年度	18.1ha	1,600 人
大瀬古新田土地区画整理事業	55.1%	昭和 63 年度～令和 13 年度	52.3ha	6,300 人
西袋上馬場土地区画整理事業	16.9%	平成８年度～令和４年度	39.0ha	3,900 人
八潮南部東一体型特定土地区画整理事業	47.4%	平成９年度～令和６年度	88.1ha	9,100 人
八潮南部西一体型特定土地区画整理事業	77.1%	平成９年度～令和 11 年度	99.1ha	10,400 人



②八潮市役所庁舎建設

新庁舎の建設は、シビックセンター（市役所周辺の公共・文化施設等が集積する地区）としての拠点形成に寄与するよう、平成 30 年度に策定された基本計画に基づき、基本設計・実施設計を経て、令和５年度（2023 年度）までに整備することを目標に進められている。

〇建設場所：現庁舎敷地

〇新庁舎の規模：約 15,000m^{2}を基本

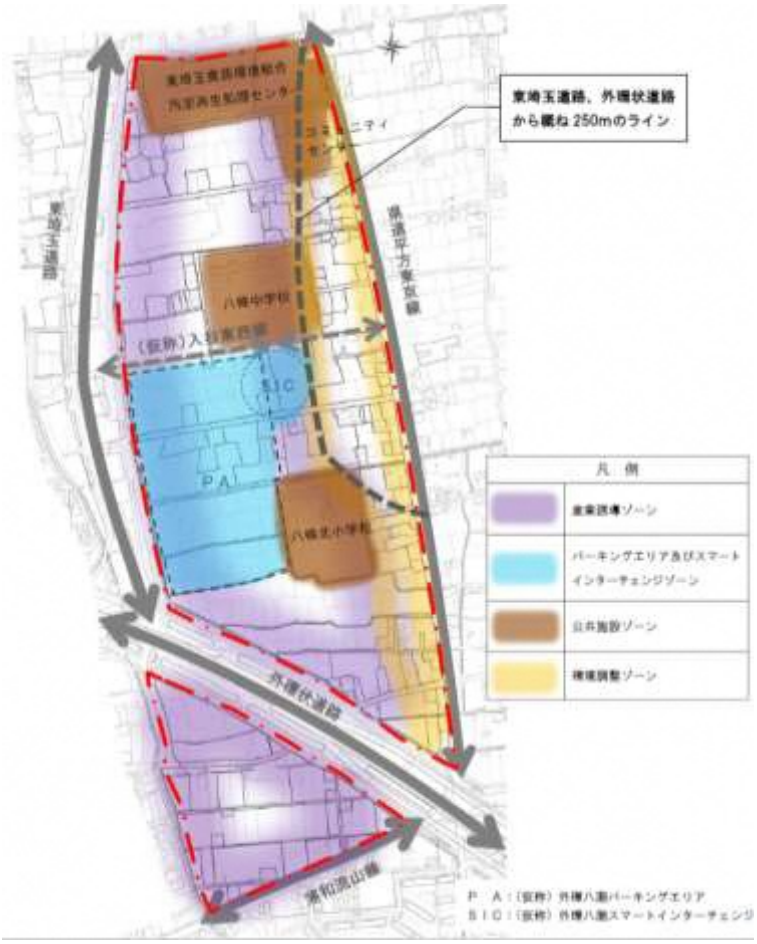
■想定事業スケジュール

出典：八潮市庁舎建設基本計画

③北部拠点まちづくり推進地区

北部拠点まちづくり推進地区は、北部拠点の形成に向けて、「生活環境や教育環境などに配慮した緑豊かな産業拠点づくり」をまちづくりの目標に掲げ、（仮称）外環八潮パーキングエリアの整備と併せ、（仮称）外環八潮スマートインターチェンジの整備や流通業務施設などの立地の誘導を目指している。

■土地利用ゾーニング図

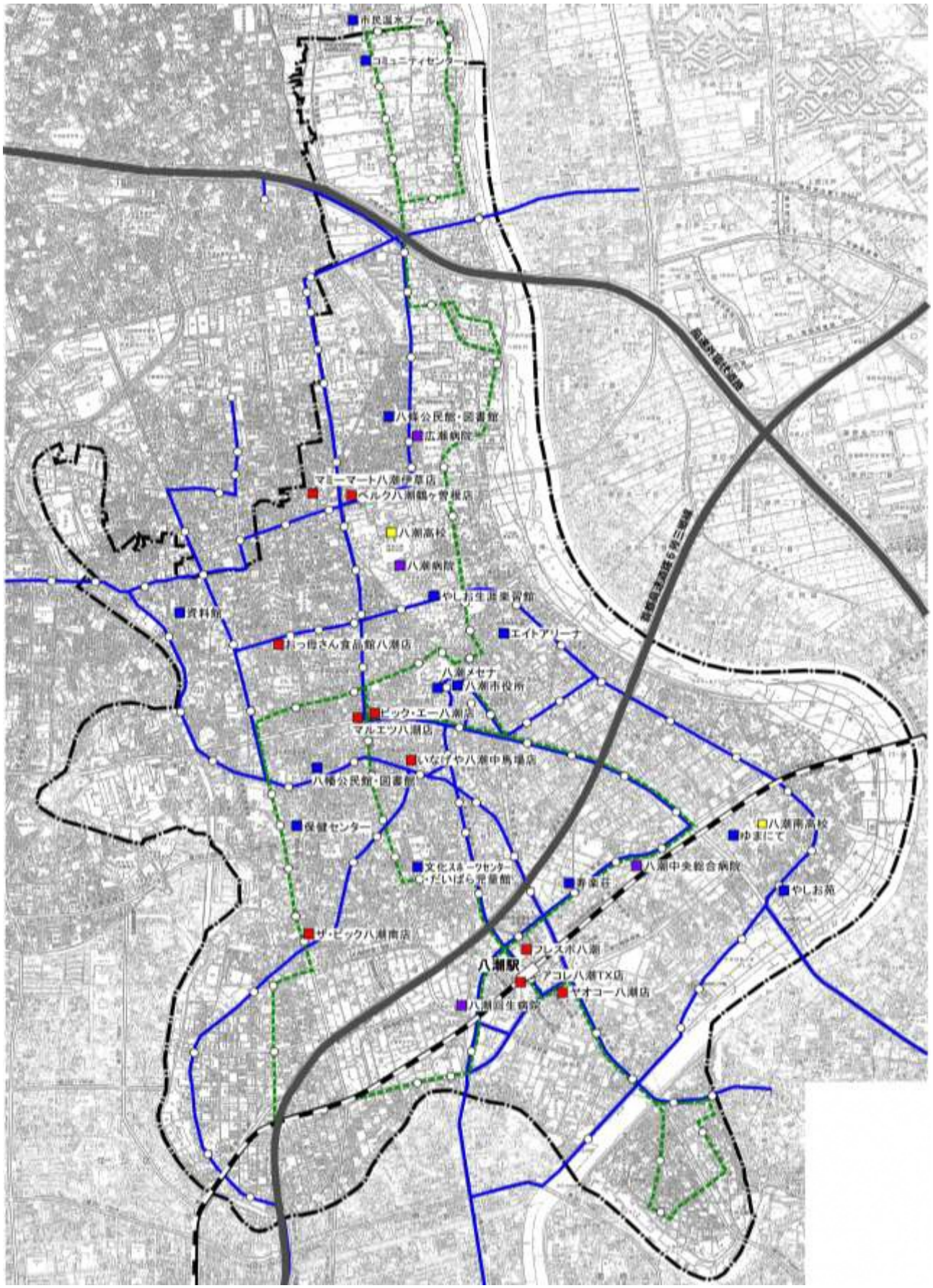


出典:北部拠点まちづくり推進地区まちづくり計画
（平成 28 年７月）

（６）主要施設分布状況

主要施設については、八潮駅周辺や市役所周辺等に商業施設や公共施設などが集積しているものの、市全域に分散しており、これら主要施設は、公共交通沿線に立地している。

■主要施設分布図



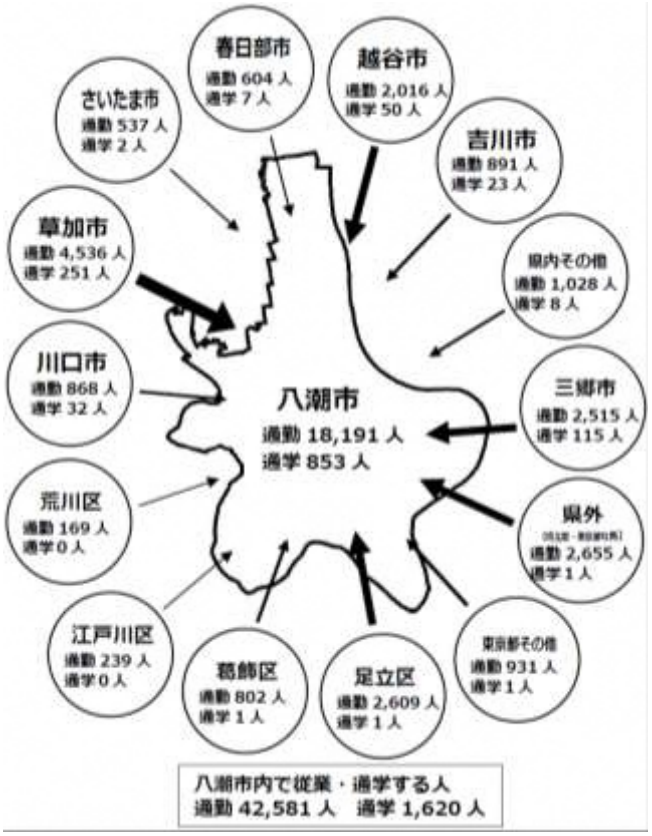
（７）通勤・通学流動

平成 27 年国勢調査によると、八潮市に常住する就業者は 43,767 人、通学者は 3,464 人となっており、そのうち、就業者の 41.6%、通学者の 24.6%は市内で通勤・通学しており、市外は草加市や足立区、千代田区など東京都特別区等へ通勤・通学している。

一方、八潮市内で就業する人は 42,581 人、通学する人は 1,620 人となっており、草加市や三郷市、越谷市や足立区からの通勤・通学となっている。

■八潮市から従業地別の通勤通学者の人数

■八潮市への常住地別の通勤通学者の人数



※「通勤」は 15 歳以上通勤者、「通学」は 15 歳以上通学者の人数を指している。　　出典：平成 27 年国勢調査

１－３　公共交通に関する現状

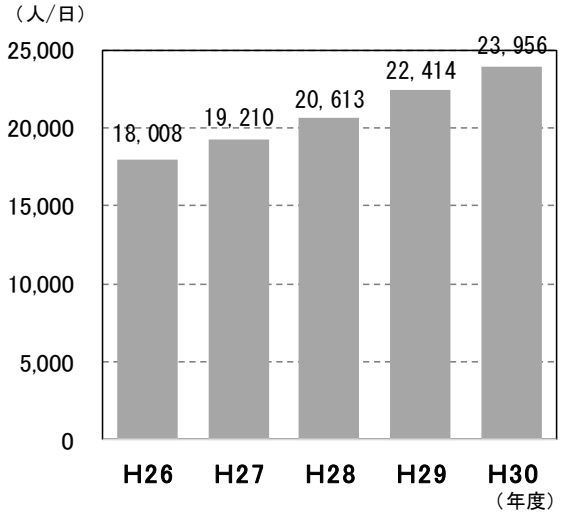
（１）鉄道

八潮市内の鉄道は、つくばエクスプレスの八潮駅のみで、１日平均乗車人員は平成 30 年度が 23,956 人/日で、年々増加傾向となっており、直近５年間の伸び率は 1.33 倍と増加している。

つくばエクスプレスでは朝ラッシュ時間帯における混雑緩和対策として、令和２年春に「25 本化事業※」の実施を施予定しており、さらに、2030 年代前半に「８両編成化事業」のサービスを開始予定となっている。

※朝ラッシュ１時間の最混雑区間の運行本数を現在の 22 本から 25 本に増強する事業

■八潮駅の１日平均乗車人員の推移



出典：平成 30 年版統計やしお

（２）路線バス

①運行便数

路線バスは、東武バスセントラル㈱、京成バス㈱及び朝日自動車㈱の３社により、八潮駅と草加駅を起終点に、26 系統（北口方面 16 系統、南口方面 10 系統）が運行している。

運行便数は八潮駅周辺や、草加駅と伊草団地を結ぶ区間など１日 50 本以上の運行エリアが多いものの、八條地区や古新田地区などで 10 本未満の区間も存在している。

②公共交通空白・不便地域

「バスサービスハンドブック（土木学会）」によると、無理なく歩ける距離は健常者で 300m、高齢者で 100mとされている。

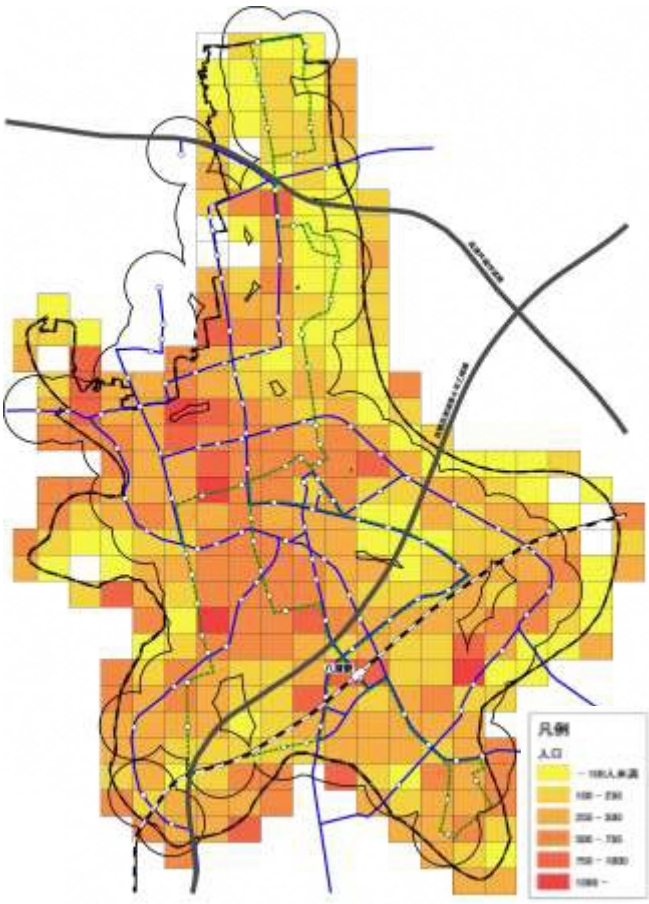
八潮市における公共交通空白・不便地域（鉄道駅より半径１㎞以遠、バス停より半径 300m以遠）は、Ｐ17 のとおりで、北部地域（八條）や西袋、古新田など一部地域で公共交通空白・不便地域が複数箇所存在している。

■抵抗を感じない距離

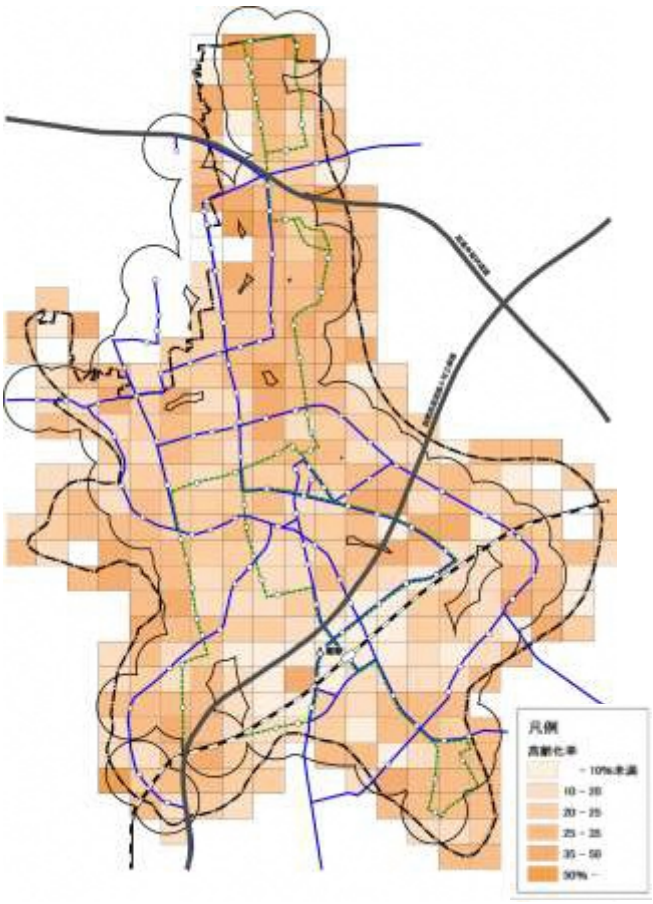
条件	一般的な人 歩行速度 80m/分	高齢者等 歩行速度 40m/分
90%の人が抵抗感なし（約 3.5 分）	300m	100m
大きな荷物がある（約２分）	150m	80m

出典：バスサービスハンドブック（土木学会）

■公共交通利用圏域×人口 250mメッシュ

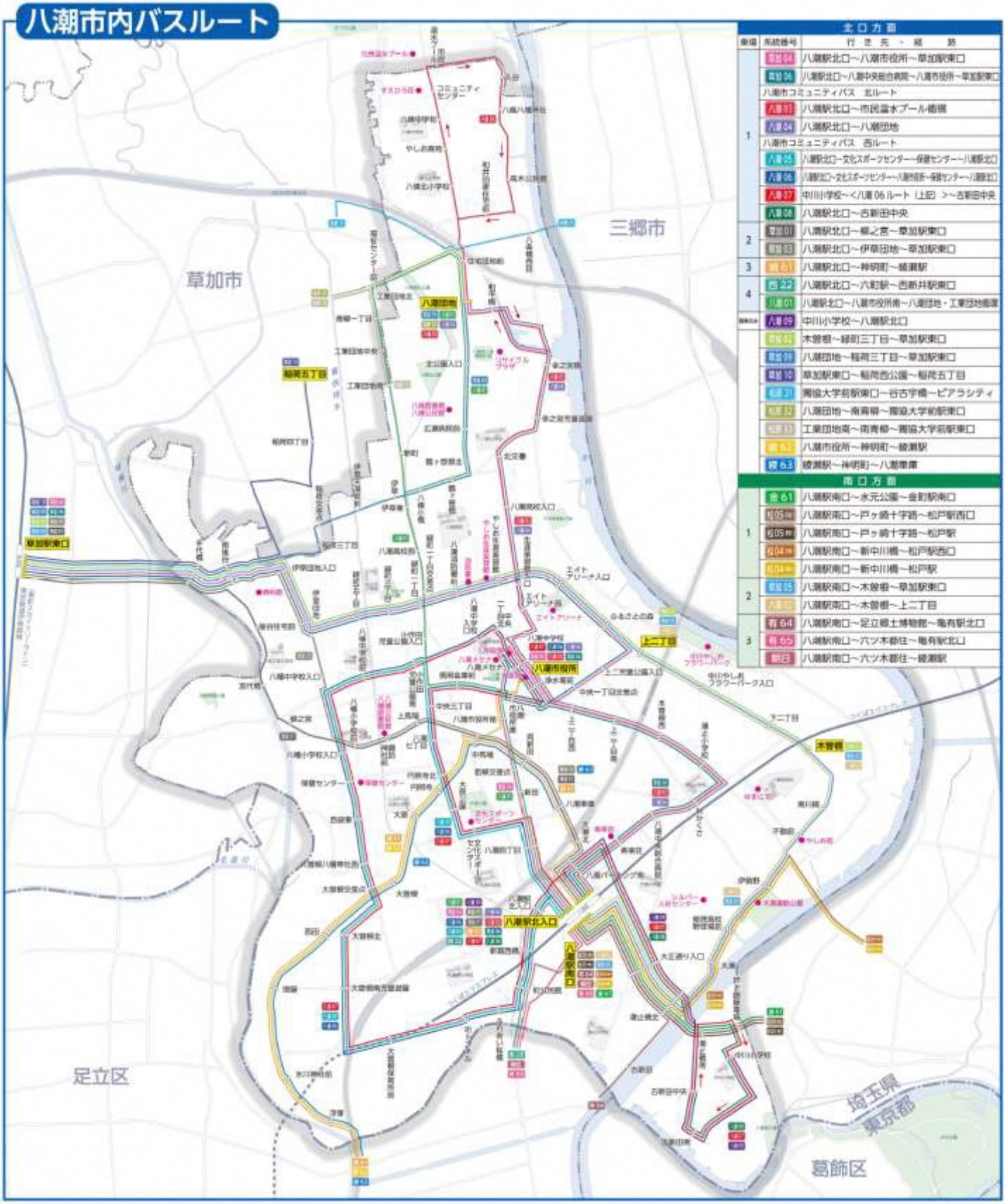


■公共交通利用圏域×高齢化率 250mメッシュ



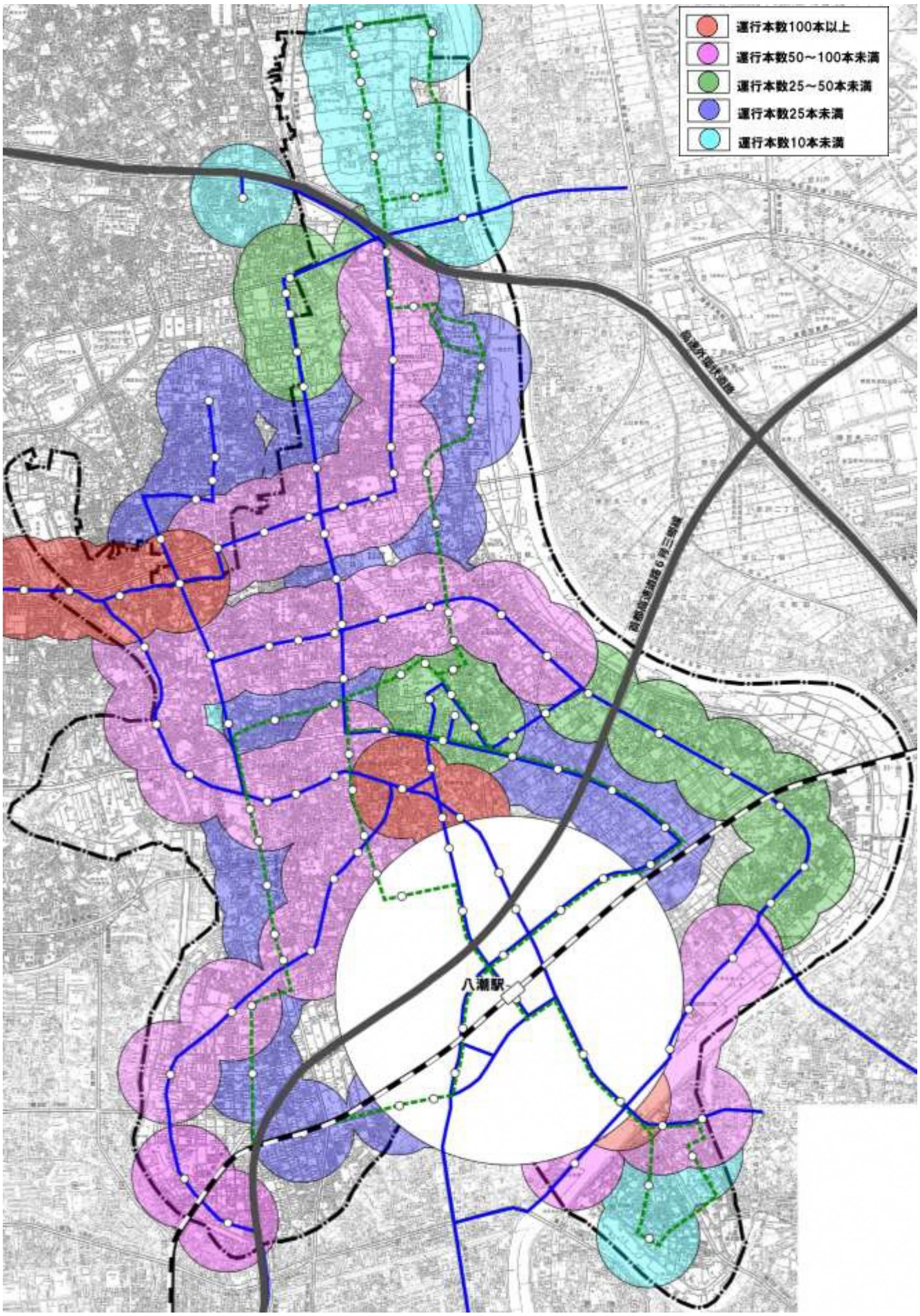
資料：人口 250mメッシュ、高齢化率 250mメッシュは平成 27 年国勢調査

八潮市内バスルート



乗場	系統番号	行き先・経路
北口方面		
1	草加04	八潮駅北口～八潮市役所～草加駅東口
	草加06	八潮駅北口～八潮中央総合病院～八潮市役所～草加駅東口
	八潮コミュニティバス　北ルート	
	八潮03	八潮駅北口～市民温水プール循環
	八潮04	八潮駅北口～八潮団地
	八潮コミュニティバス　西ルート	
	八潮05	八潮駅北口～文化スポーツセンター～保健センター～八潮駅北口
	八潮06	八潮駅北口～文化スポーツセンター～八潮病院～保健センター～八潮駅北口
	八潮07	中川小学校～＜八潮06ルート（上記）＞～吉新田中央
	八潮08	八潮駅北口～吉新田中央
2	草加01	八潮駅北口～柳之宮～草加駅東口
	草加03	八潮駅北口～伊草団地～草加駅東口
3	綾61	八潮駅北口～神明町～綾瀬駅
4	西22	八潮駅北口～六町駅～西新井駅東口
	八潮01	八潮駅北口～八潮市役所南～八潮団地・工業団地循環
臨時運行	八潮09	中川小学校～八潮駅北口
	草加05	木曽根～緑町三丁目～草加駅東口
	草加08	八潮団地～稲荷三丁目～草加駅東口
	草加10	草加駅東口～稲荷西公園～稲荷五丁目
	獨協31	獨協大学前駅東口～谷古宇橋～ピアラシティ
	獨協32	八潮団地～南青柳～獨協大学前駅東口
	獨33	工業団地南～南青柳～獨協大学前駅東口
	綾61	八潮市役所～神明町～綾瀬駅
	綾63	綾瀬駅～神明町～八潮車庫
南口方面		
1	金61	八潮駅南口～永元公園～金町駅南口
	松05W	八潮駅南口～戸ヶ崎十字路～松戸駅西口
	松05W	八潮駅南口～戸ヶ崎十字路～松戸駅
	松04W	八潮駅南口～新中川橋～松戸駅西口
	松04W	八潮駅南口～新中川橋～松戸駅
2	草加05	八潮駅南口～木曽根～草加駅東口
	八潮05	八潮駅南口～木曽根～上二丁目
3	有64	八潮駅南口～足立郷土博物館～亀有駅北口
	有65	八潮駅南口～六ツ木都住～亀有駅北口
	朝日	八潮駅南口～六ツ木都住～綾瀬駅

■公共交通空白・不便地域（運行本数は平日）※利用圏域は鉄道駅から半径１㎞、バス停から半径 300m



■平成 29 年度・系統別運行回数及び路線全体の乗降者数（東武バスセントラル㈱）

路線名	乗降者数（人）	1日あたり		
		運行回数（往）	運行回数（復）	乗降者数（人）
獨協大学前駅東口～上彦名～ピアラシティみさと	6,522	1	1	17
草加駅東口～稲荷三丁目～八潮団地	1,095,317	64	66	3,000
草加駅東口～稲荷三丁目～稲荷五丁目		17	17	
獨協大学前駅東口～職業安定所入口～八潮団地	260,613	27	24	714
獨協大学前駅東口～南青柳～工業団地南	394,405	36	35	1,080
亀有駅北口～足立郷土博物館～八潮駅南口	669,107	62	62	1,833
綾瀬駅～神明町～八潮市役所	777,565	3	3	2,130
綾瀬駅～神明町～八潮駅北口		56	57	
八潮駅北口～氷川神社前		1	0	
草加駅東口～柳之宮～八潮駅北口	891,493	63	64	2,442
草加駅東口～伊草団地～八潮駅北口	117,250	7	7	321
草加駅東口～緑町一丁目～木曽根	12,653	1	1	34
草加駅東口～木曽根～八潮駅南口	776,135	37	35	2,126
草加駅東口～八潮市役所～八潮駅北口	134,895	10	11	369
八潮駅南口～八幡小学校前	2,418	0	1	6
八潮駅南口～木曽根～上二丁目	8,101	1	1	22
八潮駅北口～西新井駅東口	7,706	1	1	21
八潮団地～八潮駅北口	181,549	2	2	497
八潮駅北口～八潮団地～八潮駅北口		8	11	
八潮駅北口～鶴ヶ曽根		2	2	
八潮駅北口～新町		1	1	
八潮駅北口～保健センター～八潮駅北口	19,417	5	2	53
八潮駅北口～市民温水プール～八潮駅北口	42,887	8	0	117
八潮駅北口～八潮市役所～八潮団地	45,919	10	9	125
八潮駅北口～八潮市役所～八潮駅北口	16,872	2	3	46
八潮駅南口～農協支所～松戸駅	245,771	30	30	673

出典：平成 30 年版統計やしお

■平成 29 年度・系統別運行回数及び乗降者数（京成バス㈱）

路線名	乗降者数（人）	1日あたり		
		運行回数（往）	運行回数（復）	乗降者数（人）
戸ヶ崎操車場～水元公園～金町駅北口	1,413,420	83	82	3,872
八潮駅南口～水元公園～金町駅	599,632	35	35	1,643
金町駅北口～水元公園～戸ヶ崎操車場	23,356	3	－	64
八潮駅南口～戸ヶ崎三丁目	561,883	34	33	1,539
八潮駅南口～伊勢野～松戸駅	58,704	3	4	160
八潮駅南口～戸ヶ崎三丁目～松戸車庫	50,318	3	3	137

出典：平成 30 年版統計やしお

■平成 30 年度・系統別運行回数及び乗降者数（朝日自動車㈱）

路線名	乗降者数（人）	1日あたり		
		運行回数（往）	運行回数（復）	乗降者数（人）
綾瀬駅～辰沼団地～六ツ木都住	708,079	85	85	1,939
綾瀬駅～辰沼団地～六ツ木都住～八潮駅南口		10	10	

出典：朝日自動車㈱提供資料

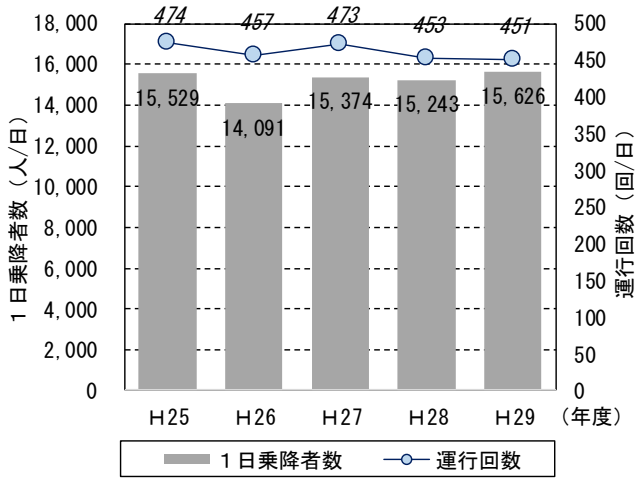
③利用者数

路線バスの１日乗降者数を見ると、東武バスセントラル㈱は平成 25 年度が 15,529 人/日に対し、平成 29 年度が 15,626 人/日と 97 人/日増加、京成バス㈱は平成 25 年度が 7,011 人/日に対し、平成 29 年度が 7,415 人/日と 404 人/日増加、朝日自動車㈱）は平成 26 年度が 1,961 人/日に対し、平成 30 年度が 1,940 人/日と 21 人/日減少している。

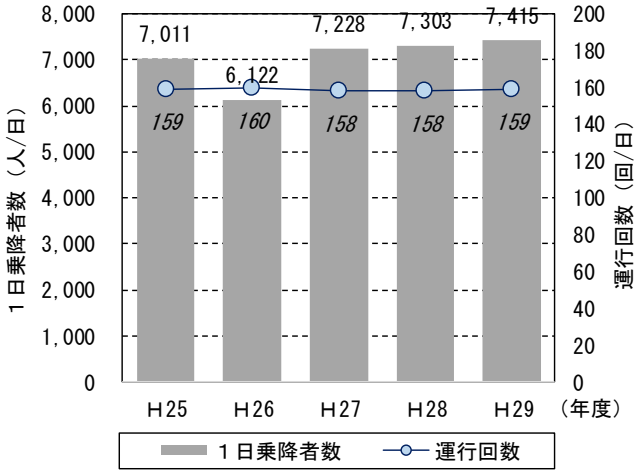
一方で、運行回数を見ると、東武バスセントラル㈱は平成 25 年度が 474 回/日、平成 29 年度が 451 回/日と 23 回/日減少、京成バス㈱は平成 25 年度が 159 回/日に対し、平成 29 年度が 159 回/日と増減なし、朝日自動車㈱）は平成 26 年度が 95 回/日に対し、平成 30 年度が 95 回/日と増減なしとなっている。

■１日乗降者数及び運行回数の推移

【東武バスセントラル㈱】

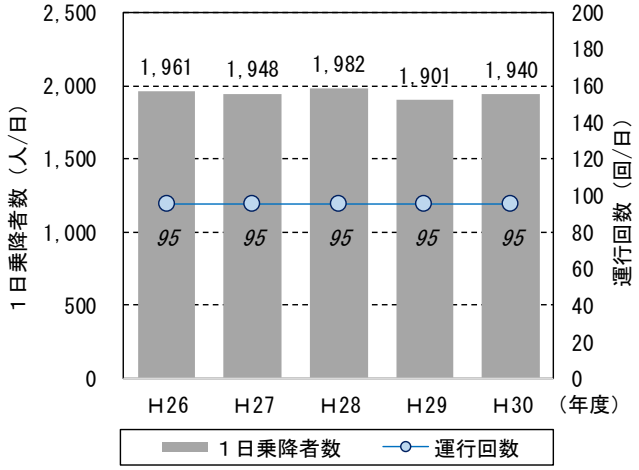


【京成バス㈱】



出典：平成 26～30 年版統計やしお

【朝日自動車㈱】



出典：朝日自動車㈱提供資料

（３）八潮市コミュニティバス

①運行概要

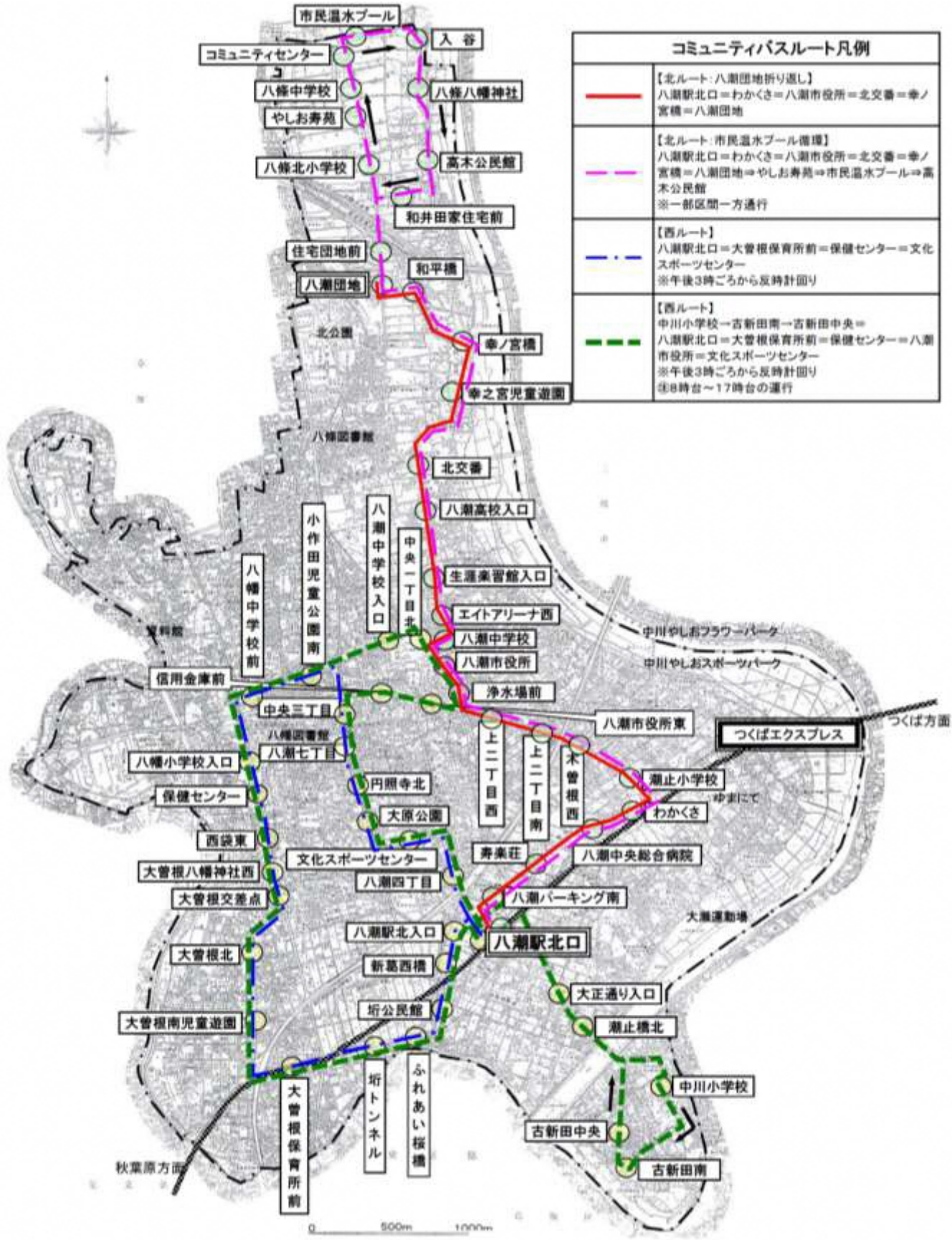
八潮市コミュニティバスは、つくばエクスプレス八潮駅の開業と合わせて、平成 17 年８月から運行を開始している。運行ルートは、路線バスの通っていない地域を網羅し、公共交通空白地域の解消や市民の利便性向上を図っている。

また、平成 31 年２月には、コミュニティバスに愛着をもってもらい、更なる利用促進を図るため、「ハッピーこまちゃん号」の愛称を決定し、車体にラッピングを施して、市内を走行している。

■八潮市コミュニティバスの運行サービス

運行日	毎日
運行時間帯・運行便数	《北ルート》　６：10～21：02 ・八潮団地折り返し（八潮駅北口～わかくさ～八潮市役所～八潮団地）：9.5 便 ・市民温水プール循環（八潮駅北口～八潮市役所～八潮団地～市民温水プール）：8.0 便 《西ルート》　７：05～21：30 ・八潮駅北口～保健センター～文化スポーツセンター：12.0 便 ・中川小学校～八潮駅北口～保健センター～文化スポーツセンター：3.0 便
利用料金	対キロ運賃（現金：180～270 円）　※令和元年 10 月 1 日時点

■八潮市コミュニティバスの運行ルート図



②利用実績

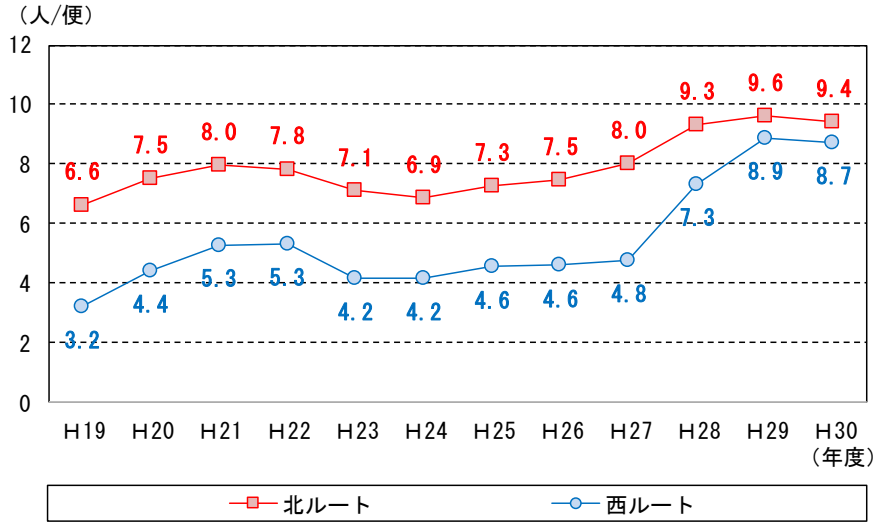
ア） １日平均及び１便平均利用者数

八潮市コミュニティバスの年間利用者数は、平成 21～24 年度にかけて減少しているが、平成 28 年度に八潮中央総合病院の移転に伴うバス停の新設と路線バス（八潮工業団地中央循環線）の運行ルート変更により増加しており、直近３年間は年間約 11 万人が利用している。

１便平均利用者数（平成 30 年度）は、コース全体が 9.1 人/便で、北ルートが 9.4 人/便、西ルートが 8.7 人/便となっている。

■八潮市コミュニティバスの推移

年度	利用者数（人）			１日平均（人）			１便平均（人）		
	北ルート	西ルート	計	北ルート	西ルート	計	北ルート	西ルート	計
H19	44,541	20,538	65,079	122.0	56.3	178.3	6.65	3.23	4.98
H20	49,616	29,181	78,797	135.6	79.7	215.3	7.53	4.43	5.98
H21	52,357	34,735	87,092	143.4	95.2	238.6	7.97	5.29	6.63
H22	51,509	34,989	86,498	141.1	95.9	237.0	7.84	5.33	6.58
H23	46,777	27,475	74,252	127.8	75.1	202.9	7.10	4.17	5.64
H24	45,131	27,429	72,560	123.6	75.1	198.8	6.87	4.17	5.52
H25	47,810	29,935	77,745	131.0	82.0	213.0	7.28	4.56	5.92
H26	49,074	25,202	74,276	134.4	69.0	203.5	7.47	4.60	6.17
H27	52,881	26,213	79,094	144.5	71.6	216.1	8.03	4.77	6.55
H28	61,313	40,133	101,446	168.0	110.0	277.9	9.33	7.33	8.42
H29	63,157	48,599	111,756	173.0	133.1	306.2	9.61	8.88	9.28
H30	61,865	47,747	109,612	169.5	130.8	300.3	9.42	8.72	9.10



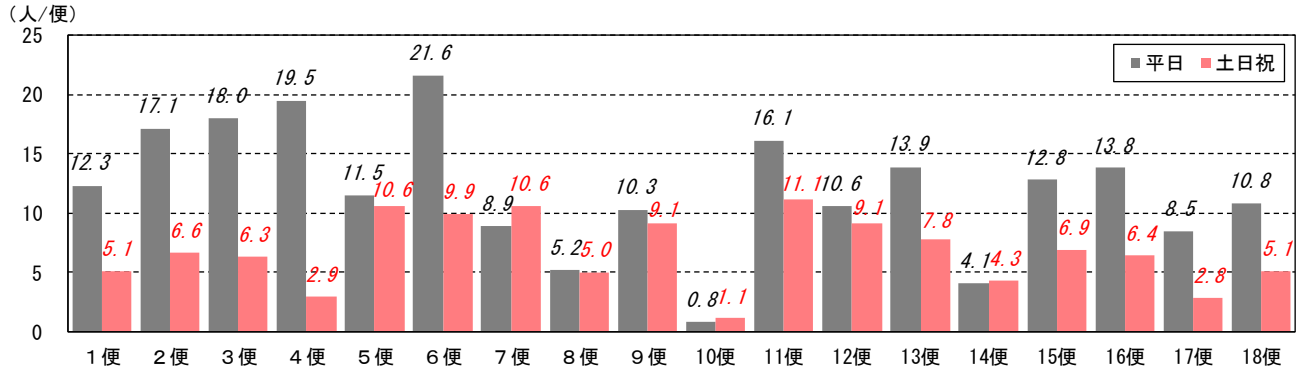
イ）ダイヤ別利用者数

曜日別平均利用者数を見ると、北コースは平日が 11.0 人/便、土日祝が 6.2 人/便、西コースは平日が 10.4 人/便、土日祝が 5.4 人/便と、北コース、西コースともに平日の方が利用が多い。

ダイヤ別に見ると、北コース、西コースともに、平日の朝と夕時間帯で多い。

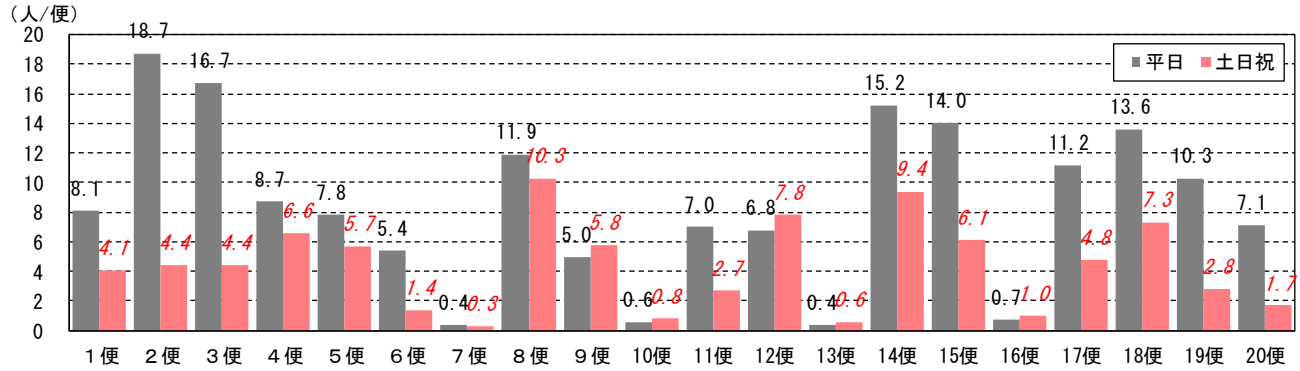
■北コース・ダイヤ別平均利用者数（平成 30 年度）　　単位：人/便

	1便八潮団地行	2便プール循環	3便八潮団地行	4便プール循環	5便八潮団地行	6便プール循環	7便プール循環	8便八潮団地行	9便八潮団地行	10便プール循環	11便プール循環	12便八潮団地行	13便八潮団地行	14便プール循環	15便八潮団地行	16便プール循環	17便八潮団地行	18便団地往路のみ	平均
時間	6:10	7:10	7:40	8:30	9:20	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	16:40	17:15	17:45	18:45	19:40	20:37	
平日	12.3	17.1	18.0	19.5	11.5	21.6	8.9	5.2	10.3	0.8	16.1	10.6	13.9	4.1	12.8	13.8	8.5	10.8	11.0
土日祝	5.1	6.6	6.3	2.9	10.6	9.9	10.6	5.0	9.1	1.1	11.1	9.1	7.8	4.3	6.9	6.4	2.8	5.1	6.2
全日	9.9	13.6	14.1	14.0	11.2	17.7	9.5	5.1	9.9	0.9	14.4	10.1	11.9	4.1	10.8	11.4	6.6	8.9	9.4



■西コース・ダイヤ別平均利用者数（平成 30 年度）　　単位：人/便

	１便	２便	３便	４便	５便	６便古新田行	７便中川小学校行	８便八潮駅	９便中川小学校行	10便八潮駅	11便古新田行	12便中川小学校行	13便八潮駅	14便	15便	16便	17便	18便	19便	20便	平均
時間	7:05	7:45	8:25	9:15	10:15	11:15	11:33	12:04	13:10	14:20	14:53	15:11	16:21	17:00	17:40	18:25	19:05	19:50	20:25	21:00	
平日	8.1	18.7	16.7	8.7	7.8	5.4	0.4	11.9	5.0	0.6	7.0	6.8	0.4	15.2	14.0	0.7	11.2	13.6	10.3	7.1	10.4
土日祝	4.1	4.4	4.4	6.6	5.7	1.4	0.3	10.3	5.8	0.8	2.7	7.8	0.6	9.4	6.1	1.0	4.8	7.3	2.8	1.7	5.4
全日	6.8	14.0	12.6	8.0	7.1	4.1	0.4	11.4	5.2	0.6	5.5	7.1	0.5	13.3	11.4	0.8	9.1	11.6	7.8	5.3	8.7



③運行収支

平成 30 年度の運行収支は約 2,400 万円の赤字で、収支率は 46.3%で、直近５年間は概ね５割前後となっている。

■運行収支

年度	運行経費（千円）	収入（千円）	収支差（千円）	収支率
H26	43,829	19,959	▲ 23,870	45.5%
H27	42,624	20,448	▲ 22,176	48.0%
H28	42,012	22,865	▲ 19,147	54.4%
H29	42,813	21,305	▲ 21,508	49.8%
H30	44,379	20,561	▲ 23,817	46.3%

（４）一般タクシー

八潮市では、５社のタクシー事業者が運行中である。

埼玉県内では、高齢者ドライバーによる交通事故は、減少傾向にあるものの、免許人口当たりの事故発生率が高齢になるほど増加し、交通事故防止が重要課題となっている。埼玉県警察では運転免許証を自主返納した高齢者を対象にした「シルバーサポーター制度」を行っている。

■タクシー事業者の概要

会社名	車両保有台数			運転者数	営業時間
		ﾜﾝﾎﾞｯｸｽ車両	福祉車両		
飛鳥交通㈱	２０台	０台	０台	３２名	０～24 時
瀬崎交通㈱	２５台	２台	０台	５０名	８～25 時
八潮交通㈲	２１台	０台	１台	４１名	０～24 時
㈱織田	３０台	０台	０台	５９名	０～24 時
(個人)豊田タクシー	１台	０台	０台	１名	19～25 時

資料：タクシー事業者アンケート調査

【事例】埼玉県警察・シルバーサポーター制度

シルバーサポーター制度は、運転免許証を自主返納した高齢者が、サービス店として登録しているお店や事業所等で「運転経歴証明書」を提示するとさまざまなサービス（料金割引・宅配・休憩など）が受けられるお得な制度。

市内では瀬崎交通㈱と㈱織田（ＯＫタクシー）でタクシー代金の 10%割引を実施。

（５）高速バス

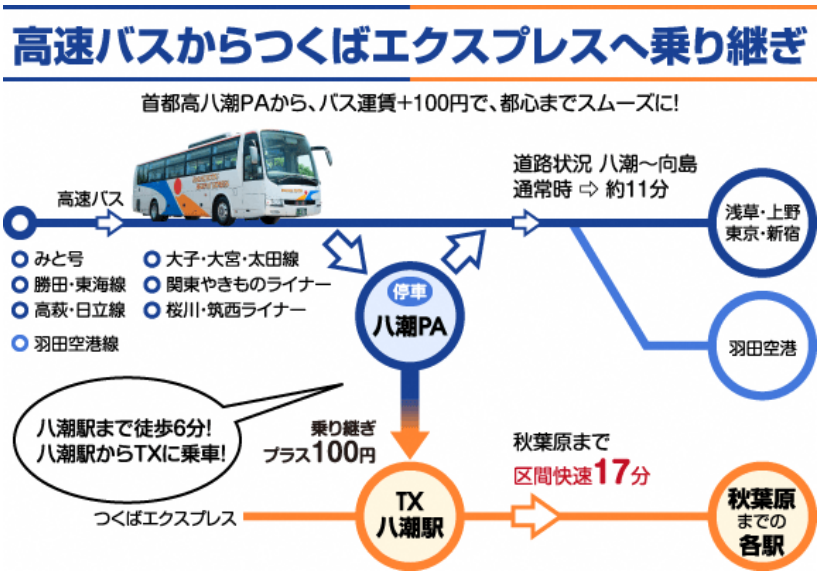
八潮駅北口を発着する高速バスは、東武バスセントラル㈱他４社により、羽田空港線と成田空港線を運行している。

■高速バスの運行サービス

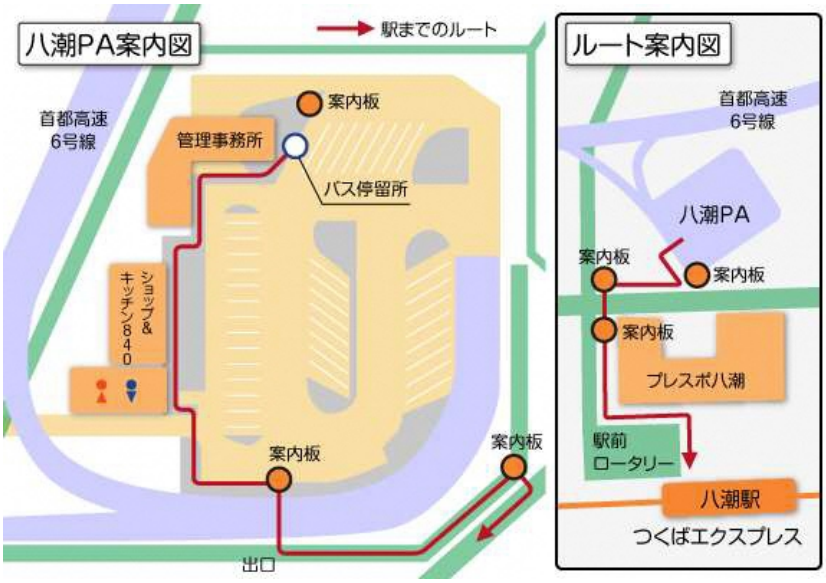
路線名	運行事業者	運行日	便数	
			平日	土日祝
新越谷駅・草加駅・八潮駅～羽田空港線	東武バスセントラル㈱ 京浜急行バス㈱	毎日	15.5 便	15.5 便
新越谷駅・草加駅・八潮駅～成田空港線（しらこばと号）	千葉交通㈱、東武バスセントラル㈱、リムジンバス	毎日	6.0 便	6.0 便

○レール＆高速バスライド

八潮駅と首都高速道路・八潮ＰＡは直線で約 200m（徒歩６分）という近接性を活かし、主に茨城方面から運行中の高速バス利用者を対象に、八潮ＰＡでつくばエクスプレスへ乗り継ぐことが可能なレール＆高速バスライド（八潮駅～秋葉原駅間：100 円）を平成 21 年度から本格運行している。（常磐自動車道を経由して都内へ向かう際、首都高速道路の慢性的な渋滞に左右されることなく、目的地までスムーズに到着できるサービス。）



出典：茨城交通ホームページ



出典：茨城交通ホームページ

（６）民間企業送迎バス

①八潮中央総合病院

八潮中央総合病院では、つくばエクスプレス八潮駅北口と、東武スカイツリーライン草加駅東口から無料送迎車両（ワゴン車）を運行している。

○運行区間・便数

・八潮中央総合病院⇔八潮駅：平日 24 往復/日、土曜日 15 往復/日

・八潮中央総合病院⇔ケアセンター八潮⇔草加駅：平日 13 往復/日、土曜日 7.5 往復/日

○運行日：平日・土曜日

○運賃：無料

1号車の発車時刻　草加駅東口行き

八潮中央総合病院		草加駅		ケアセンター八潮(病院行き)	
		7:30	発	7:40	発
		7:45	発	7:55	発
		8:00	発	8:15	発
8:25	発	8:55	発	9:05	発
9:20	発	9:50	発	10:00	発
10:10	発	10:40	発	10:50	発
11:10	発	11:40	発	11:50	発
12:30	発	13:00	発	13:10	発
13:20	発	13:50	発	14:00	発
14:00	発	14:30	発	14:40	発
15:00	発	15:30	発	15:40	発
16:10	発	16:40	発	16:50	発
17:10	発	17:40	発	17:50	発
18:10	発	18:40	発	18:50	発
19:00	発	※5(19:30)	着	—	

2号車の発車時刻　八潮駅北口行き

八潮中央総合病院			八潮駅	
7:30	発	⟷	7:35	発
8:05	発	⟷	8:10	発
8:20	発	⟷	8:25	発
8:40	発	⟷	8:47	発
9:00	発	⟷	9:05	発
9:30	発	⟷	9:35	発
9:50	発	⟷	9:55	発
10:30	発	⟷	10:35	発
10:50	発	⟷	10:55	発
11:20	発	⟷	11:25	発
11:40	発	⟷	11:45	発
12:05	発	⟷	12:10	発
12:40	発	⟷	12:45	発
13:00	発	⟷	13:05	発
13:40	発	⟷	13:45	発
14:30	発	⟷	14:35	発
15:10	発	⟷	15:15	発
15:50	発	⟷	15:55	発
16:20	発	⟷	16:25	発
16:50	発	⟷	16:55	発
17:20	発	⟷	17:25	発
17:50	発	⟷	17:55	発
18:30	発	⟷	18:35	発
19:20	発	⟷	19:25	発

※1 病院発草加駅行きの車両は、ケアセンター八潮経由となります。
※2 時刻表内の 青文字の発車時刻 の便は、土曜日は運休いたします。
※3 交通状況により遅れることがございます。
※4 乗降における介助等は行っておりません。
※5 19:30草加駅は下車のみとなります。

出典：八潮中央総合病院ホームページ

②広瀬病院

広瀬病院では、事前に予約のあった患者の自宅に迎えに行く送迎サービス（ワゴン車）を運行している。（地域で利用者が複数いる場合は、患者宅を巡回し、相乗り）

○運行日：火曜日、水曜日、金曜日

○時　間：午後２時 30 分頃

○運　賃：無料

③八潮病院

八潮病院では、つくばエクスプレス八潮駅北口と、東武スカイツリーライン草加駅東口から無料送迎バスを運行している。

○運行区間・便数

・八潮病院⇔八潮駅：平日４往復/日

・八潮病院⇔草加駅：平日３往復/日

○運行日：平日

○運賃：無料

八潮駅⇔八潮病院		草加駅⇔八潮病院	
八潮駅発→病院着	**病院発→八潮駅着**	**草加駅発→病院着**	**病院発→草加駅着**
９：30→９：40	10：00→10：10	９：30→９：50	10：00→10：20
10：20→10：30	10：35→10：45	10：20→10：40	10：50→11：10
10：50→11：00	11：05→11：15	11：10→11：30	12：20→12：40
11：20→11：30	12：20→12：30		

④その他

草加八潮工業団地の一部企業において、従業員を対象とした送迎バスを運行している。

2　ニーズ調査

2－1　市民アンケート調査

公共交通に関する利用状況や利用意向、将来の方向性などについて把握し、これからの公共交通のあり方を検討する上での基礎資料とするために、市民アンケート調査を行った。

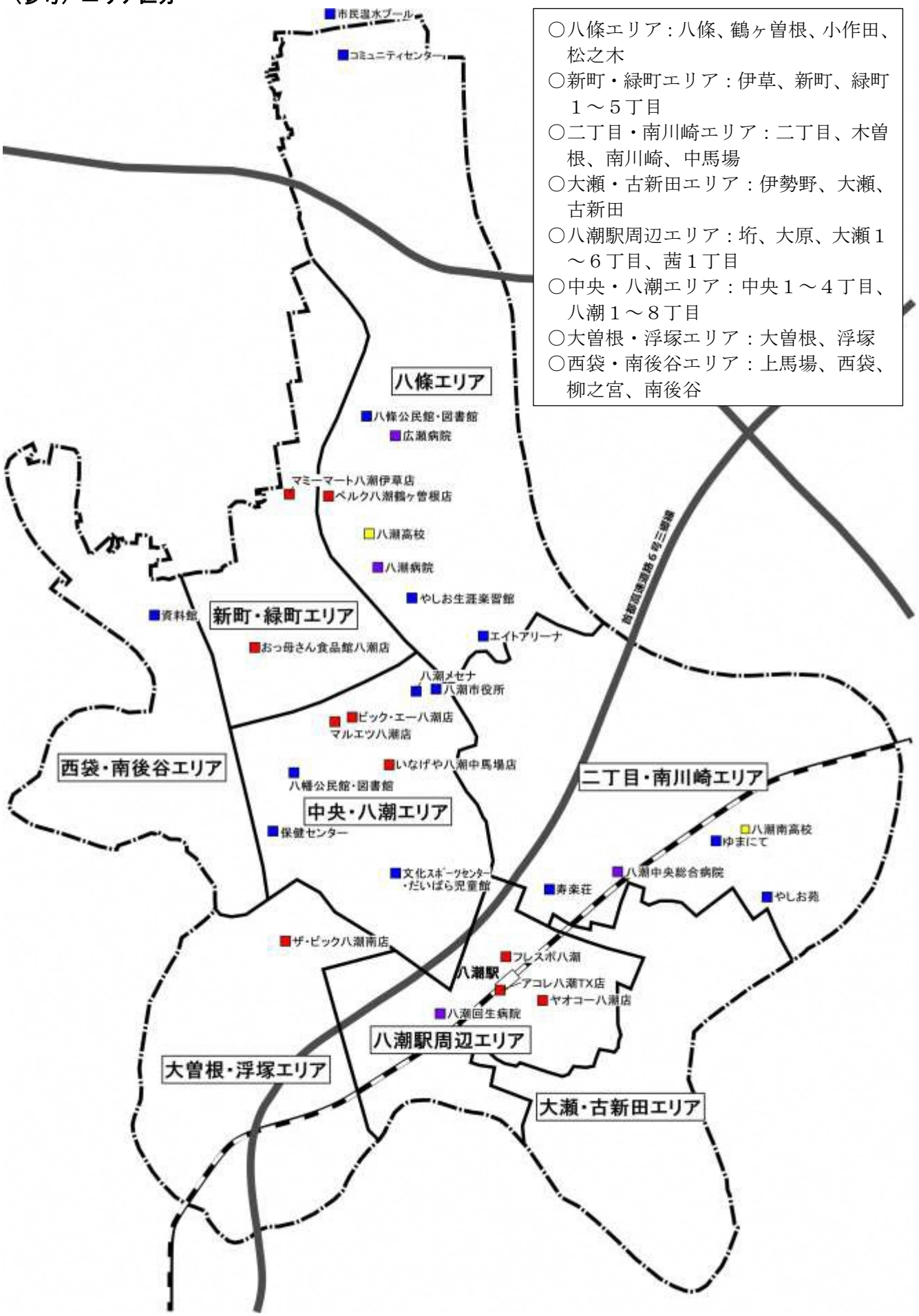
調査対象者	15 歳以上 3,000 人（住民基本台帳による無作為抽出）
調査方法	郵送配布、郵送回収　※令和元年９月 19 日（木）発送～10 月７日（月）締切
調査項目	①回答者の属性 ：住まい、性別、年齢、職業、自動車運転免許有無、自動車所有状況、最寄りバス停までの徒歩での所要時間 ②自動車運転免許に対する意向 ：自動車の利用頻度、運転に対する考え方、運転継続年齢、運転免許返納意向 ③日常生活の移動実態 ：外出頻度、外出時の主な行き先、利用交通手段【目的別（買物、病院、通勤・通学）】 ④日常の移動のしやすさ ：外出する時に交通手段が無くて困ることの有無とその目的、行き先、対応方法 ⑤鉄道（つくばエクスプレス、東武スカイツリーライン）の利用実態と意識・要望 ：利用路線、利用頻度、利用目的、利用しない理由、運行サービスに対する満足度 ⑥路線バス（八潮市コミュニティバス含む）の利用実態と意識・要望 ：利用頻度、利用目的、利用しない理由、運行サービスに対する満足度 ⑦タクシーの利用実態と意識・要望 ：利用頻度、利用目的、利用しない理由、運行サービスに対する満足度 ⑧公共交通の利用意向 ：公共交通で行きたい場所、利用目的、利用頻度、利用時間帯 ⑨公共交通の今後のあり方 ：今後の取組みの方向性、自家用車の過度な利用に頼らない生活有無と取組み内容、公共交通に対する財政負担の考え方、効果的な公共交通の利用促進策
回収状況	回収票数：993 票（回収率：33.1%）

	配布票数	回収票数	回収率
八條エリア	360	127	35.3%
新町・緑町エリア	400	142	35.5%
二丁目・南川崎エリア	440	132	30.0%
大瀬・古新田エリア	340	142	41.8%
八潮駅周辺エリア	370	90	24.3%
中央・八潮エリア	500	161	32.2%
大曽根・浮塚エリア	330	91	27.6%
西袋・南後谷エリア	260	97	37.3%
住所無回答	－	11	－
市合計	3,000	993	33.1%

※配布票数はエリア別総人口、年齢構成等を考慮し決定

字名	回収票数	字名	回収票数
八條（外環以北）	21	中馬場	8
八條（外環以南）	38	大原	18
鶴ヶ曽根	60	大曽根	65
小作田	5	浮塚	26
松之木	3	西袋（綾瀬川以東）	11
伊草	42	西袋（綾瀬川以西）	13
新町	10	柳之宮	14
二丁目	25	南後谷	54
木曽根	39	中央１～４丁目	43
南川崎	60	八潮１～８丁目	118
伊勢野	35	緑町１～５丁目	90
大瀬（中川以北）	39	大瀬１～６丁目	42
大瀬（中川以南）	35	茜町１丁目	9
古新田	33	住所無回答	11
圷	21		
上馬場	5	市合計	993

（参考）エリア区分


○八條エリア：八條、鶴ヶ曽根、小作田、松之木
○新町・緑町エリア：伊草、新町、緑町１～５丁目
○二丁目・南川崎エリア：二丁目、木曽根、南川崎、中馬場
○大瀬・古新田エリア：伊勢野、大瀬、古新田
○八潮駅周辺エリア：垳、大原、大瀬１～６丁目、茜１丁目
○中央・八潮エリア：中央１～４丁目、八潮１～８丁目
○大曽根・浮塚エリア：大曽根、浮塚
○西袋・南後谷エリア：上馬場、西袋、柳之宮、南後谷
市民温水プール
コミュニティセンター
八條エリア
八條公民館・図書館
広瀬病院
マミーマート八潮伊草店
ベルクハ潮鶴ヶ曽根店
八潮高校
八潮病院
やしお生涯楽習館
資料館
新町・緑町エリア
おっ母さん食品館八潮店
エイトアリーナ
八潮メセナ
八潮市役所
ビック・エーハ潮店
マルエツハ潮店
西袋・南後谷エリア
いなげやハ潮中馬場店
八幡公民館・図書館
中央・八潮エリア
保健センター
二丁目・南川崎エリア
八潮南高校
ゆまにて
文化スポーツセンター・だいばら児童館
八潮中央総合病院
寿楽荘
やしお苑
ザ・ビックハ潮南店
フレスポハ潮
八潮駅
アコレハ潮TX店
ヤオコーハ潮店
八潮回生病院
八潮駅周辺エリア
大曽根・浮塚エリア
大瀬・古新田エリア

【市民アンケート調査のまとめ】

※調査対象者：15 歳以上 3,000 人、回収票数 993 票（回収率 33.1%）

（１）回答者の属性

○回答者の年齢は各年代から幅広く回答され、職業は「会社員・公務員（33.8%）」、「無職（22.4%」、「パート・アルバイト（16.5%）」が多い。

○最寄りバス停までの徒歩での所要時間は「５分未満」が 52.6%で、15 分未満が９割以上を占めている。

（２）自動車運転免許に対する意向

○自動車の利用頻度は、「ほぼ毎日」が約４割と最も多く、週に１日以上が約７割を占めている。

○運転免許返納意向は、「すぐにでも返納したい」＋「返納してもよい」と回答した割合は 11.9%で、80 歳以上で約３割を占めている。

（３）日常の外出行動

○買い物は週１日以上が 82.7%、病院は「体調が悪いときのみ」、「月に２～３日程度」と低頻度が、通勤は「週に５日以上」が 80.3%と多い。

○買い物の行き先は、「フレスポ八潮」に次いで市外が多く、特に西袋・南後谷エリアは 36.1%と多い。

○よく行く病院は「その他の病院（市内）」、「その他の病院（市外）」、「八潮中央総合病院」が多く、通勤・通学先は「東京都」、「市内」が多い。

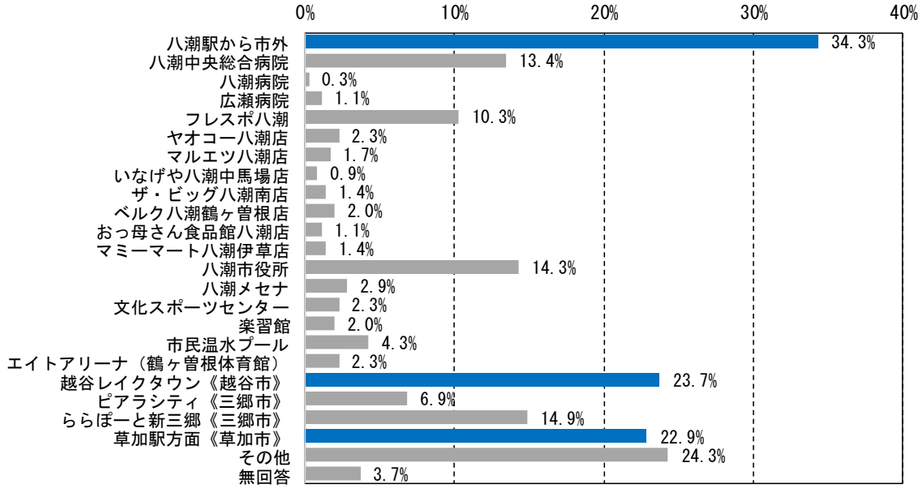
（４）移動のしやすさ

○「買い物」・「遊び・趣味・習い事など」・「通院」などの目的で外出する際、３人に１人（35.3%）が困っており、八條エリア、新町・緑町エリア、二丁目・南川崎エリアで困り具合の割合が高く、八潮駅周辺エリアで低い。また、自動車の運転免許を持っていない方が困り具合の割合が高い。

○困っている時の行き先は、「八潮駅から市外」、「越谷レイクタウン《越谷市》」、「草加駅方面《草加市》」、「ららぽーと新三郷《三郷市》」といった市外や、「八潮市役所」、「八潮中央総合病院」、「フレスポ八潮」が多い。

○市外への移動ニーズは、食料品といった最寄り品でなく、買回り品の買い物や遊び・趣味・習い事などが主な目的のため、外出頻度が低いものと伺えられる。

■困っている時の行き先（ｎ＝350）



（５）公共交通機関（鉄道、路線バス、タクシー）の利用実態と意識・要望

○鉄道（つくばエクスプレス、東武スカイツリーライン）や路線バスは、「遊び・趣味・習い事など」、「買い物」、「通勤」目的で、「年に数日程度」、「月に２～３日程度」利用している方が多い。

○鉄道の運行サービス満足度（利用者）は、全体的に高いものの、「鉄道・バスとの乗り継ぎのしやすさ」でやや低い。一方、路線バスは、「運賃」、「運行ルート（行き先）」で満足率が高いものの、「運行本数」、「運行時間帯」で不満率が高い。タクシーは「利用のしやすさ（電話での呼び出しなど）」、「車両の乗り心地・乗りやすさ」で満足率が高いものの、「運賃」と「料金・サービスなどの運行情報案内」で不満率が高い。

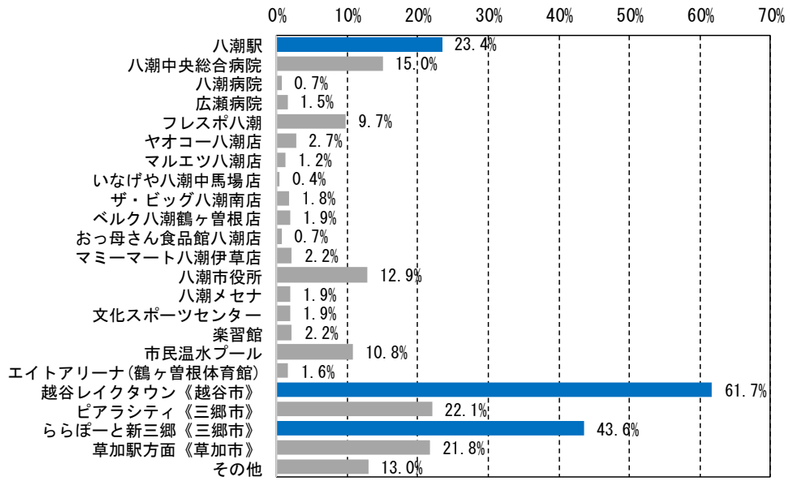
（６）公共交通の利用意向

○目的地へ直接移動できるバスなどの公共交通機関が運行された場合に、行きたい場所は「越谷レイクタウン《越谷市》」、「ららぽーと新三郷《三郷市》」、「八潮駅」、「八潮中央総合病院」、「八潮市役所」、「市民温水プール」などへの移動ニーズが多い。

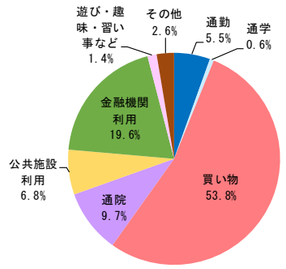
○「越谷レイクタウン《越谷市》」は全エリアで、「ららぽーと新三郷《三郷市》」は新町・緑町エリア、二丁目・南川崎エリア、大瀬・古新田エリア、八潮駅周辺エリア及び中央・八潮エリアで高い。

○その利用目的は「買い物」、「金融機関利用」、「通院」目的で、頻度は「月に２～３日程度」、「年に数日程度」といった低頻度が多い。

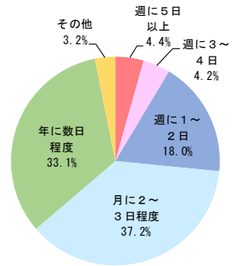
■公共交通機関が運行された場合に、行きたい場所



■利用目的



■利用頻度



（７）公共交通の今後のあり方

○今後取り組むべき方向性は、「公共交通を現状より充実させて、利用促進を図るべきだ」が 40.3%、公共交通に対する財政負担の考え方は、「市が財政負担をし、主になって公共交通を充実していくことに加えて、住民、企業などが協力し合って維持していくべきだ」が 38.5%と最も多い。

○公共交通の利用促進を図るための効果的な取組みは、「路線バスや八潮市コミュニティバスなどのルートや時刻表などを掲載した公共交通マップの作成・配布」、「自動車運転免許証返納者への公共交通割引など制度の導入」、「バス停の待合環境整備や運行情報案内の表示改善」の順で多い。

（１）回答者の属性

回答者の性別は「女性」の回答者が 59.3％と男性よりも多く、年齢は「70 歳代」が 21.8％と最も多いものの、各世代から幅広く回答されている。

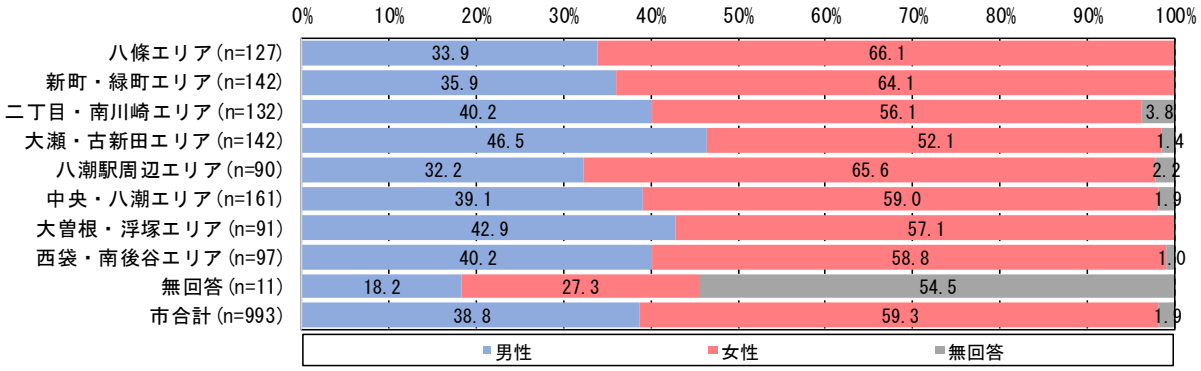
職種は「会社員・公務員（33.8％）」、「無職（22.4％）」が多い。

自動車運転免許有無は、「ある」が 71.9％と最も多く、年齢別に見ると、10 歳代や 70 歳以上で「ない」あるいは「運転免許返納済」の割合が高い。

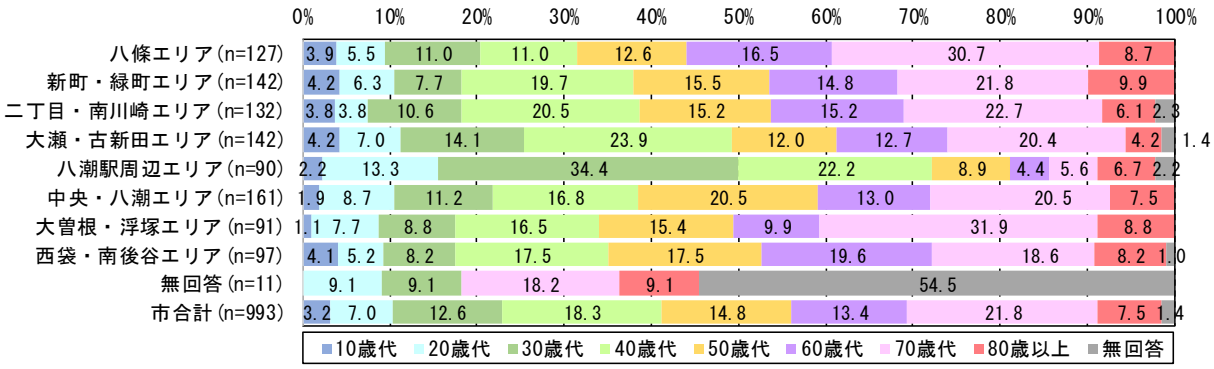
自動車の所有状況は「自分専用の自動車がある」が 33.5％、「家族共用の自動車がある」が 34.4％と同程度となっており、「持っていない」方は 28.0％を占めている。

最寄りバス停までの徒歩での所要時間は、「５分未満」が 52.6％と最も多く、15 分未満の人の割合は各エリアとも９割以上を占めている。

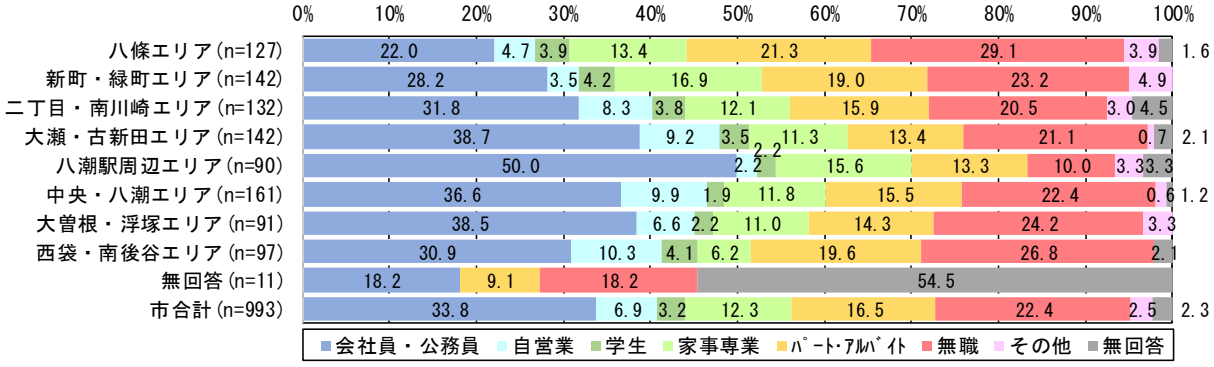
■性別



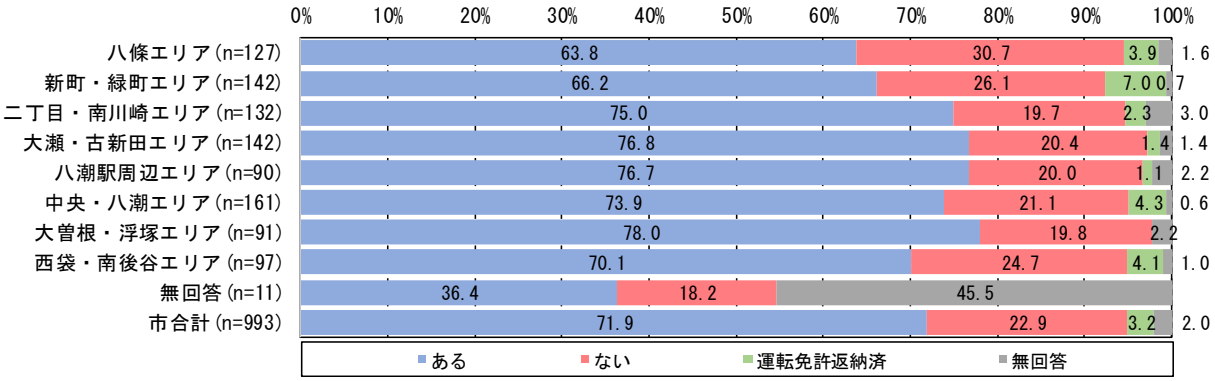
■年齢



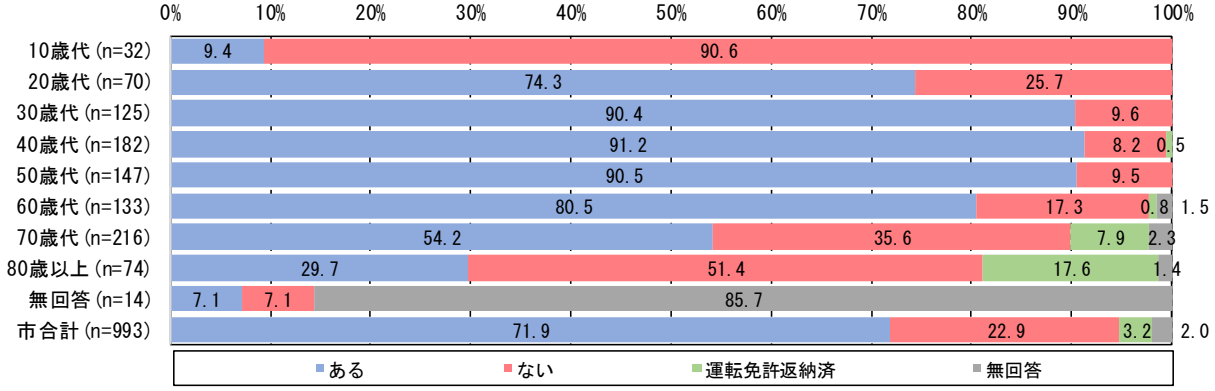
■職業



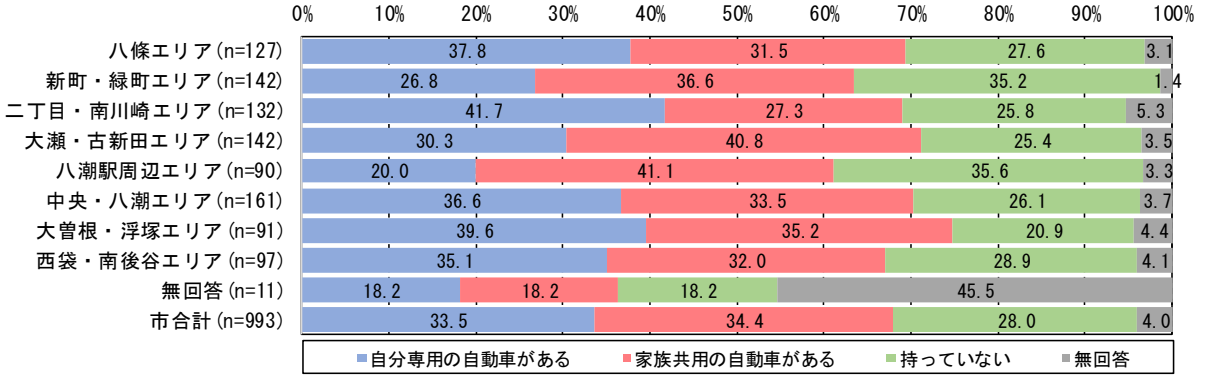
■自動車運転免許有無



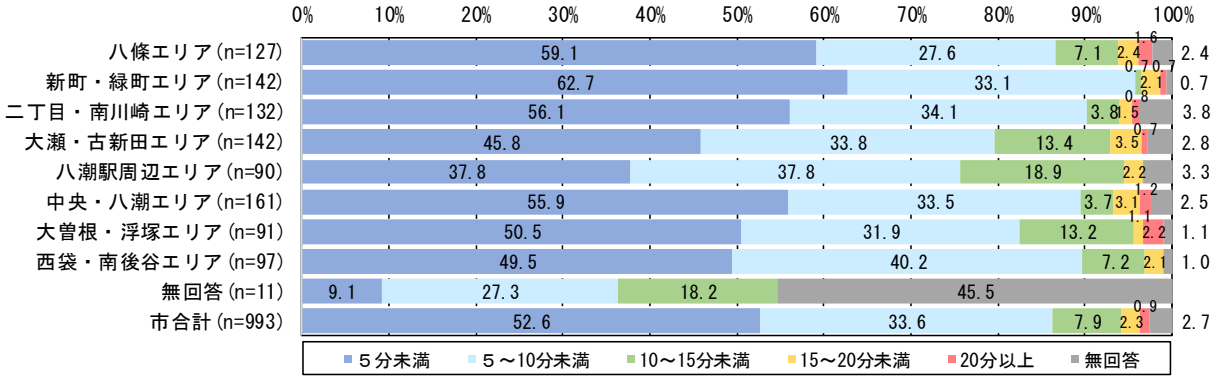
（年齢別）



■自動車の所有状況



■最寄りバス停までの徒歩での所要時間



（２）自動車運転免許に対する意向　※自動車運転免許を持っている方のみ

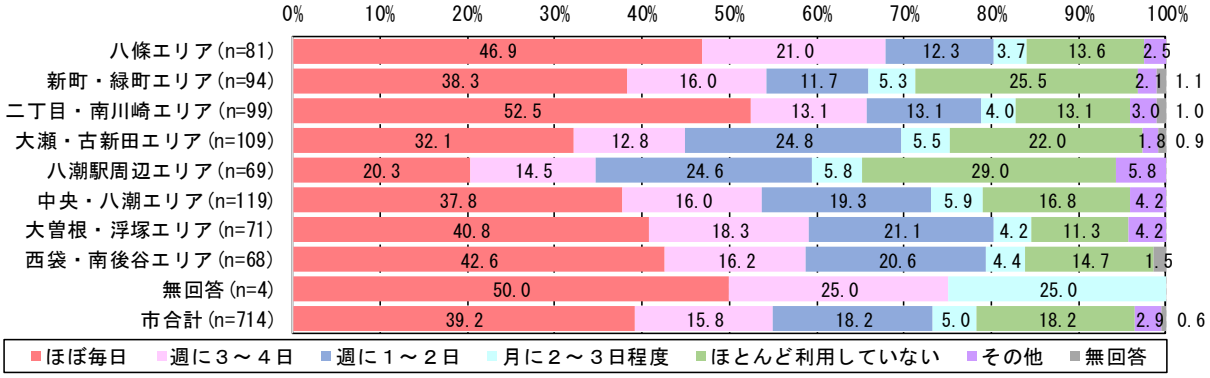
自動車の利用頻度は「ほぼ毎日（39.2%）」、「週に１～２日（18.2%）」の順で多く、週に１日以上利用している方は約７割を占めている。

運転に対する考え方は「運転は苦にならない」が 75.5%と最も多く、「すでに自分で運転することを控えている（11.6%）」と「運転に不安を感じ始めているので、できれば控えたいが他に変わる交通手段がない（5.5%）」と回答した方は、80 歳以上で 27.3%と高い。

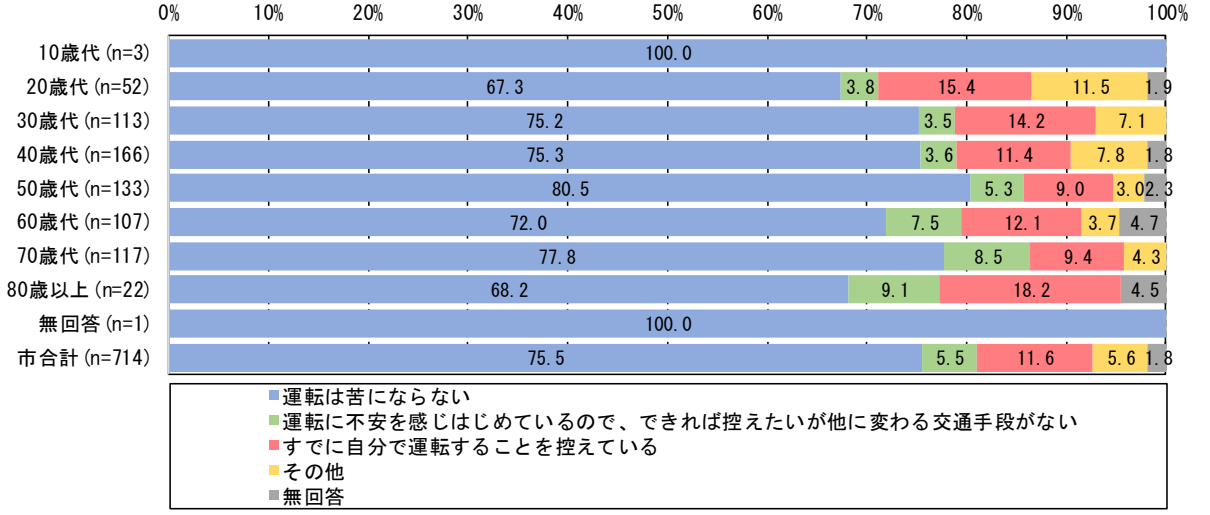
運転継続年齢は「70～74 歳（25.2%）」、「65～69 歳（23.8%）」、「75～79 歳（20.0%）」の順となっているが、高齢になるほど、運行継続年齢が高くなっている。

運転免許返納については、「今は返納するつもりはないが、将来は返納してもよい」が 75.9%と最も多く、将来も含めた返納意向は約９割と高い。

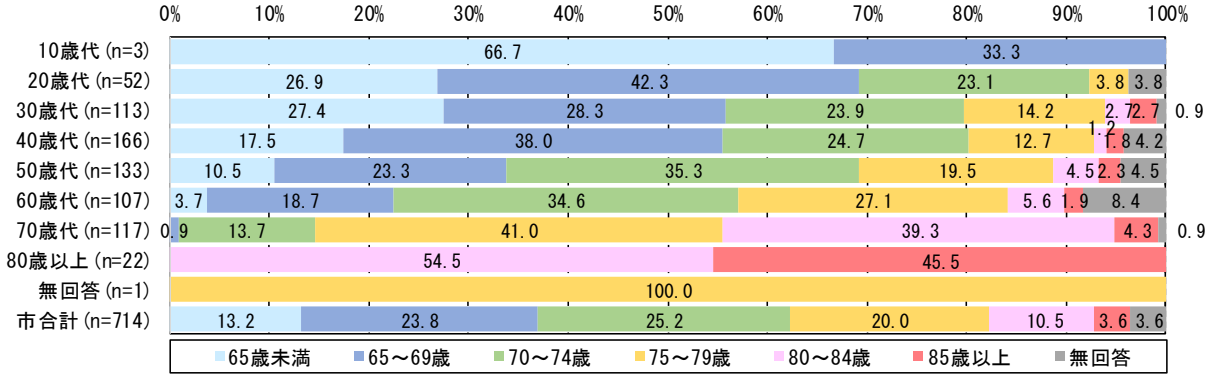
■自動車の利用頻度



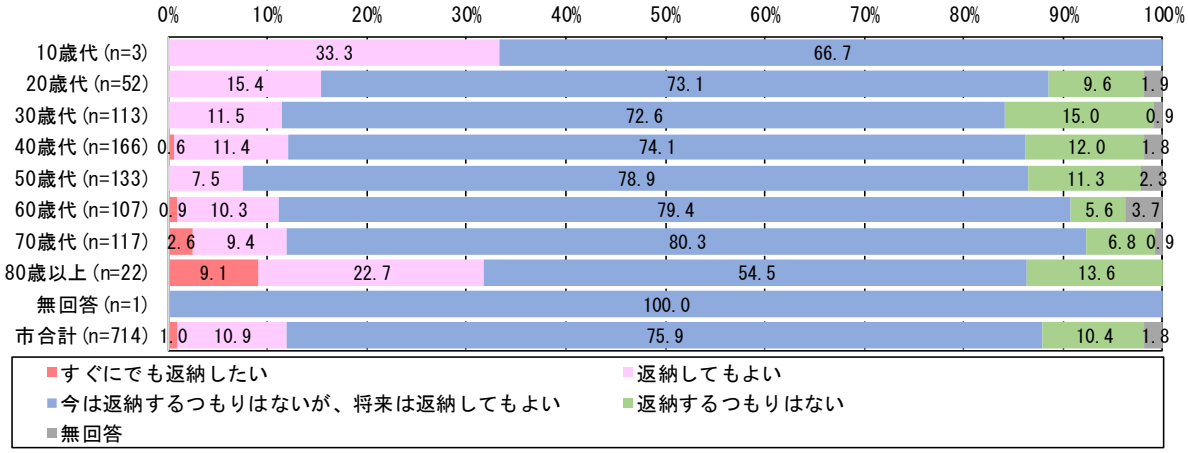
■運転に対する考え方



■運転継続年齢



■運転免許返納意向


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
10歳代 (n=3)
33.3
66.7
20歳代 (n=52)
15.4
73.1
9.6
1.9
30歳代 (n=113)
11.5
72.6
15.0
0.9
40歳代 (n=166)
0.6
11.4
74.1
12.0
1.8
50歳代 (n=133)
7.5
78.9
11.3
2.3
60歳代 (n=107)
0.9
10.3
79.4
5.6
3.7
70歳代 (n=117)
2.6
9.4
80.3
6.8
0.9
80歳以上 (n=22)
9.1
22.7
54.5
13.6
無回答 (n=1)
100.0
市合計 (n=714)
1.0
10.9
75.9
10.4
1.8
すぐにでも返納したい
返納してもよい
今は返納するつもりはないが、将来は返納してもよい
返納するつもりはない
無回答

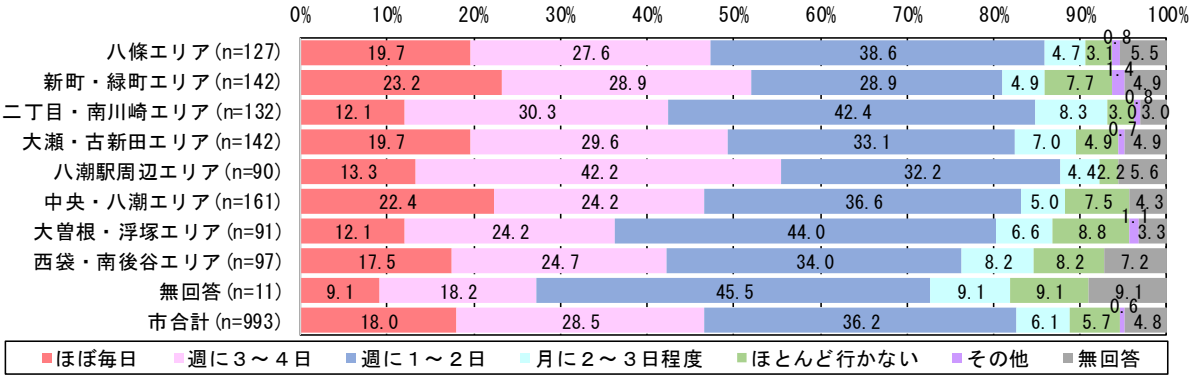
（３）日常の外出行動

①日常の買い物（食料品・日用品等）

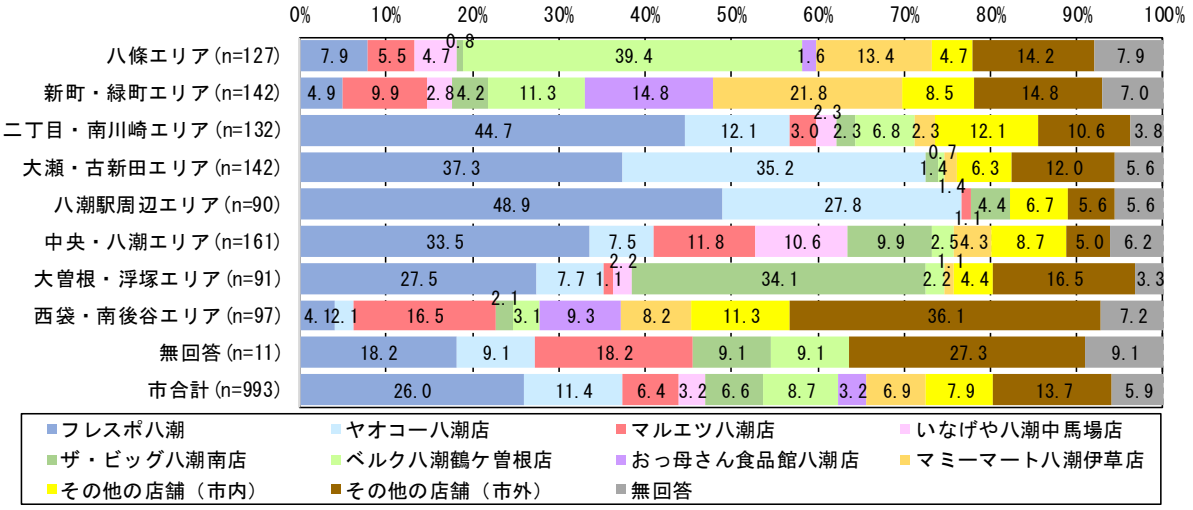
買い物に行く頻度は「週に１～２日（36.2%）」、「週に３～４日（28.5%）」が多く、買い物先は「フレスポ八潮（26.0%）」、「その他の店舗（市外）（13.7%）」、「ヤオコー八潮店（11.4%）」の順で多く、市外は西袋・南後谷エリアで36.1%と高い。

利用交通手段は、「自家用車（48.2%）」、「自転車（36.3%）」、「徒歩（27.3%）」の順で多く、「路線バス」が9.6%、「八潮市コミュニティバス」が0.9%となっている。

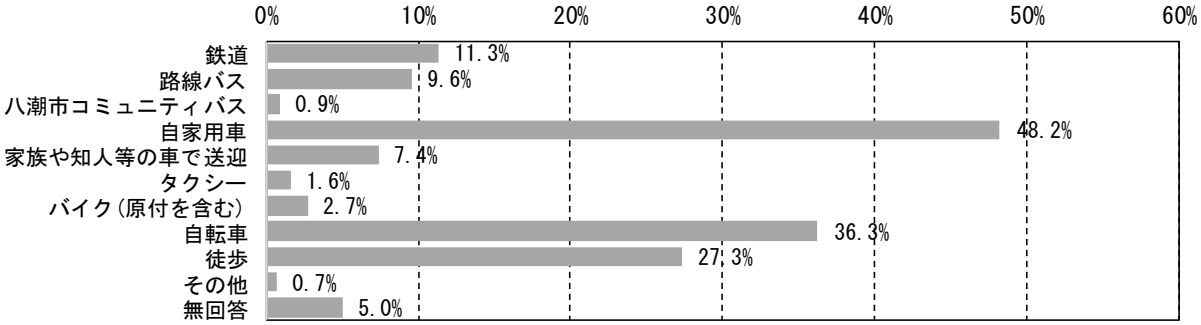
■買い物に行く頻度



■最もよく行く買い物先



■買い物に行く時の利用交通手段（ｎ＝993）

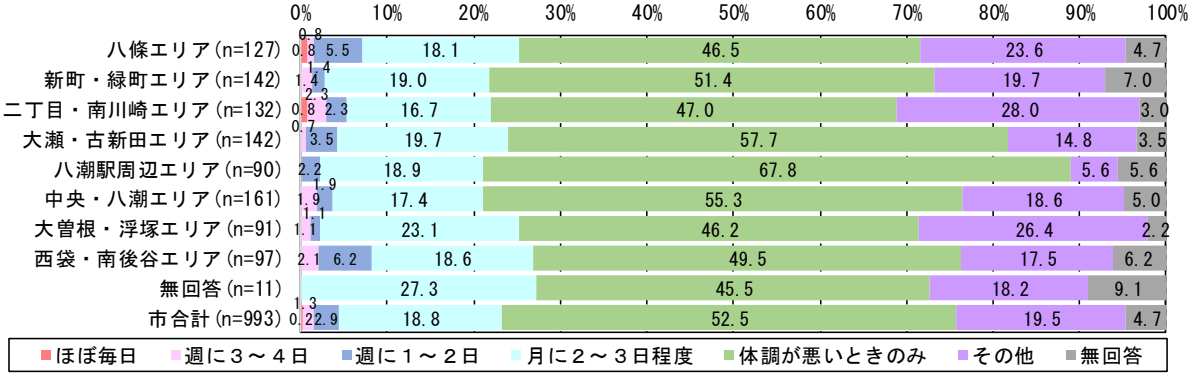


②病院の利用

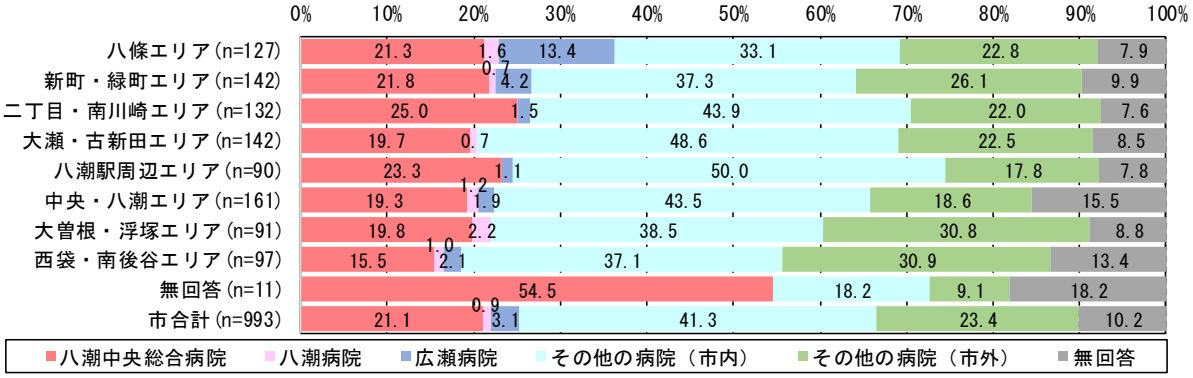
病院に行く頻度は「体調が悪いときのみ」が 52.5%と最も多く、次いで「月に２～３日程度（18.8%）」となっており、最もよく行く病院は「その他の病院（市内）（41.3%）」、「その他の病院（市外）（23.4%）」、「八潮中央総合病院（21.1%）」の順で多い。

利用交通手段は、「自家用車（43.6%）」、「自転車（27.3%）」、「徒歩（20.5%）」の順で多く、「路線バス」が 11.7%、「八潮市コミュニティバス」が 1.3%となっている。

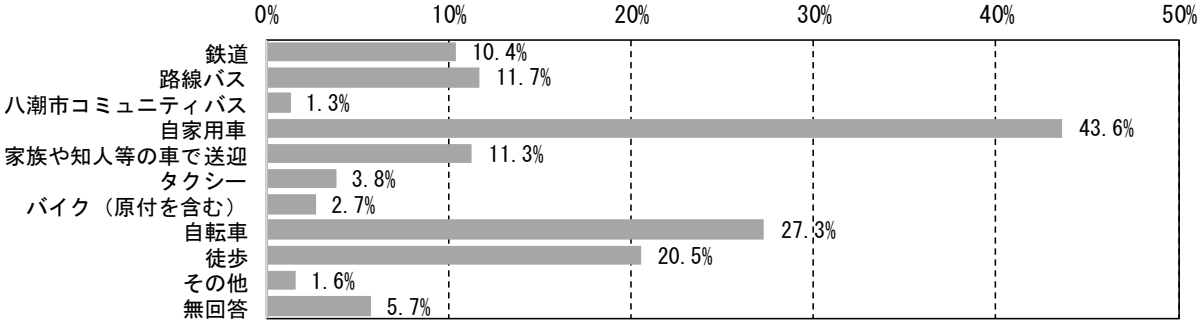
■病院に行く頻度



■最もよく行く病院



■病院に行く時の利用交通手段（ｎ＝993）

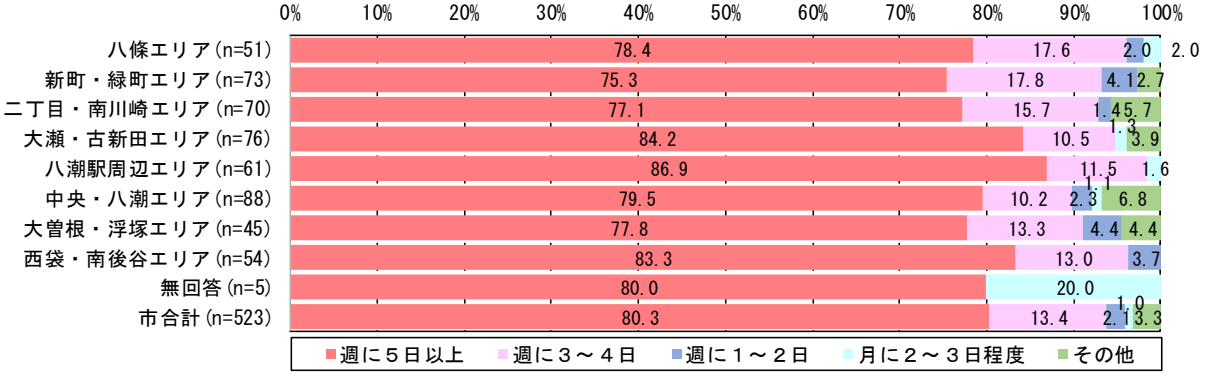


③通勤・通学

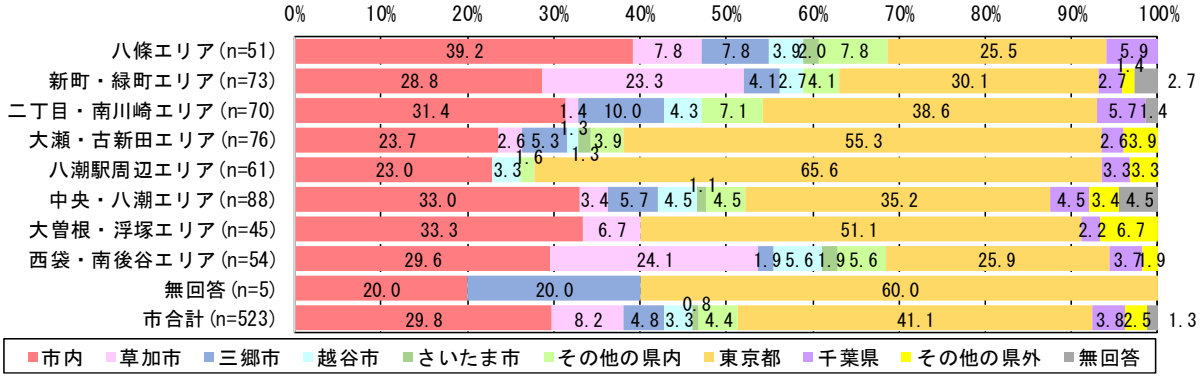
通勤･通学に行く頻度は｢週に５日以上｣が 80.3％と最も多く､通勤･通学先は｢東京都(41.1％)｣、「市内（29.8％）」の順で多く、新町・緑町エリアや西袋・南後谷エリアで「草加市」の割合がそれぞれ 23.3％、24.1％と多い。

利用交通手段は、「鉄道（44.2％）」、「自転車（34.8％）」、「自家用車（33.3％）」の順で多く、また、「路線バス」が 15.9％、「八潮市コミュニティバス」が 0.4％となっている。

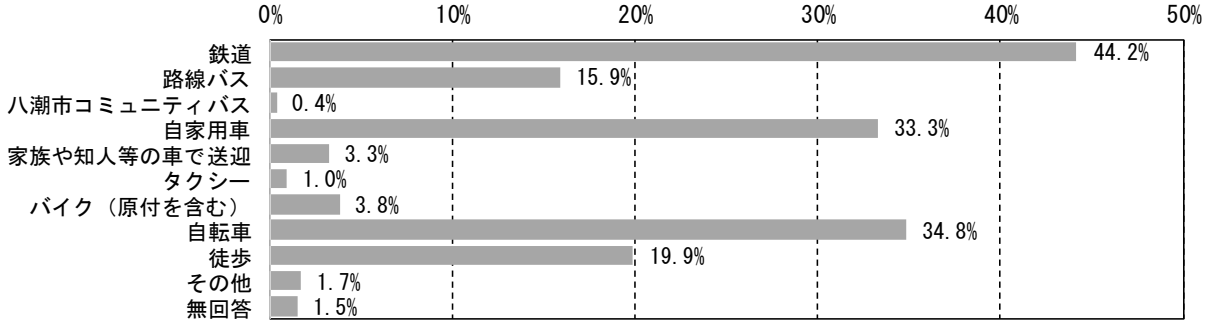
■通勤・通学に行く頻度



■通勤・通学先



■通勤・通学時の利用交通手段（ｎ＝523）



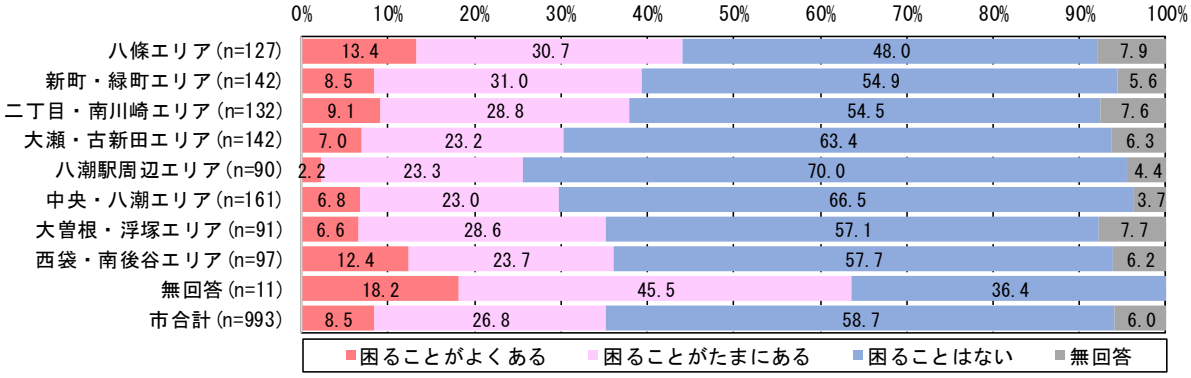
（4）日常の移動のしやすさ

①困り具合

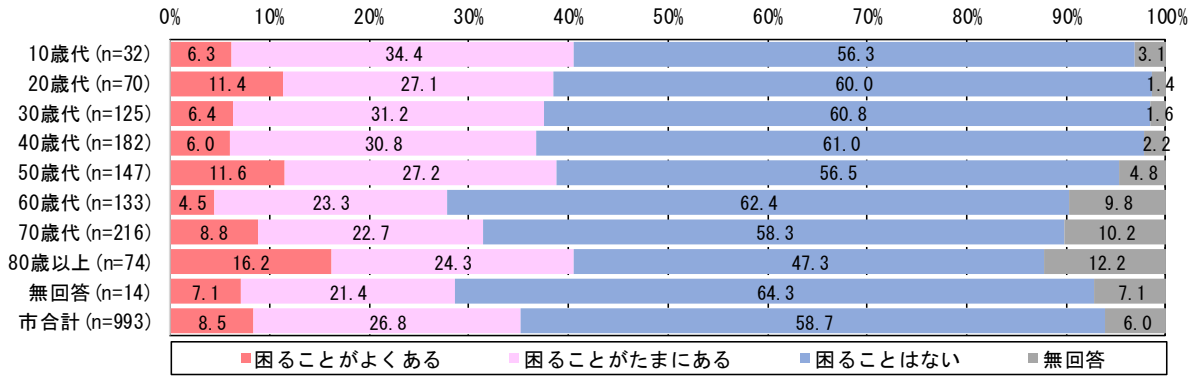
外出時に「困ることがよくある」と「困ることがたまにある」と回答した方の合計は 35.3%となっており、地区別に見ると、八條エリアや新町・緑町エリア、二丁目・南川崎エリアで市平均を上回り、八潮駅周辺エリアが 25.5%と最も低い。

年齢別に見ると、10～50 歳代と 80 歳以上で市平均を上回り、自動車の運転免許有無別に見ると、免許を持っていない人で困り具合が高い。

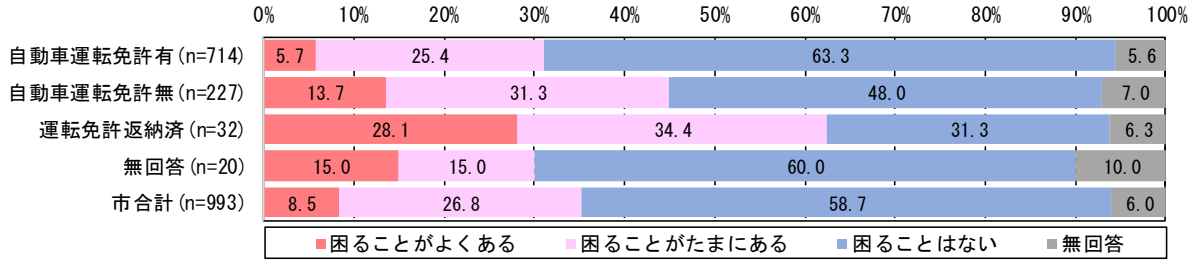
■外出する際の困ることの有無



（年齢別）

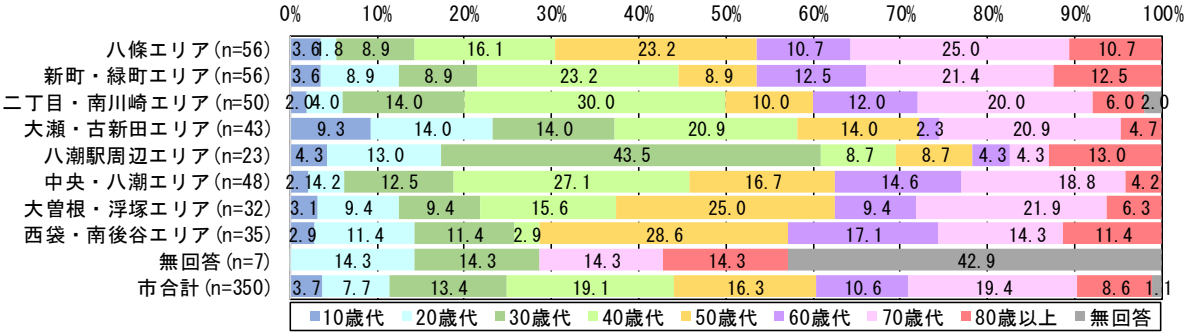


（自動車の運転免許有無別）

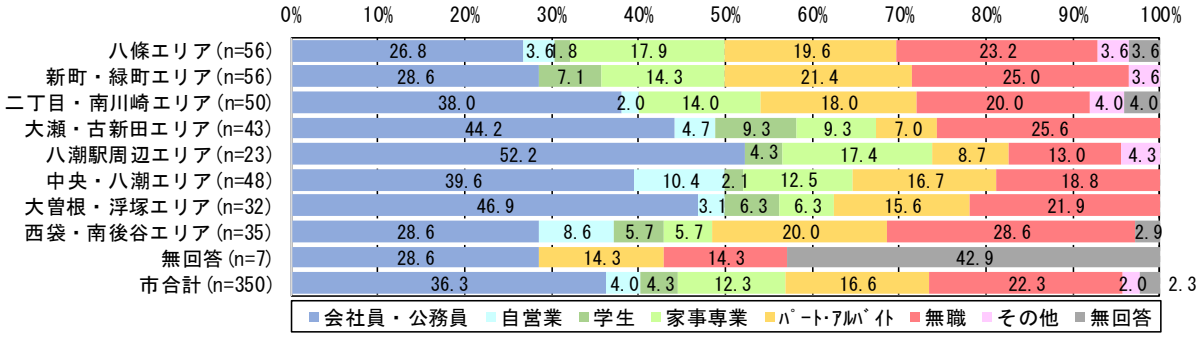


（参考）困っている方の回答者属性

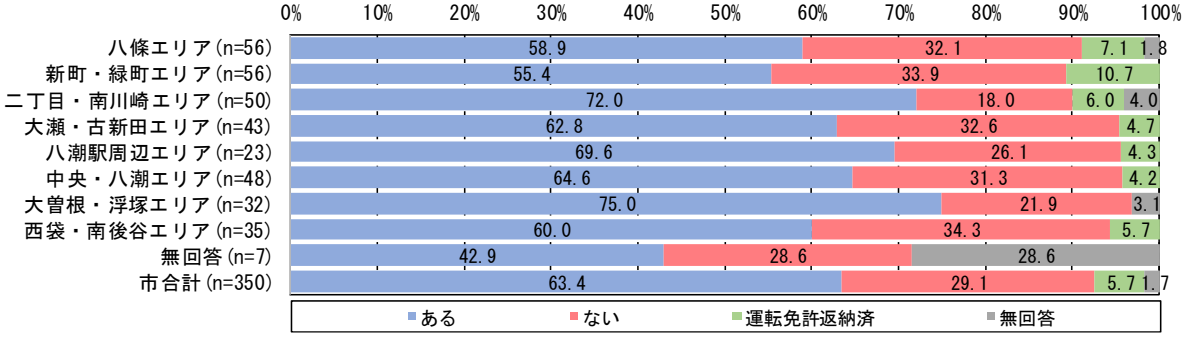
■「困ることがよくある」＋「困ることがたまにある」×年齢



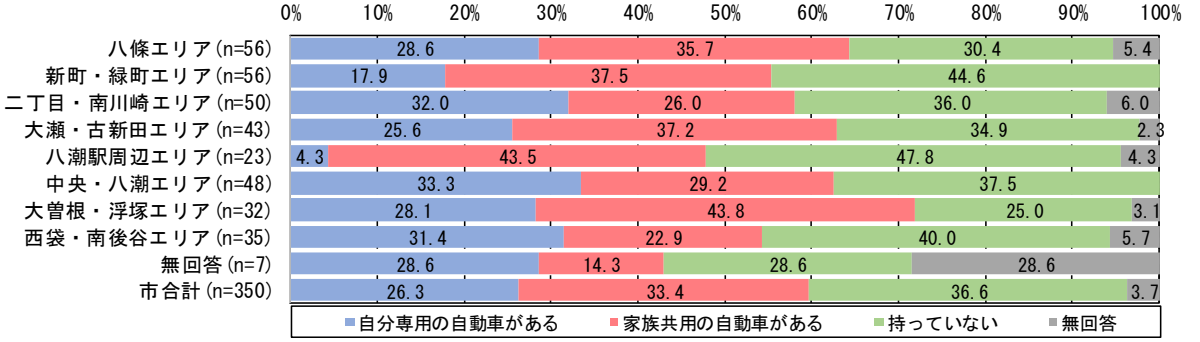
■「困ることがよくある」＋「困ることがたまにある」×職業



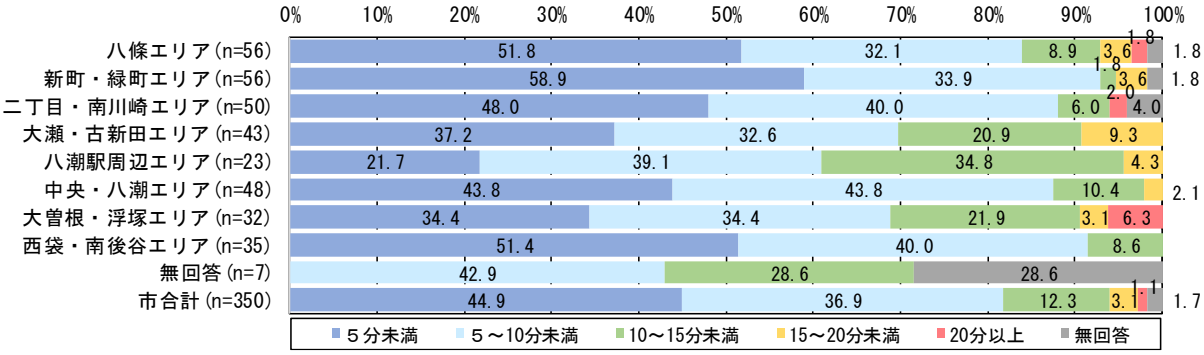
■「困ることがよくある」＋「困ることがたまにある」×自動車運転免許有無



■「困ることがよくある」＋「困ることがたまにある」×自動車保有状況



■「困ることがよくある」＋「困ることがたまにある」×最寄りバス停までの徒歩所要時間

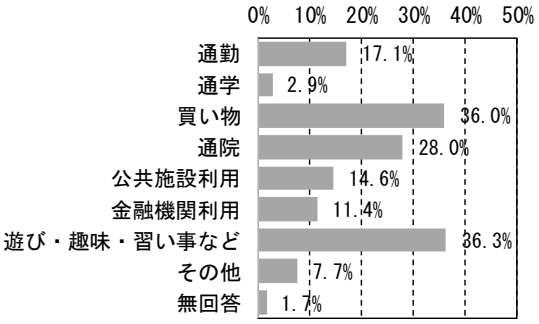


②困っている時の状況

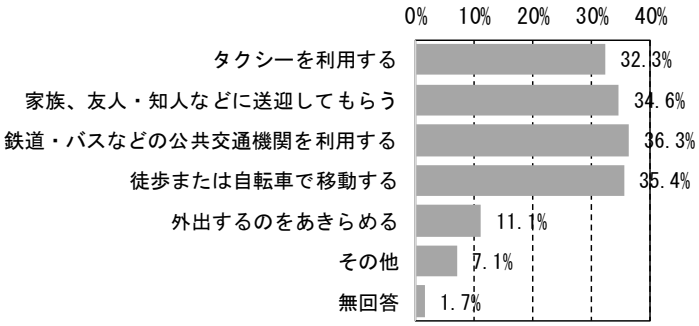
困っている時の目的は、「遊び・趣味・習い事など（36.3%）」、「買い物（36.0%）」及び「通院（28.0%）」の順で多く、困っている時の対応としては、「鉄道・バスなどの公共交通機関を利用する」、「徒歩または自転車で移動する」、「家族・友人などに送迎してもらう」、「タクシーを利用する」がそれぞれ約３割となっている。

行き先は、「八潮駅から市外（34.3%）」、「その他（24.3%）」、「越谷レイクタウン（23.7%）」、「草加駅方面《草加市》（22.9%）」と市外へ移動する際に困っている回答が多い。

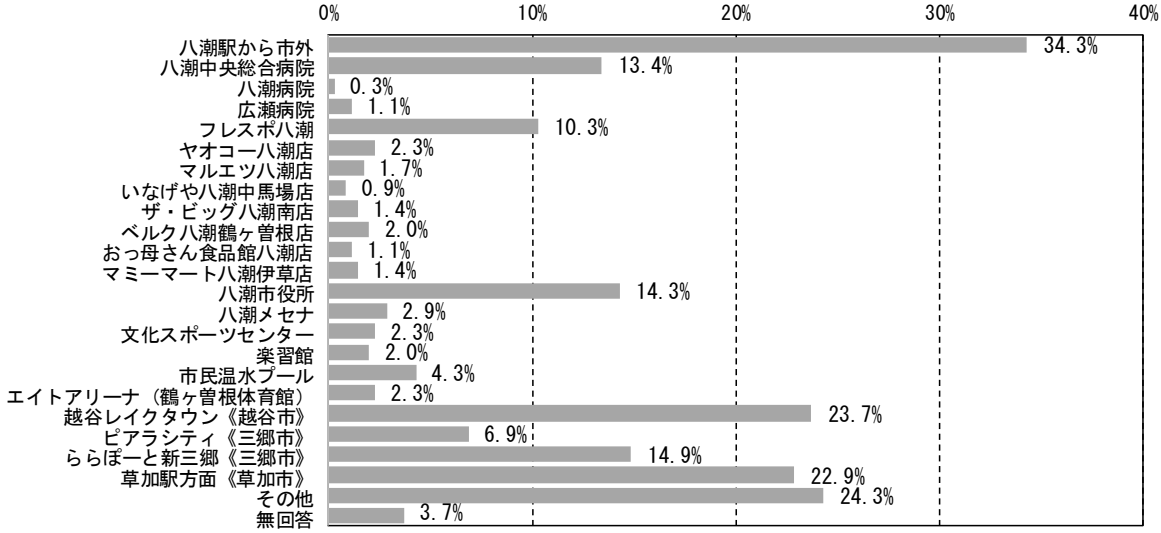
■困っている時の目的（ｎ＝350）



■困っている時の対応（ｎ＝350）



■困っている時の行き先（ｎ＝350）



（住まい別困っている時の行き先（件数、ｎ＝350））

	八條エリア	新町・緑町エリア	二丁目・南川崎エリア	大瀬・古新田エリア	八潮駅周辺エリア	中央・八潮エリア	大曽根・浮塚エリア	西袋・南後谷エリア	無回答	市合計
八潮駅から市外	**14**	**18**	**23**	**14**	**13**	**20**	**14**	2	2	120
八潮中央総合病院	10	11	5	5	0	7	4	5	0	47
八潮病院	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
広瀬病院	1	0	0	0	0	1	0	1	1	4
フレスポ八潮	4	4	8	4	4	4	6	2	0	36
ヤオコー八潮店	0	0	0	3	4	0	0	0	1	8
マルエツ八潮店	2	1	0	0	0	0	0	2	1	6
いなげや八潮中馬場店	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3
ザ・ビッグ八潮南店	1	1	0	0	0	2	1	0	0	5
ベルク八潮鶴ヶ曽根店	4	0	0	0	0	0	0	2	1	7
おっ母さん食品館八潮店	0	1	2	0	0	0	1	0	0	4
マミーマート八潮伊草店	1	1	0	0	0	1	2	0	0	5
八潮市役所	7	7	3	**10**	2	4	4	**12**	1	50
八潮メセナ	1	3	0	3	0	0	2	0	1	10
文化スポーツセンター	1	0	1	2	1	0	2	1	0	8
楽習館	0	0	1	2	1	3	0	0	0	7
市民温水プール	2	4	1	1	1	4	1	1	0	15
エイトアリーナ（鶴ヶ曽根体育館）	0	0	0	2	0	2	3	1	0	8
越谷レイクタウン《越谷市》	**17**	**19**	**11**	8	3	**16**	6	3	0	83
ピアラシティ《三郷市》	7	5	5	2	1	3	1	0	0	24
ららぽーと新三郷《三郷市》	7	9	7	8	4	**10**	3	3	1	52
草加駅方面《草加市》	**18**	**14**	8	5	3	**10**	7	**14**	1	80
その他	**17**	9	**13**	**12**	4	**11**	7	**10**	2	85
無回答	2	1	0	3	1	2	0	4	0	13

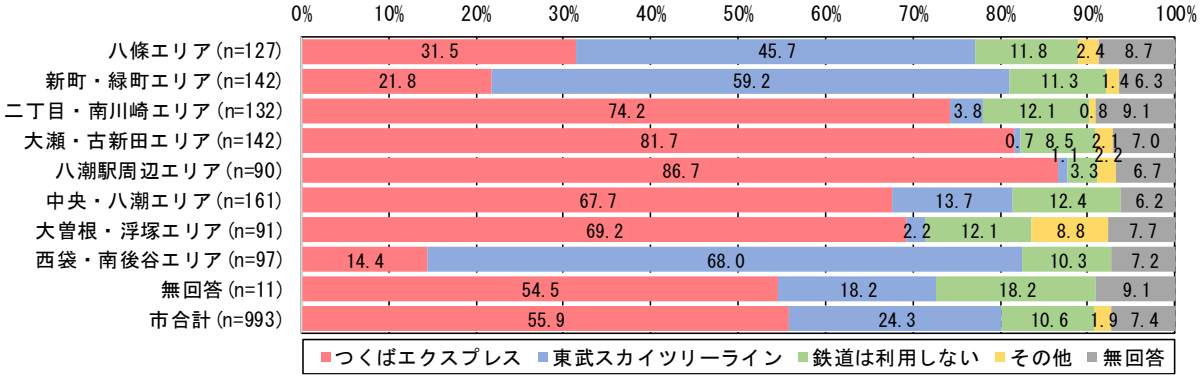
（５）鉄道（つくばエクスプレス・東武スカイツリーライン）の利用実態と意識・要望

よく利用する鉄道は、「つくばエクスプレス」が 55.9%、「東武スカイツリーライン」が 24.3%となっており、二丁目・南川崎エリア、大瀬・古新田エリア、八潮駅周辺エリア、中央・八潮エリア及び大曽根・浮塚エリアでつくばエクスプレスの割合が多く、八條エリア、新町・緑町エリア及び西袋・南後谷エリアで東武スカイツリーラインの割合が多い。

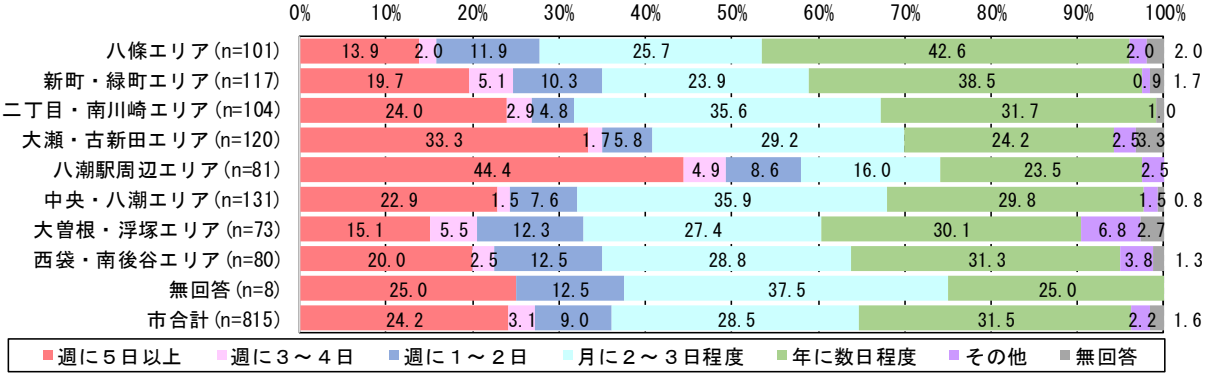
鉄道の利用頻度は、「年に数日程度（31.5%）」、「月に２～３日（28.5%）」、「週に５日以上（24.2%）」の順で多く、特に八潮駅周辺エリアで「週に５日以上」の割合が 44.4%と多い。

利用目的は利用頻度を反映しており、「遊び・趣味・習い事など（＝年に数日程度）」、「買い物（＝月に２～３日程度）」、「通勤（＝週に５日以上）」の順で多い。

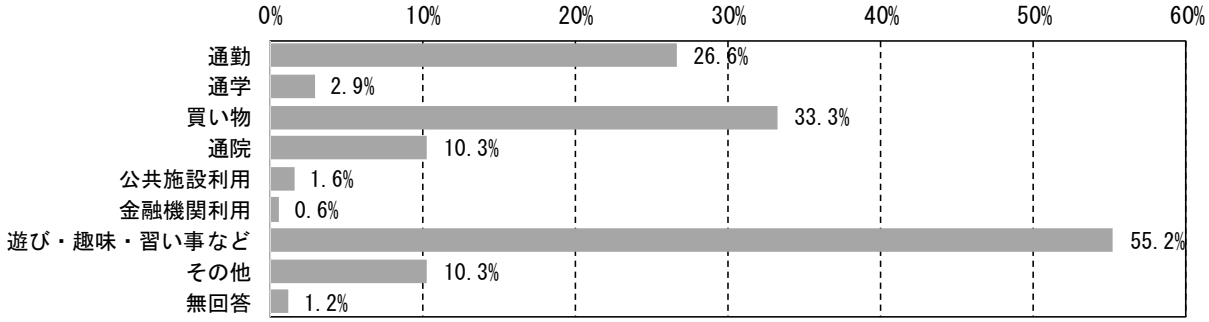
■よく利用する鉄道有無



■鉄道の利用頻度



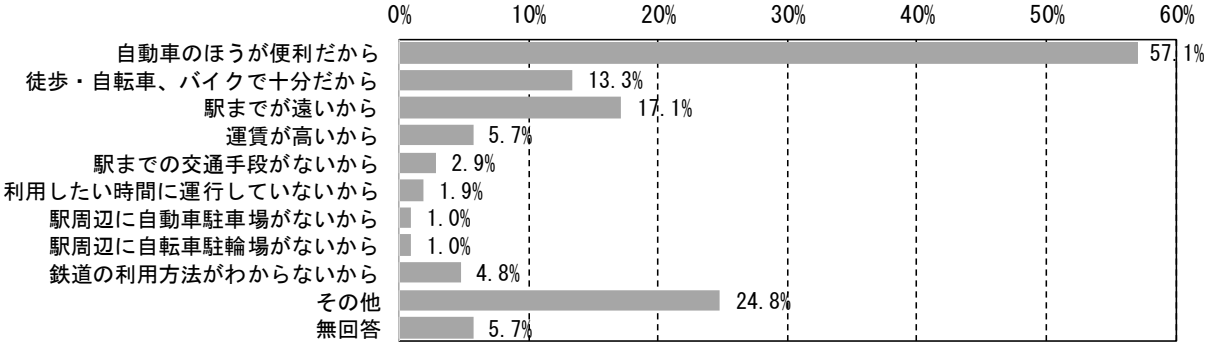
■鉄道の利用目的（ｎ＝815）



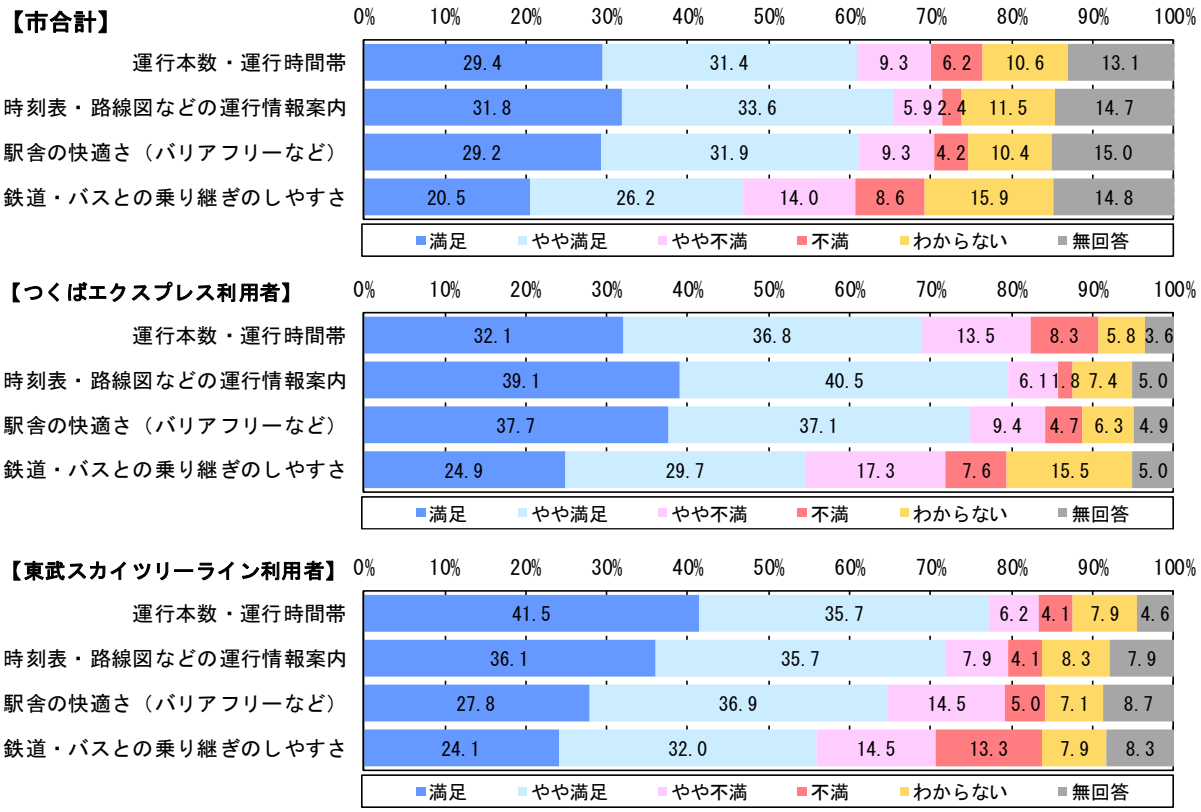
鉄道を利用しない理由は、「自動車のほうが便利だから（57.1%）」が多い。

運行サービスに対する満足度は、「運行本数・運行時間帯」、「時刻表・路線図等の運行情報案内」、「駅舎の快適さ（バリアフリーなど）」で「満足」と「やや満足」と回答した方の割合が高いものの、「鉄道・バスとの乗り継ぎのしやすさ」で「不満」と「やや不満」と回答した方の割合が 24.5%となっている。

■鉄道を利用しない理由（ｎ＝105）



■鉄道の運行サービスに対する満足度



（６）路線バス（八潮市コミュニティバス含む）の利用実態と意識・要望

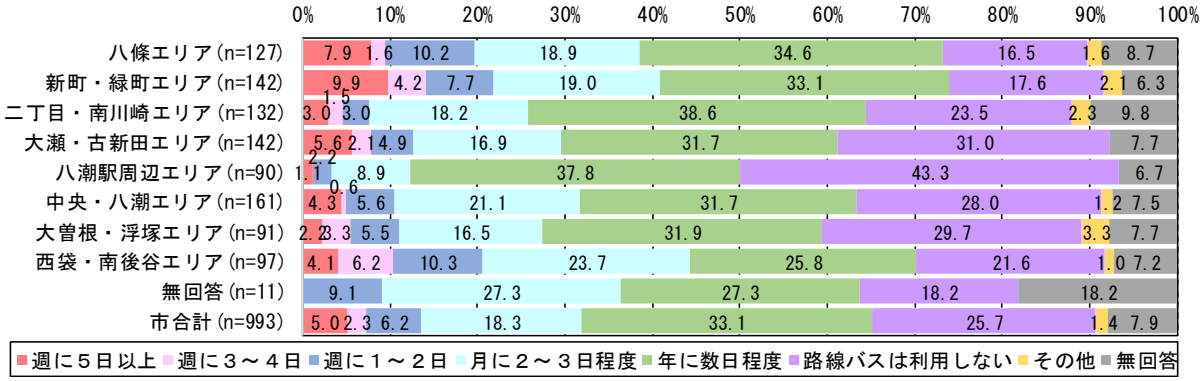
路線バスの利用頻度は、「年に数日程度」が 33.1%と最も多く、利用している人は 65.1%を占め、八條エリアや新町・緑町エリア、西袋・南後谷エリアで７割を超えている。

利用目的は、「遊び・趣味・習い事など」、「買い物」の順で多い。

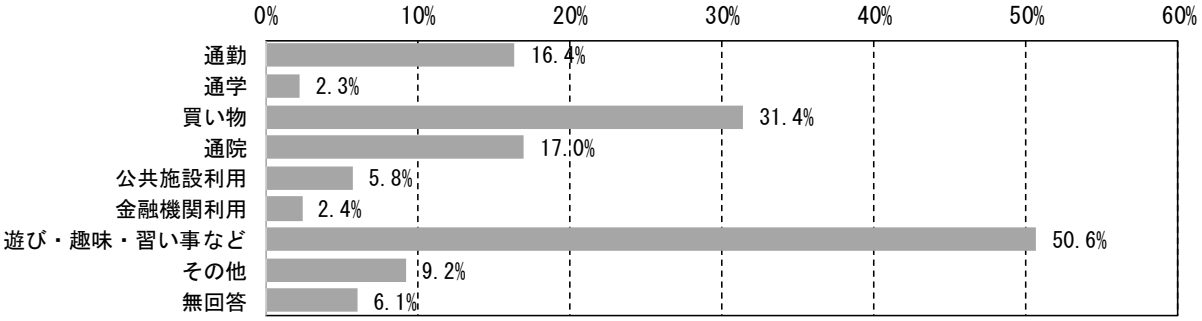
路線バスを利用しない理由は、「自動車のほうが便利だから」が 53.3%と最も多く、次いで「バスに乗る習慣がないから（25.5%）」、「徒歩・自転車、バイクで十分だから（22.4%）」となっている。

運行サービスに対する満足度は、利用者に着目すると、「運賃」、「運行ルート（行き先）」で「満足」と「やや満足」と回答した方の割合が高いものの、「運行本数」と「運行時間帯」で「不満」と「やや不満」と回答した方の割合が４割を超えている。

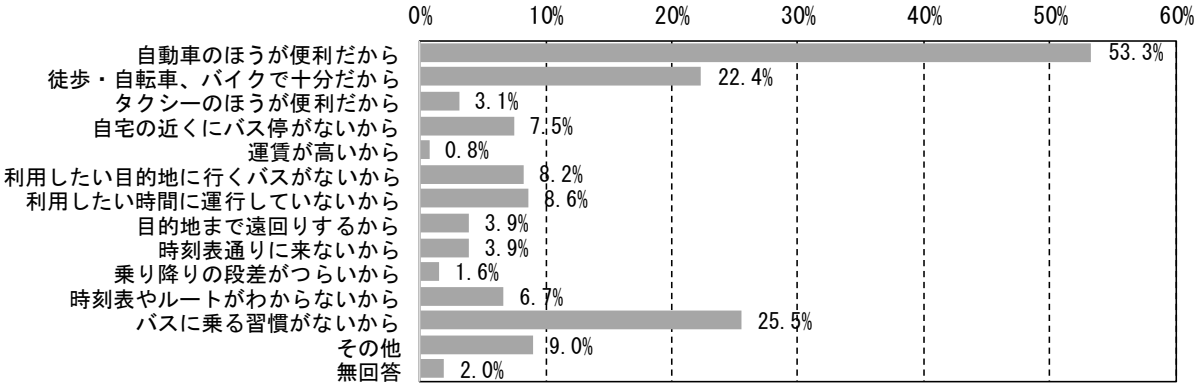
■路線バスの利用頻度



■路線バスの利用目的（ｎ＝660）

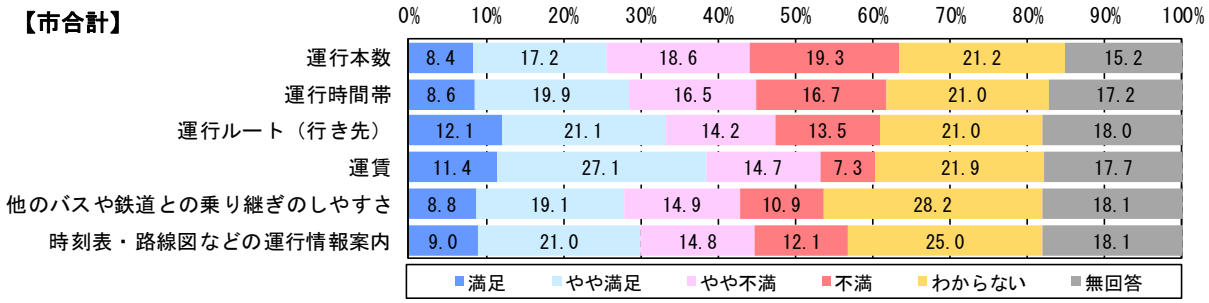


■路線バスを利用しない理由（ｎ＝255）

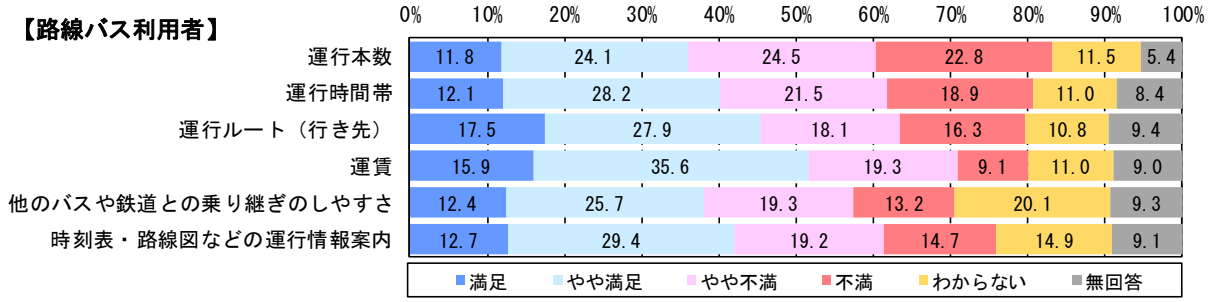


■路線バスの運行サービスに対する満足度

【市合計】

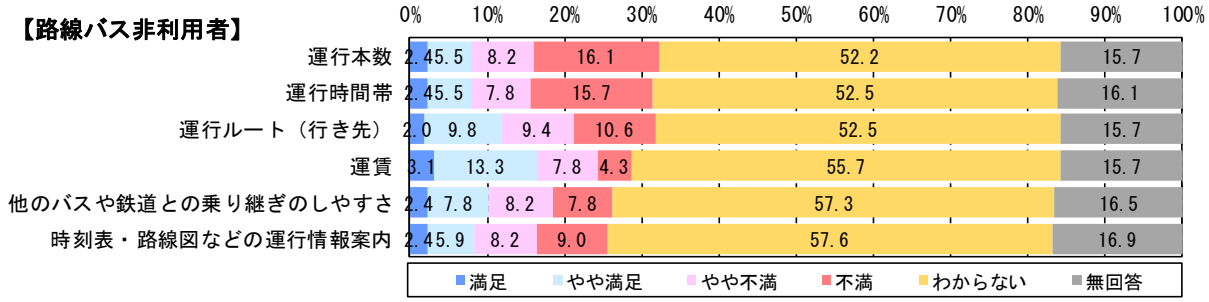


【路線バス利用者】



※利用頻度で「週に５日以上」「週に３～４日」「週に１～２日」「月に２～３日程度」「年に数日程度」回答者

【路線バス非利用者】



（７）タクシーの利用実態と意識・要望

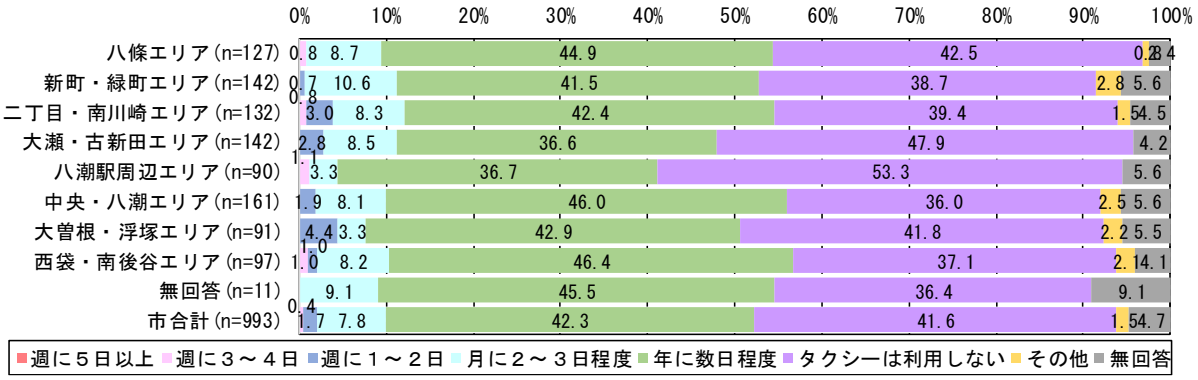
タクシーの利用頻度は、「年に数日程度」が 42.3%と最も多く、利用している人は 52.2%を占め、八潮駅周辺エリアで利用している割合がやや低い。

利用目的は、「遊び・趣味・習い事など」、「その他」、「通院」が多い。

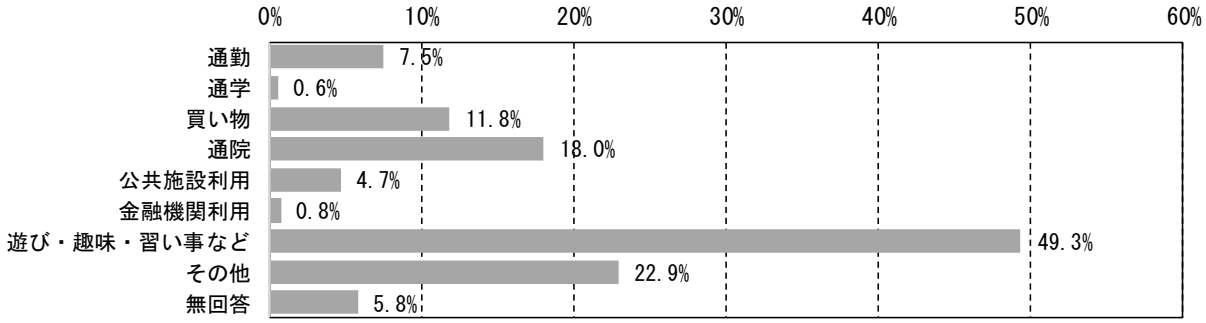
タクシーを利用しない理由は、「自動車のほうが便利だから」が 46.7%と最も多い。

サービスに対する満足度は、利用者に着目すると、「利用のしやすさ（電話での呼び出しなど）」、「車両の乗り心地・乗りやすさ」で「満足」と「やや満足」の合計が高いものの、「運賃」と「料金・サービスなどの運行情報案内」で「不満」と「やや不満」の合計が高い。

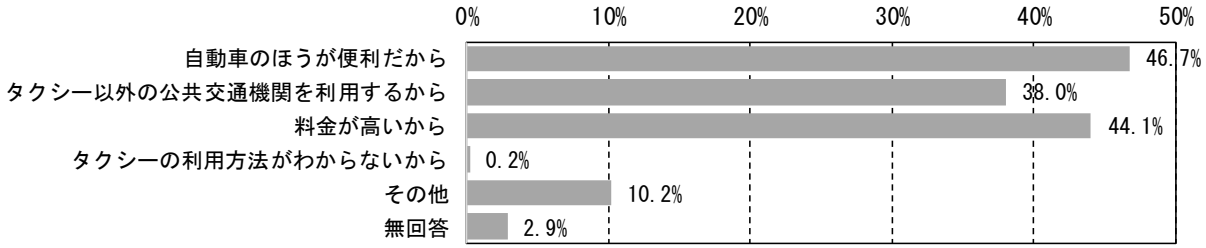
■タクシーの利用頻度



■利用目的（ｎ＝533）

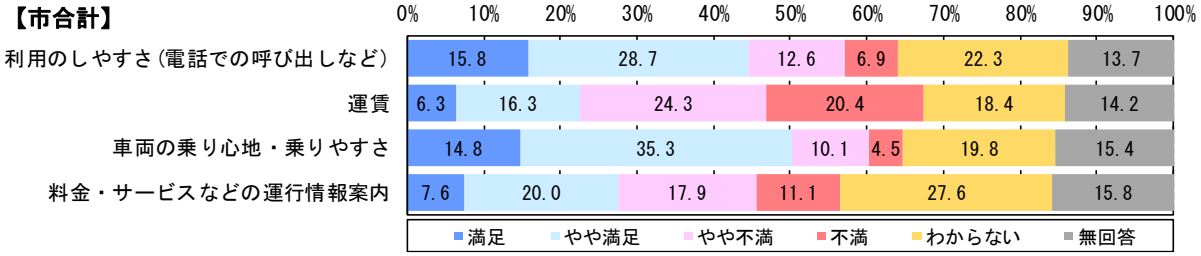


■タクシーを利用しない理由（ｎ＝413）

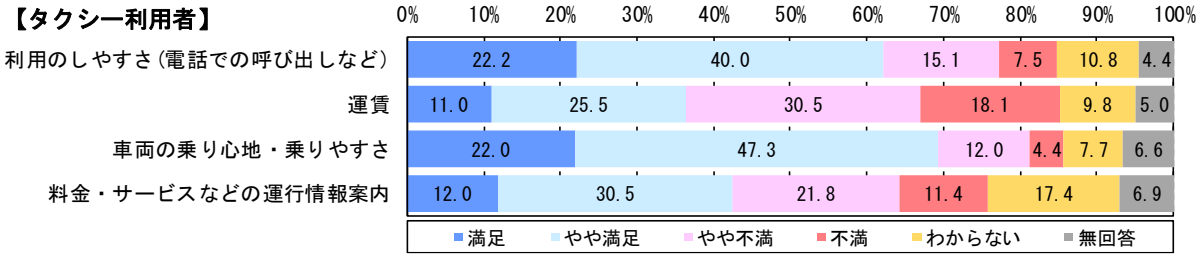


■運行サービスに対する満足度

【市合計】

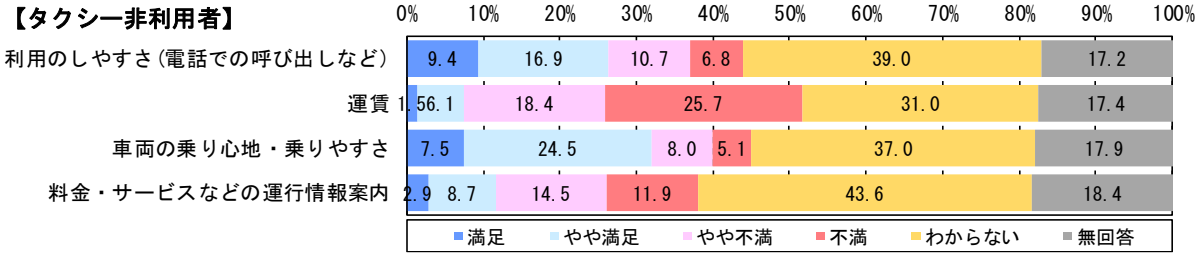


【タクシー利用者】



※利用頻度で「週に５日以上」「週に３～４日」「週に１～２日」「月に２～３日程度」「年に数日程度」回答者

【タクシー非利用者】

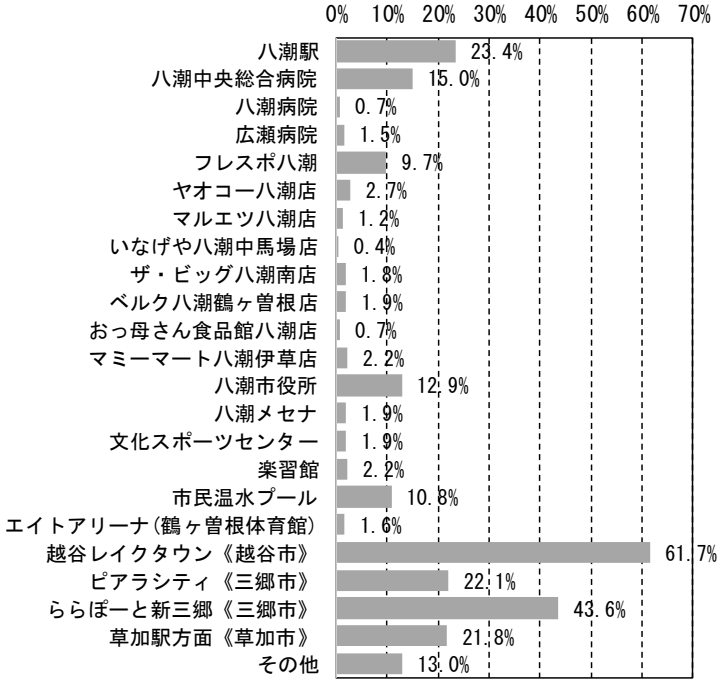


（８）公共交通の利用意向

目的地へ直接移動できるバスなどの公共交通機関が運行された場合に、行きたい場所は「越谷レイクタウン《越谷市》（61.7%）」、「ららぽーと新三郷《三郷市》（43.4%）」、「八潮駅（23.4%）」と市外の商業施設や八潮駅への移動ニーズが多く、外出する時に交通手段がなくて困っている方に限定した場合でも同様の傾向となっている。

越谷レイクタウン、ピアラシティ、ららぽーと新三郷といった利用意向が高い市外の商業施設は30～50 歳代が多く、八潮中央総合病院、フレスポ八潮、八潮市役所といった市内の施設は 60 歳以上の割合が多い。

■行きたい場所

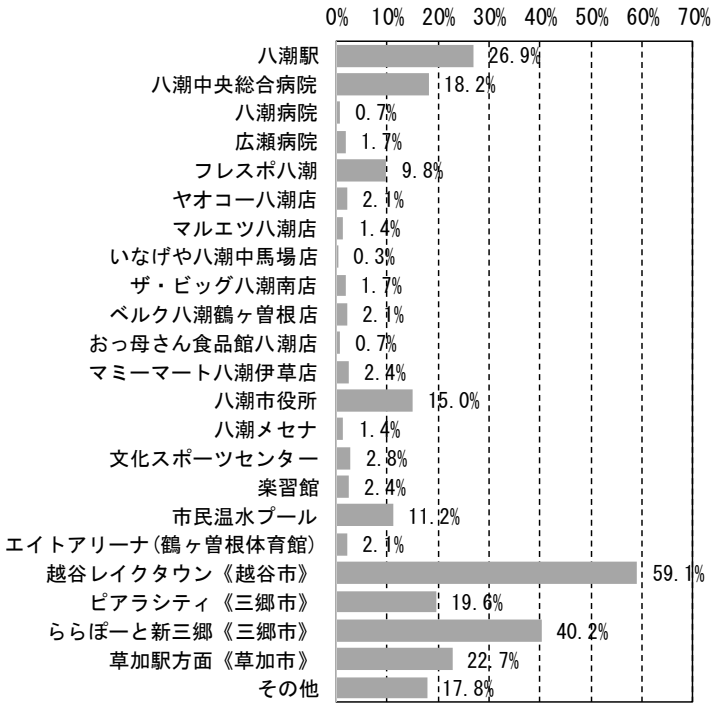


	1番目	2番目	3番目	合計	構成比
八潮駅	125	30	18	173	23.4%
八潮中央総合病院	40	40	31	111	15.0%
八潮病院	3		2	5	0.7%
広瀬病院	5	4	2	11	1.5%
フレスポ八潮	35	21	16	72	9.7%
ヤオコー八潮店	5	10	5	20	2.7%
マルエツ八潮店	4	4	1	9	1.2%
いなげや八潮中馬場店	1	1	1	3	0.4%
ザ・ビッグ八潮南店		4	9	13	1.8%
ベルク八潮鶴ヶ曽根店	4	5	5	14	1.9%
おっ母さん食品館八潮店	1	1	3	5	0.7%
マミーマート八潮伊草店	3	4	9	16	2.2%
八潮市役所	29	24	42	95	12.9%
八潮メセナ	3	9	2	14	1.9%
文化スポーツセンター	2	6	6	14	1.9%
楽習館	3	6	7	16	2.2%
市民温水プール	32	18	30	80	10.8%
エイトアリーナ(鶴ヶ曽根体育館)	3	5	4	12	1.6%
越谷レイクタウン《越谷市》	249	126	81	456	61.7%
ピアラシティ《三郷市》	34	65	64	163	22.1%
ららぽーと新三郷《三郷市》	58	159	105	322	43.6%
草加駅方面《草加市》	57	57	47	161	21.8%
その他	43	19	34	96	13.0%

（住まい別行きたい場所（件数））

	八條エリア	新町・緑町エリア	二丁目・南川崎エリア	大瀬・古新田エリア	八潮駅周辺エリア	中央・八潮エリア	大曽根・浮塚エリア	西袋・南後谷エリア	無回答	市合計
八潮駅から市外	27	24	24	**30**	9	**32**	14	13	0	173
八潮中央総合病院	17	20	11	13	1	18	13	18	0	111
八潮病院	0	0	2	0	0	2	1	0	0	5
広瀬病院	1	1	2	1	2	2	0	2	0	11
フレスポ八潮	3	5	19	13	4	8	12	8	0	72
ヤオコー八潮店	0	0	8	5	3	4	0	0	0	20
マルエツ八潮店	0	2	1	2	0	3	1	0	0	9
いなげや八潮中馬場店	1	0	0	0	0	2	0	0	0	3
ザ・ビッグ八潮南店	2	2	1	3	2	2	0	1	0	13
ベルク八潮鶴ヶ曽根店	5	0	2	1	0	3	1	2	0	14
おっ母さん食品館八潮店	0	0	2	0	1	1	0	1	0	5
マミーマート八潮伊草店	2	3	3	1	0	2	2	3	0	16
八潮市役所	8	9	10	17	13	5	12	20	1	95
八潮メセナ	2	2	3	3	0	1	0	3	0	14
文化スポーツセンター	1	2	2	4	4	0	0	1	0	14
楽習館	0	1	1	4	3	2	2	3	0	16
市民温水プール	5	15	10	9	11	17	5	8	0	80
エイトアリーナ（鶴ヶ曽根体育館）	2	1	0	0	1	2	3	3	0	12
越谷レイクタウン《越谷市》	**64**	**70**	**54**	**68**	**52**	**68**	**39**	**39**	2	456
ピアラシティ《三郷市》	26	29	28	23	13	29	7	8	0	163
ららぽーと新三郷《三郷市》	**34**	**53**	**42**	**47**	43	**51**	25	25	2	322
草加駅方面《草加市》	21	28	19	24	7	25	15	22	0	161
その他	11	7	15	22	8	13	9	9	2	96
無回答	34	34	34	28	22	45	26	25	6	0

（参考）「困ることがよくある」＋「困ることがたまにある」×行きたい場所



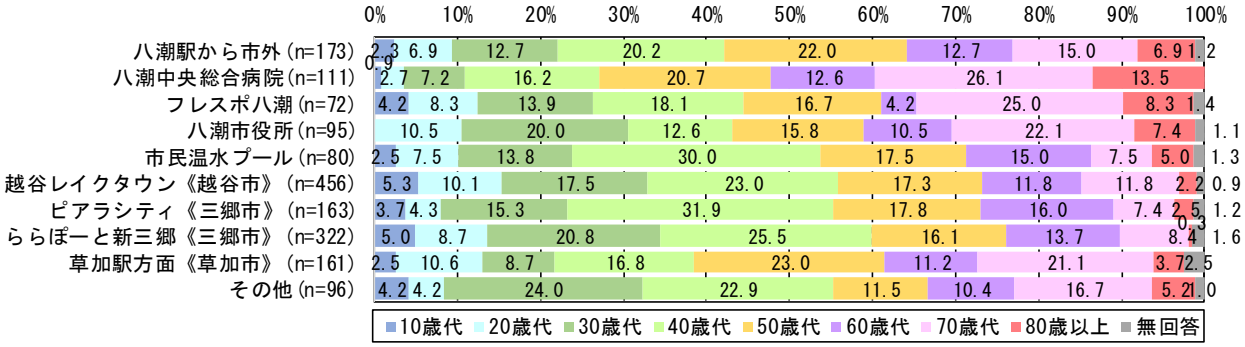
	1番目	2番目	3番目	合計	構成比
八潮駅	60	9	8	77	26.9%
八潮中央総合病院	20	23	9	52	18.2%
八潮病院	2			2	0.7%
広瀬病院	2	2	1	5	1.7%
フレスポ八潮	11	12	5	28	9.8%
ヤオコー八潮店		3	3	6	2.1%
マルエツ八潮店	3	1		4	1.4%
いなげや八潮中馬場店			1	1	0.3%
ザ・ビッグ八潮南店		1	4	5	1.7%
ベルク八潮鶴ヶ曽根店	3	3		6	2.1%
おっ母さん食品館八潮店			2	2	0.7%
マミーマート八潮伊草店	2	1	4	7	2.4%
八潮市役所	10	14	19	43	15.0%
八潮メセナ	1	2	1	4	1.4%
文化スポーツセンター		3	5	8	2.8%
楽習館	2	3	2	7	2.4%
市民温水プール	11	7	14	32	11.2%
エイトアリーナ(鶴ヶ曽根体育館)	1	2	3	6	2.1%
越谷レイクタウン《越谷市》	81	55	33	169	59.1%
ピアラシティ《三郷市》	11	26	19	56	19.6%
ららぽーと新三郷《三郷市》	20	49	46	115	40.2%
草加駅方面《草加市》	24	23	18	65	22.7%
その他	22	11	18	51	17.8%

（「困ることがよくある」＋「困ることがたまにある」×住まい別行きたい場所（件数））

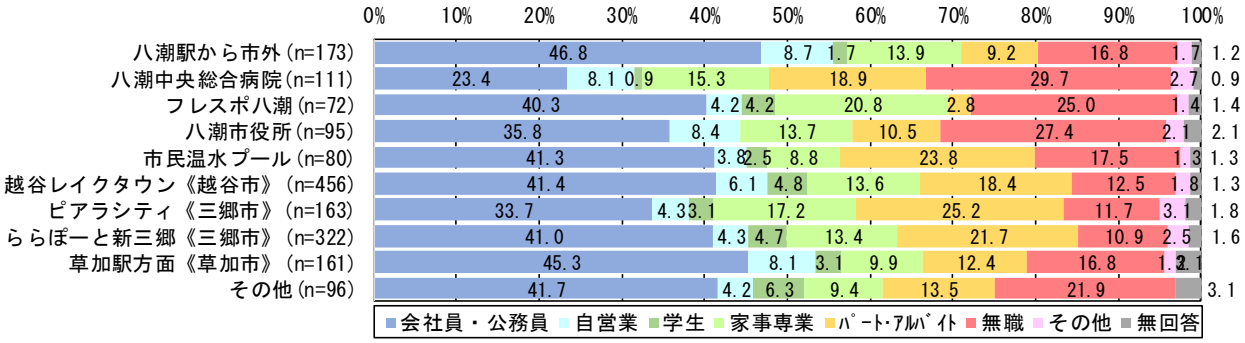
	八條エリア	新町・緑町エリア	二丁目・南川崎エリア	大瀬・古新田エリア	八潮駅周辺エリア	中央・八潮エリア	大曽根・浮塚エリア	西袋・南後谷エリア	無回答	市合計
八潮駅から市外	**13**	**13**	**11**	**13**	5	9	7	6	0	77
八潮中央総合病院	5	12	7	6	0	7	7	8	0	52
八潮病院	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
広瀬病院	1	0	0	1	1	1	0	1	0	5
フレスポ八潮	1	3	5	6	0	3	7	3	0	28
ヤオコー八潮店	0	0	3	1	1	1	0	0	0	6
マルエツ八潮店	0	1	0	1	0	1	1	0	0	4
いなげや八潮中馬場店	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
ザ・ビッグ八潮南店	1	1	1	1	1	0	0	0	0	5
ベルク八潮鶴ヶ曽根店	2	0	1	0	0	0	1	2	0	6
おっ母さん食品館八潮店	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
マミーマート八潮伊草店	1	0	2	1	0	0	2	1	0	7
八潮市役所	5	7	5	4	2	4	5	**10**	1	43
八潮メセナ	1	1	0	1	0	1	0	0	0	4
文化スポーツセンター	0	2	0	3	2	0	0	1	0	8
楽習館	0	0	1	2	2	0	0	2	0	7
市民温水プール	3	7	4	4	2	9	1	2	0	32
エイトアリーナ（鶴ヶ曽根体育館）	1	0	0	0	1	1	1	2	0	6
越谷レイクタウン《越谷市》	**34**	**30**	**19**	**19**	**13**	**24**	**16**	**13**	1	169
ピアラシティ《三郷市》	**13**	8	**14**	4	3	9	3	2	0	56
ららぽーと新三郷《三郷市》	**15**	**22**	**18**	**14**	**10**	**17**	**10**	7	2	115
草加駅方面《草加市》	**10**	13	6	8	2	12	3	11	0	65
その他	**10**	4	7	10	4	4	4	7	1	51
無回答	10	10	11	4	5	8	6	6	6	0

《行きたい場所上位 10 位の回答者属性》

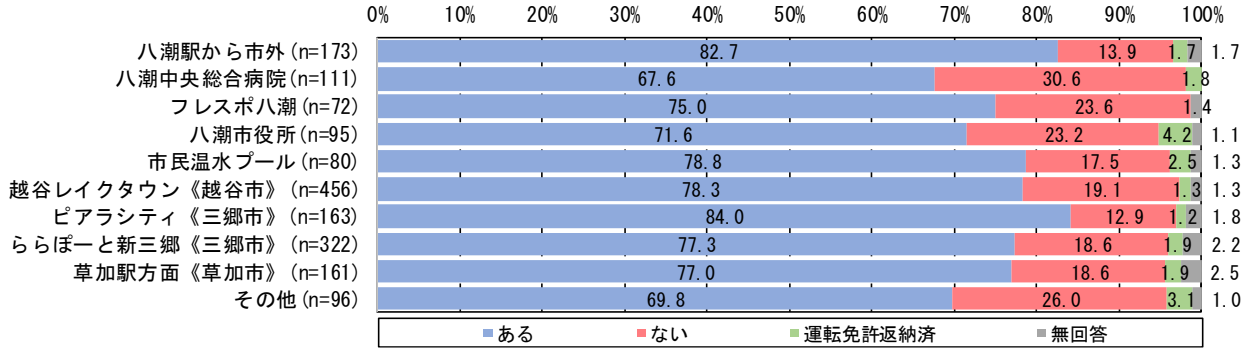
■行きたい場所上位 10 位×年齢



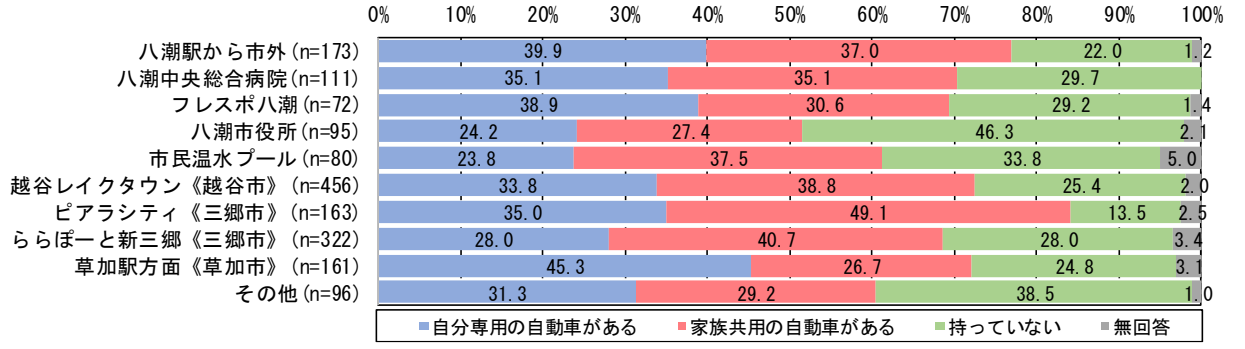
■行きたい場所上位 10 位×職業



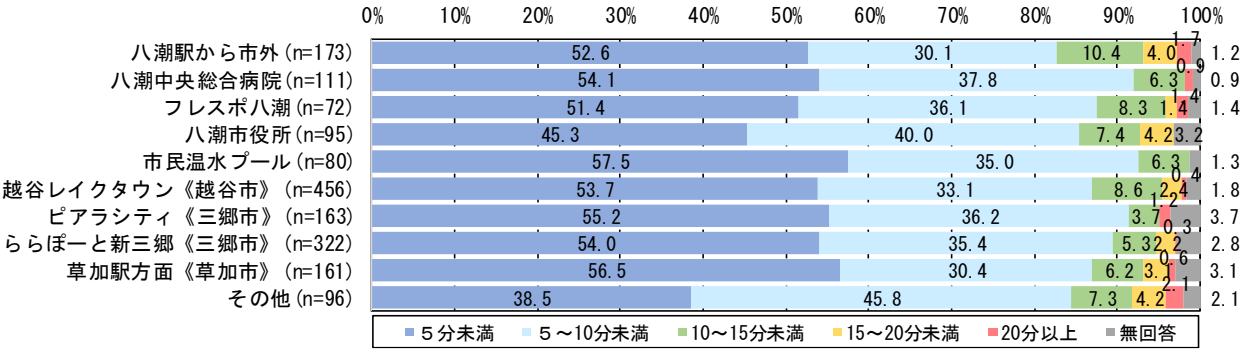
■行きたい場所上位 10 位×自動車運転免許有無



■行きたい場所上位 10 位×自動車所有状況



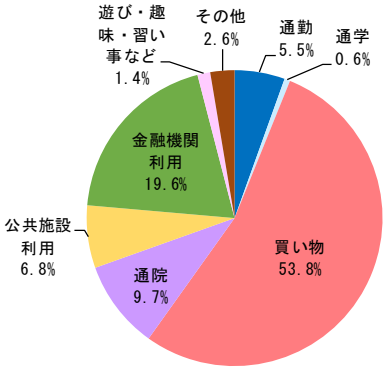
■行きたい場所上位 10 位×最寄りバス停までの徒歩での所要時間



利用目的は「買い物（53.8%）」、「金融機関利用（19.6%）」、「通院（9.7%）」が多く、行きたい場所上位５位の目的を見ると、「八潮駅から市外」と「草加駅方面」ともに通勤や金融機関利用、買い物目的が多い。

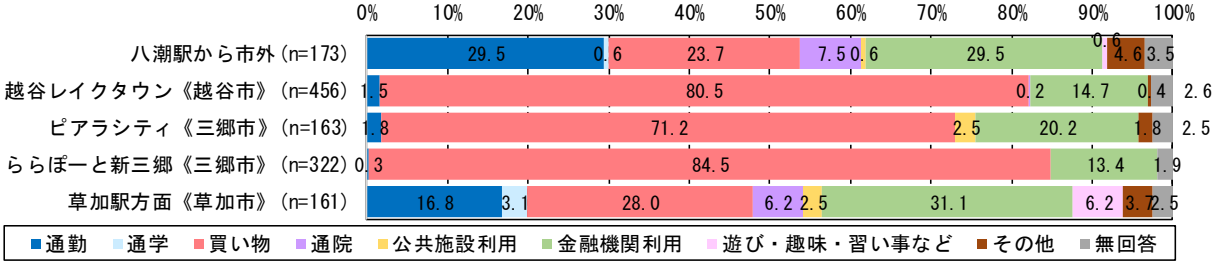
利用頻度は「月に２～３日程度（37.2%）」、「年に数日程度（33.1%）」、「週に１～２日（18.0%）」が多く、越谷レイクタウン、ピアラシティ及びららぽーと新三郷といった市外へは「月に２～３日程度」、「年に数日程度」といった低頻度が多い。

■利用目的

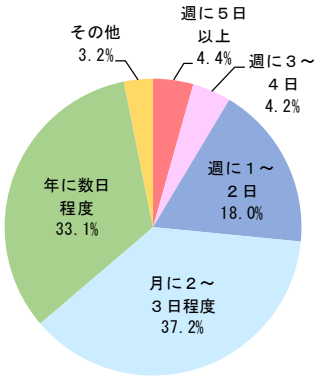


	1番目	2番目	3番目	合計	構成比
通勤	74	15	17	106	5.5%
通学	3	4	5	12	0.6%
買い物	381	377	280	1038	53.8%
通院	76	66	45	187	9.7%
公共施設利用	39	37	56	132	6.8%
金融機関利用	141	131	106	378	19.6%
遊び・趣味・習い事など	10	6	11	27	1.4%
その他	19	12	20	51	2.6%
合計	743	648	540	1931	－

（参考）行きたい場所上位５位×利用目的

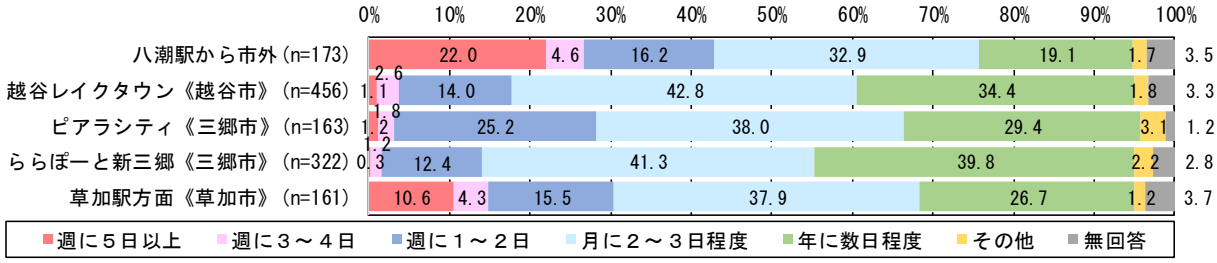


■利用頻度



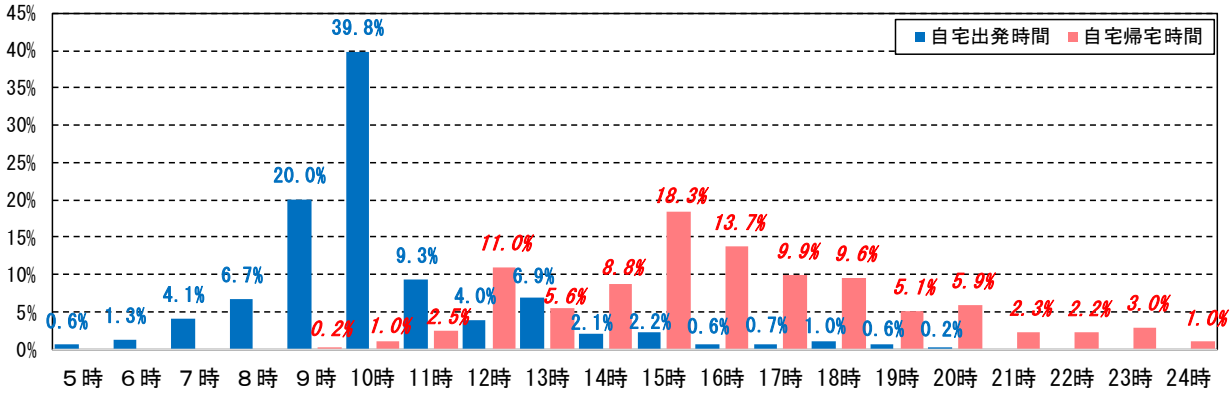
	1番目	2番目	3番目	合計	構成比
週に５日以上	61	10	12	83	4.4%
週に３～４日	40	21	19	80	4.2%
週に１～２日	150	111	80	341	18.0%
月に２～３日程度	276	245	185	706	37.2%
年に数日程度	196	224	208	628	33.1%
その他	20	15	25	60	3.2%
合計	743	626	529	1898	－

■行きたい場所上位５位×利用頻度



利用時間帯は自宅出発時間が９～10 時台が約６割を占め、帰宅時間は 15 時台が 18.3%と最も多く、15～18 時台が約５割を占めている。

■利用時間帯



（９）公共交通の今後のあり方

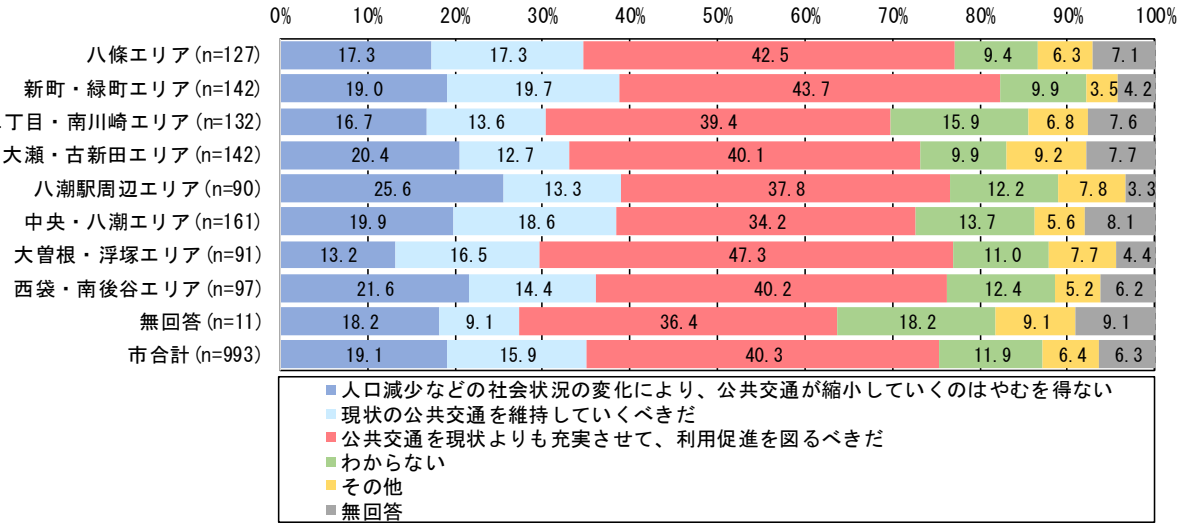
公共交通の今後の取組みの方向性は、「公共交通を現状よりも充実させて、利用促進を図るべきだ」が 40.3%と最も多く、次いで「人口減少などの社会状況の変化により、公共交通が縮小していくのはやむを得ない（19.1%）」となっている。

自家用車の過度な利用に頼らない生活に対する意向は、「そう思う」と「できる限りしたいと思う」を合わせると、56.2%を占め、全てのエリアで５割を超えており、具体的な取り組む内容としては、公共交通機関を利用する割合が高い。

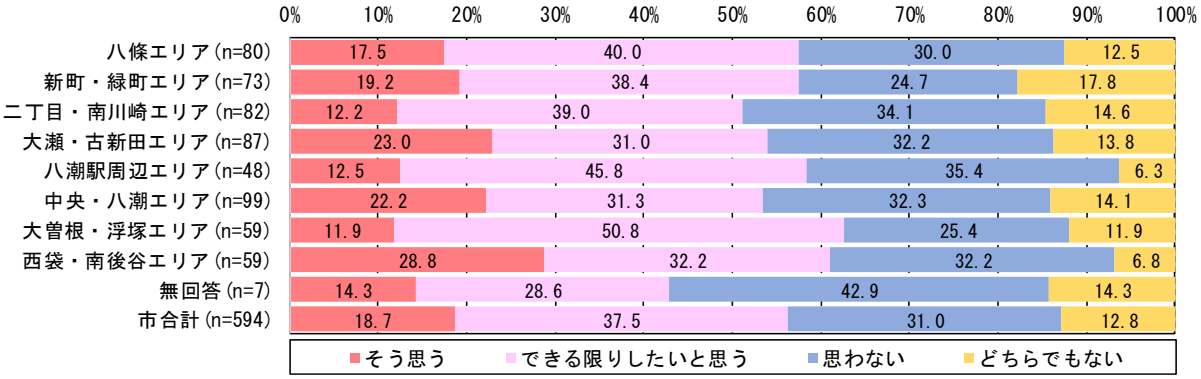
公共交通に対する財政負担の考え方は、「市が財政負担をし、主になって公共交通を充実していくことに加えて、住民、企業などが協力し合って維持していくべきだ」が 38.5%と最も多い。

公共交通の利用促進を図るための効果的な取組みは、「路線バスや八潮市コミュニティバスなどのルートや時刻表などを掲載した公共交通マップの作成・配布（42.9%）」、「自動車運転免許証返納者への公共交通割引など制度の導入（42.4%）」、「バス停の待合環境（ベンチ・屋根）整備や運行情報案内（時刻表・行き先など）の表示改善（30.7%）」の順で多い。

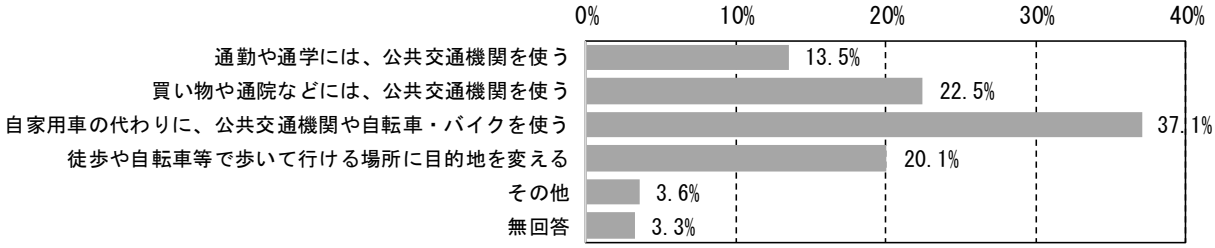
■今後取り組むべき方向性



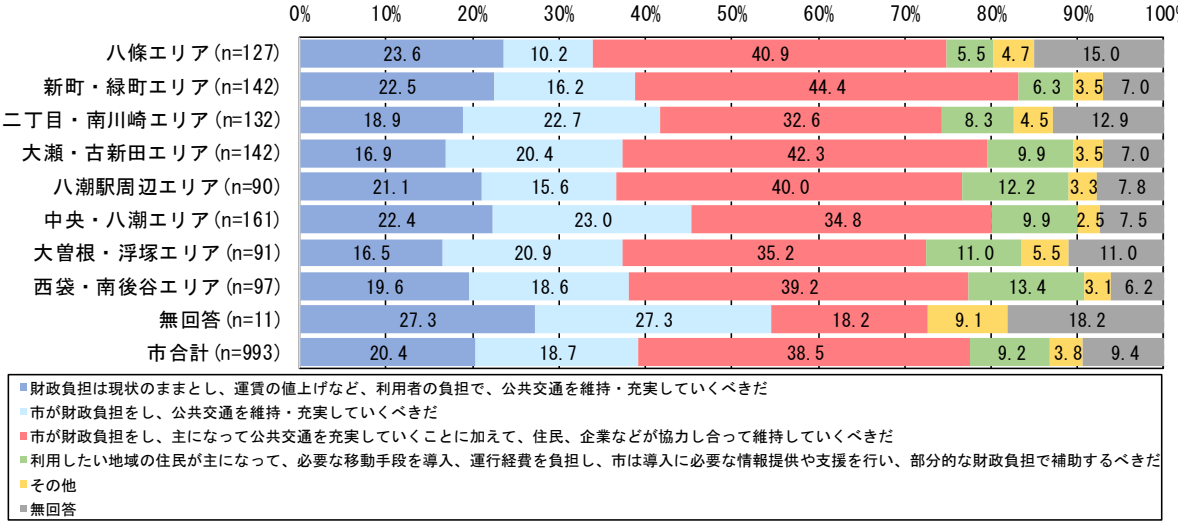
■自家用車の過度な利用に頼らない生活に対する意向



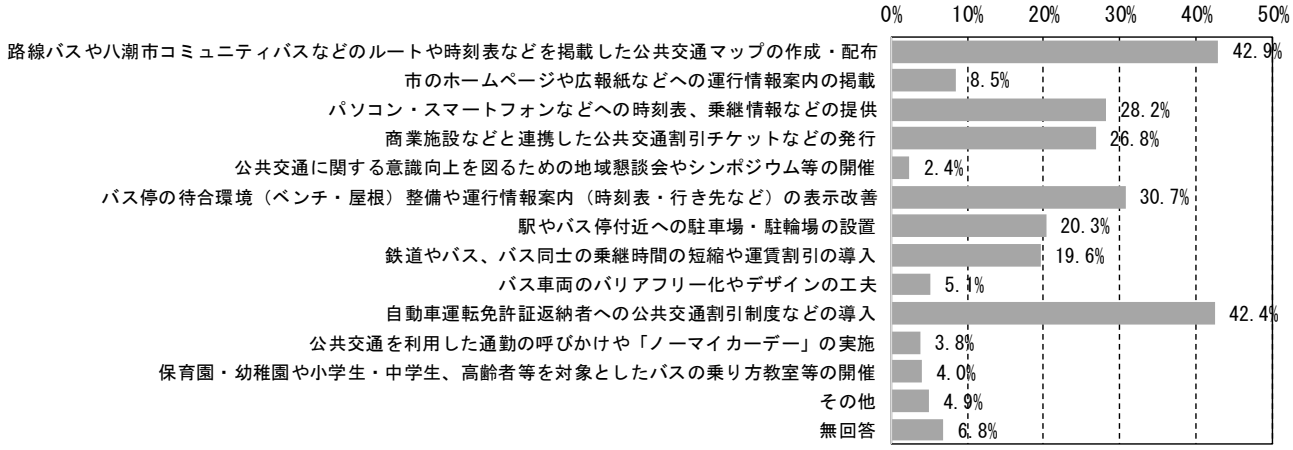
■自家用車の過度な利用に頼らない生活のための取組み内容



■公共交通に対する財政負担の考え方



■公共交通の利用促進を図るための効果的な取組み（ｎ＝993）



２－２　利用実態調査

２－２－１　公共交通利用者実態調査

（１）路線バス利用者実態調査

調査対象場所	八潮駅駅前広場（北口、南口）、八潮市役所、草加駅東口広場（１番・２番乗り場）
調査方法	・調査方法…調査員がバス待ち利用者へ直接ヒアリング ・調査日…平日：令和元年 10 月３日（水）、休日：令和元年 10 月６日（日） ・調査時間帯…７時 00 分～20 時 00 分
調査項目	利用者の属性（性別、年齢、職業、住まい）、利用目的及び利用頻度、運行サービスに対する満足度、効果的な利用促進策
回答者数	合計 812 人（平日 465 人、休日 347 人）

【路線バス利用者実態調査のまとめ】（回答者数：812 人）

○路線バスは幅広い年齢層が利用している。また、利用者の住まいは「八潮市内」と「八潮市外」がそれぞれ半数程度となっている。

○利用目的を見ると、平日は「通勤」、「買物」目的が多く、休日は「買物」、「通勤」、「趣味・娯楽」目的が多い。

○運行サービスに対する満足度は、「運行ルート（行き先等）」で満足率が 52.6%と高いものの、「運行本数」や「運行時間帯」で不満率が高い。

○効果的な取組み内容は、「便数増便（68.5%）」、「運行時間帯の拡大（32.1%）」、「バス停の待合環境（ベンチ、屋根）の設置（21.1%）」、「路線バス同士の乗り継ぎ時間の短縮や運賃割引の導入（13.5%）」の順で多い。

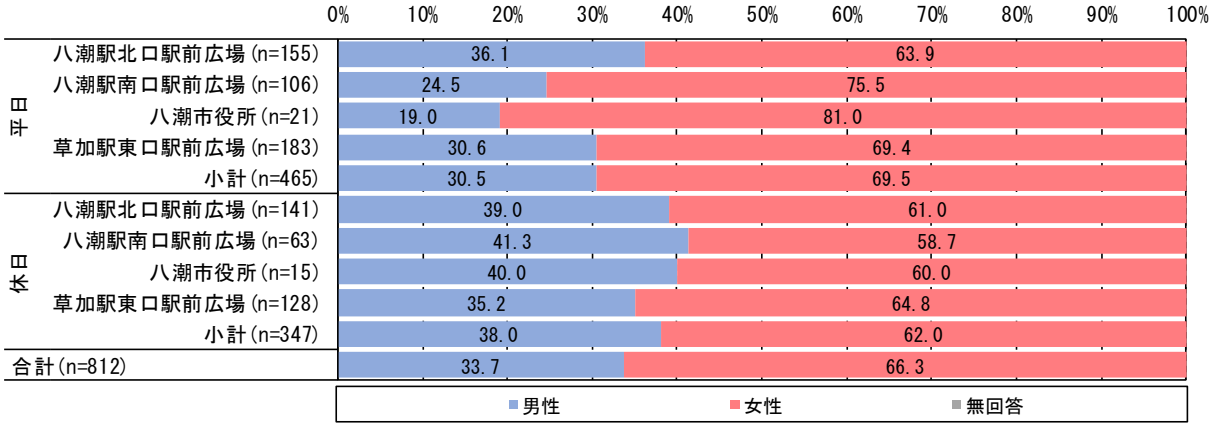
１）回答者の属性

性別は、「女性」が 66.3%、「男性」が 33.7%と女性の割合が多く、年齢は各世代から幅広い回答となっている。

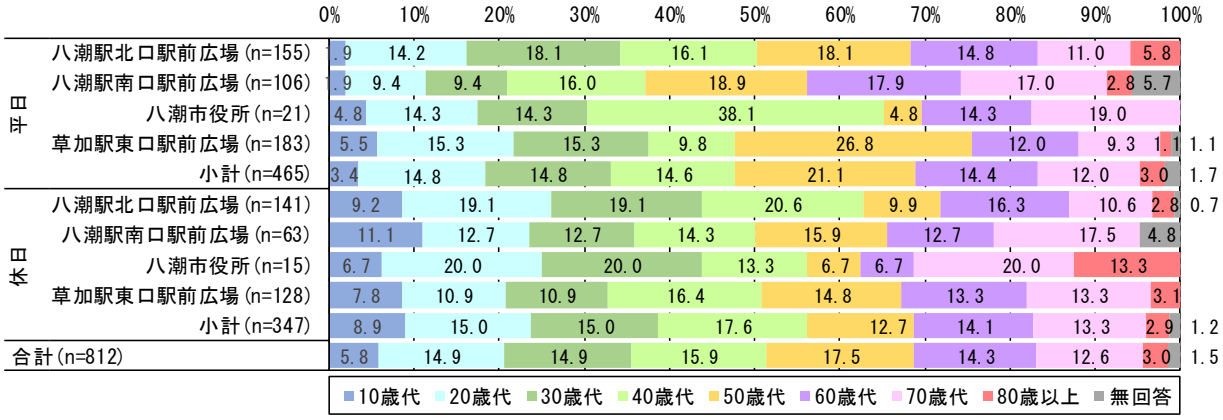
職業は、「会社員・公務員（48.4%）」、「自営業（16.9%）」、「パート・アルバイト（学生を除く）（16.9%）」の順で多い。

住まいは「八潮市内」が 51.7%、「八潮市外」が 46.6%とやや「八潮市内」の割合が多く、八潮駅南口駅前広場で「八潮市外」の割合が多い。

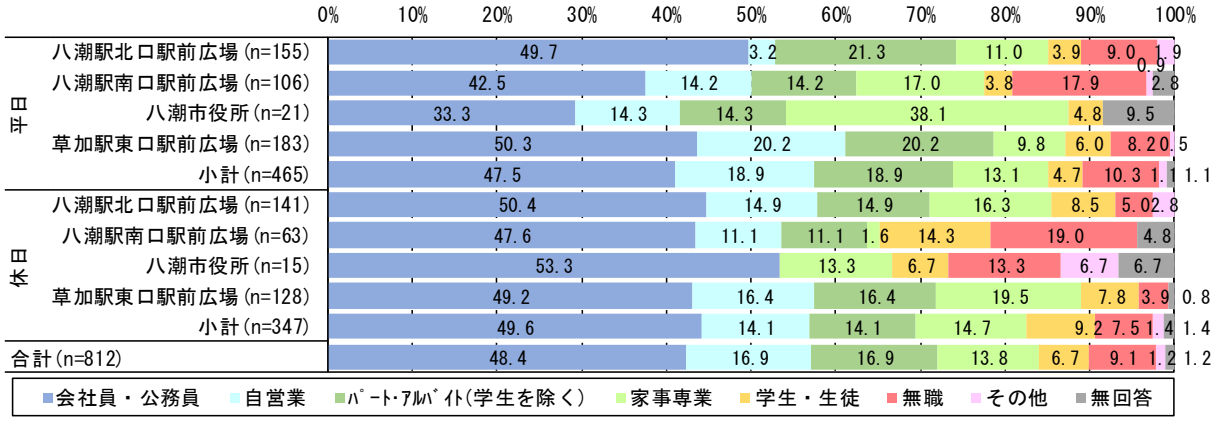
■性別



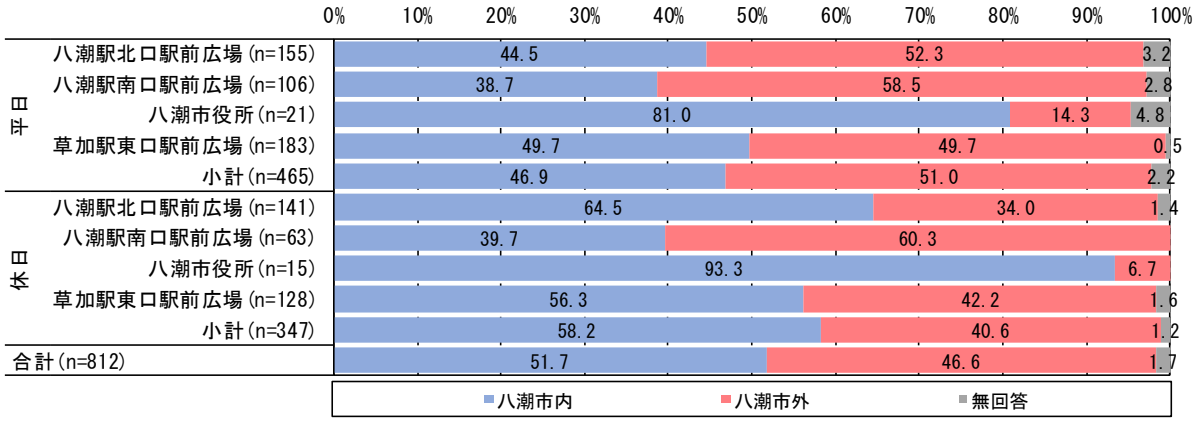
■年齢



■職業



■住まい

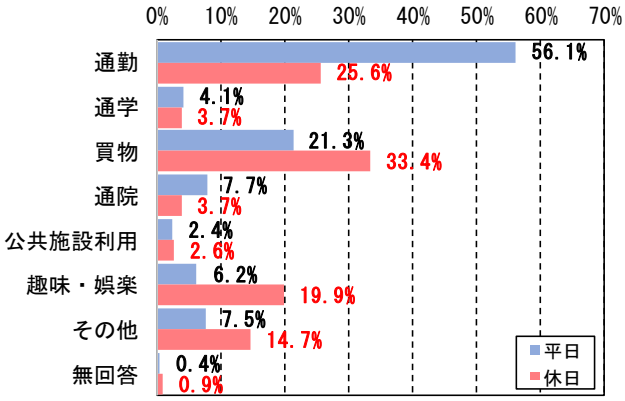


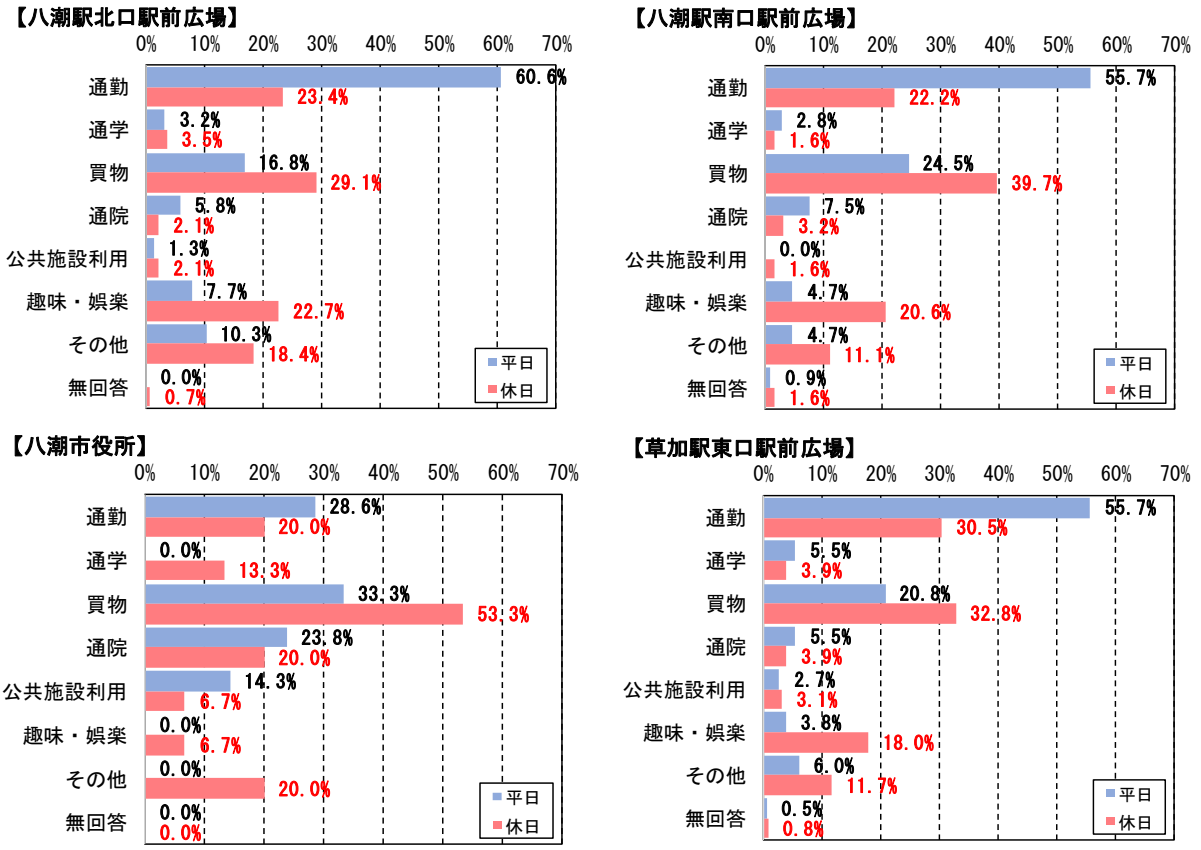
2）路線バスの利用状況

路線バスの利用目的は、平日は「通勤（56.1%）」、「買物（21.3%）」が多く、休日は「買物（33.4%）」、「通勤（25.6%）」、「趣味・娯楽（19.9%）」が多い。

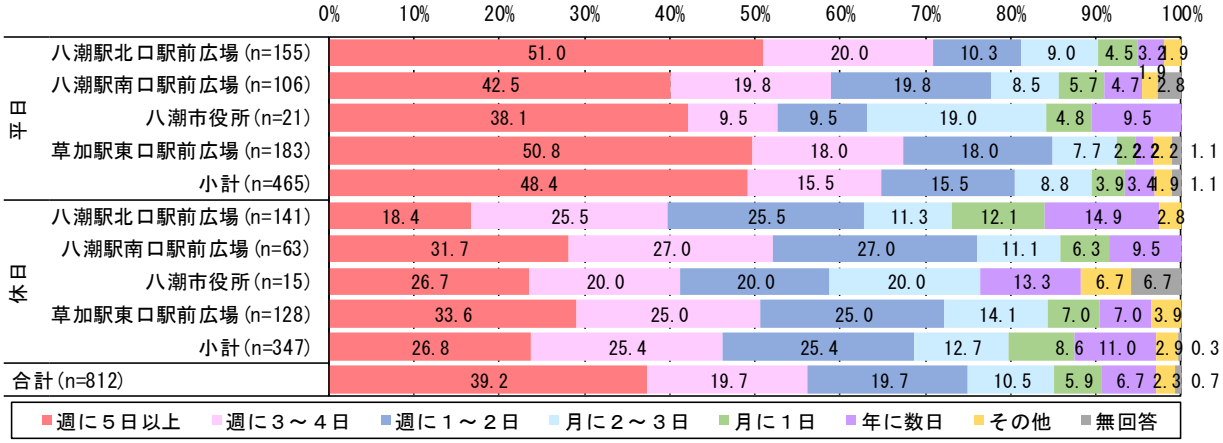
利用頻度は、「週に５日以上（39.2%）」、「週に３～４日（19.7%）」、「週に１～２日（19.7%）」の順で多く、週に１日以上利用している方は約８割を占めている。

■利用目的（全体）





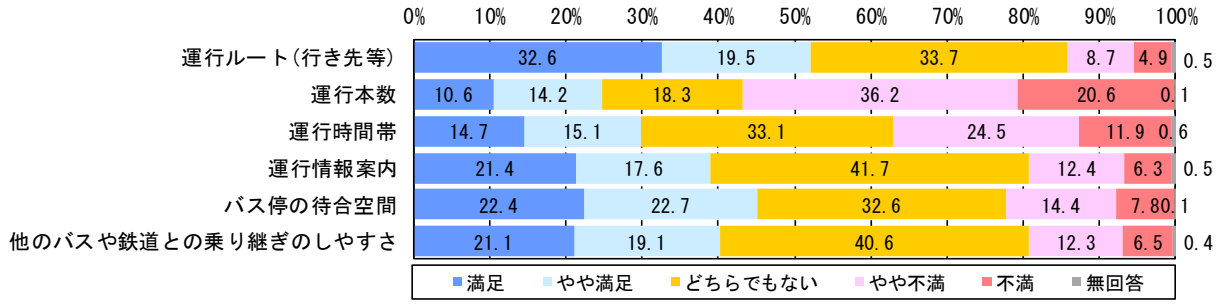
■利用頻度



３）路線バスの運行サービスに対する満足度

運行サービスに対する満足度は、運行ルート（行き先等）で「満足」＋「やや満足」と回答した割合が 52.6%と高いものの、運行本数や運行時間帯で不満率が高い。

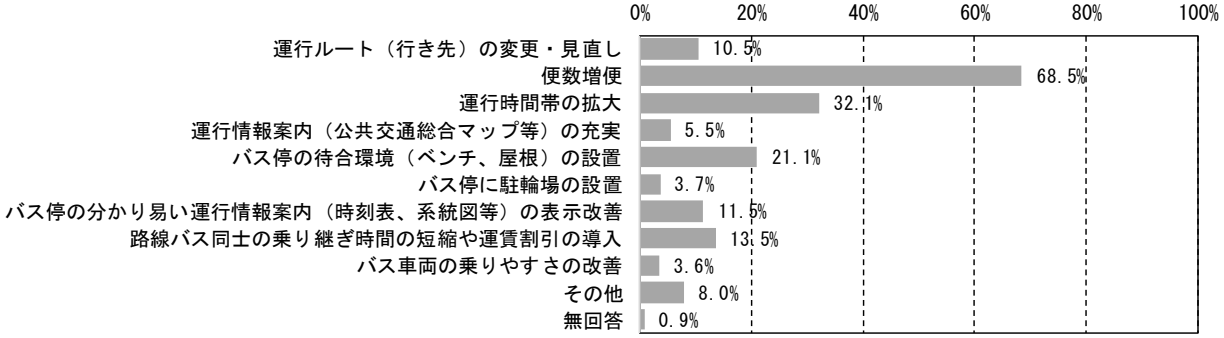
■運行サービスに対する満足度



４）効果的な取組み内容

効果的な取組み内容は、「便数増便（68.5%）」が最も多く、次いで「運行時間帯の拡大（32.1%）」、「バス停の待合環境（ベンチ、屋根）の設置（21.1%）」、「路線バス同士の乗り継ぎ時間の短縮や運賃割引の導入（13.5%）」の順となっている。

■効果的な取組み内容



（２）八潮市コミュニティバス利用者実態調査

調査対象路線	八潮市コミュニティバス（北ルート、西ルート）
調査方法	・調査方法…バスの乗客へ調査票を渡し、乗客自身が調査票の該当箇所を折り込むアンケート方式（ビンゴ形式調査票の活用） ・調査日…平日：令和元年 10 月３日（水）、休日：令和元年 10 月６日（日） ・調査時間帯：始発から最終まで
調査項目	利用ＯＤ、利用者の属性（性別、年齢、住まい、運転免許有無、運転免許返納意思）、利用頻度、利用目的、運行サービスの満足度、改善して欲しいサービス
回答数	487 人（北ルート 343 人、西ルート 144 人）

【八潮市コミュニティバス利用者実態調査のまとめ】（回答者数：487 人）

○八潮市コミュニティバスは幅広い年齢層が利用している。また、利用者の住まいは「八潮市内」だけなく、「八潮市外」が約３割を占めている。

○利用目的を見ると、平日は「通勤」目的が多く、休日は「買物」、「通勤」、「趣味・娯楽」目的が多い。また、週に１日以上の利用者は約７割を占めている。

○運行サービスに対する満足度は、満足率が 48.0%、不満率が 37.2%やや満足率の方が高い。

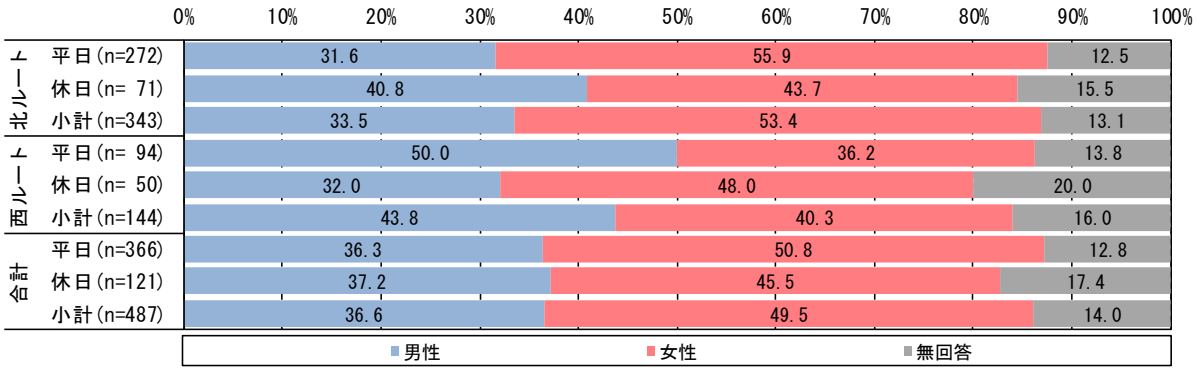
○改善して欲しいサービスは「運行本数」、「運行時間帯」、「運行ルート」の順で多い。

１）回答者の属性

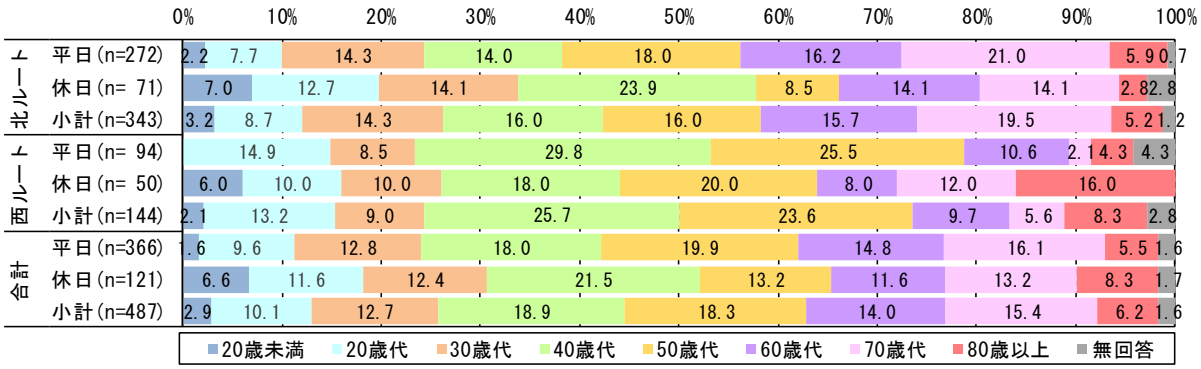
性別は、「女性」が 49.5%、「男性」が 36.6%と女性の割合が多く、年齢は各世代から幅広い回答となっている。住まいは「八潮市内」が 63.9%、「八潮市外」が 30.6%となっており、休日より平日で「八潮市外」の割合が多い。

運転免許有無は、「有」が 62.0%、「無」が 30.8%となっている。また、運転免許返納意思で「有」と回答した方は 35.1%を占めている。

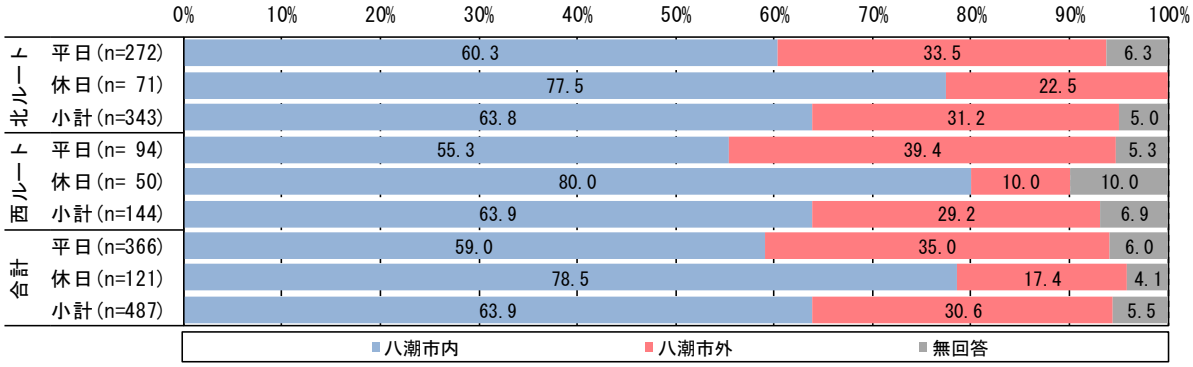
■性別



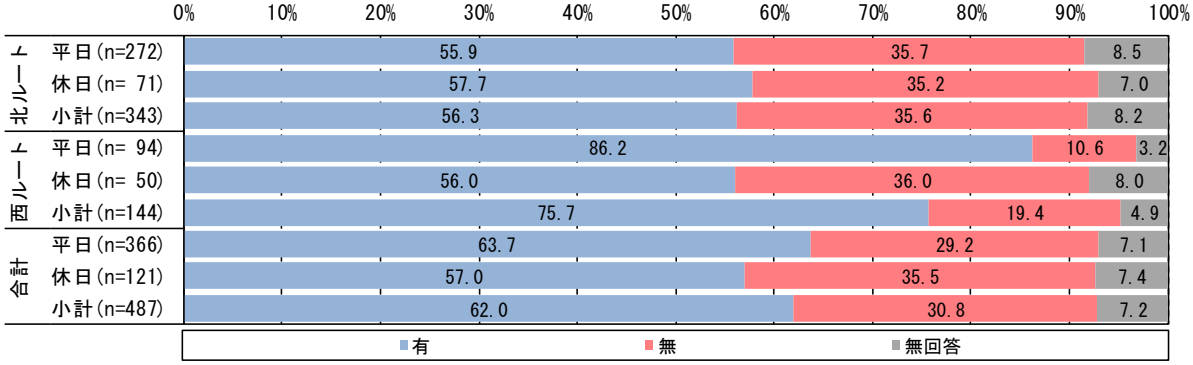
■年齢



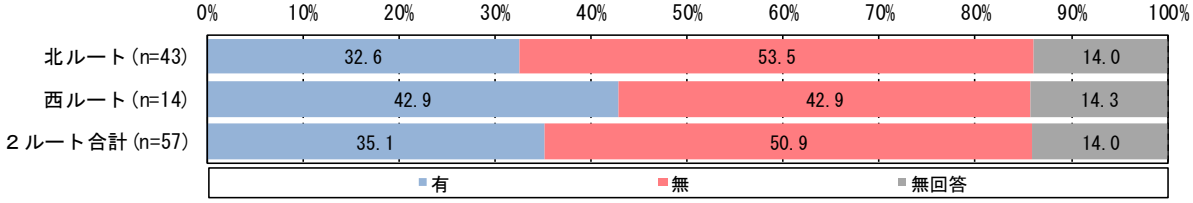
■住まい



■運転免許有無



■運転免許返納意思（60 歳以上で運転免許有の方）

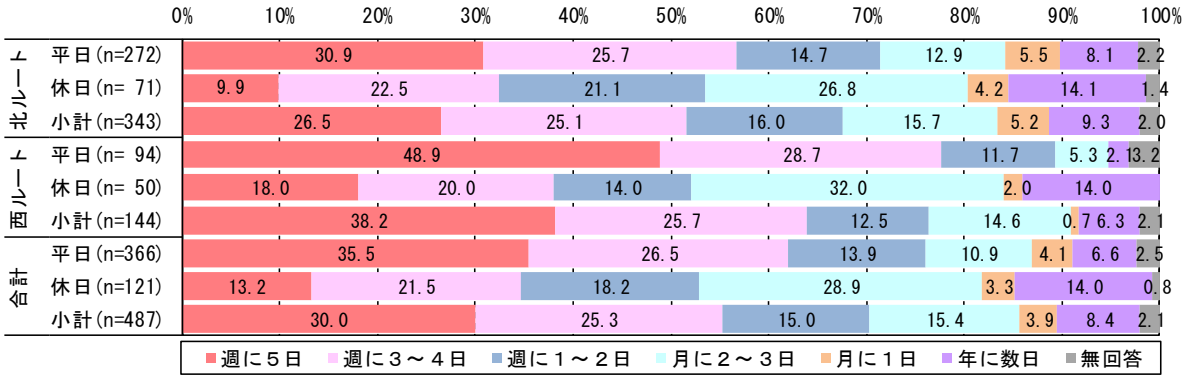


2）コミュニティバスの利用特性

コミュニティバスの利用頻度は、平日は「週に５日（35.5%）」、「週に３～４日（26.5%）」が多く、休日は「月に２～３日（28.9%）」、「週に３～４日（21.5%）」が多い。

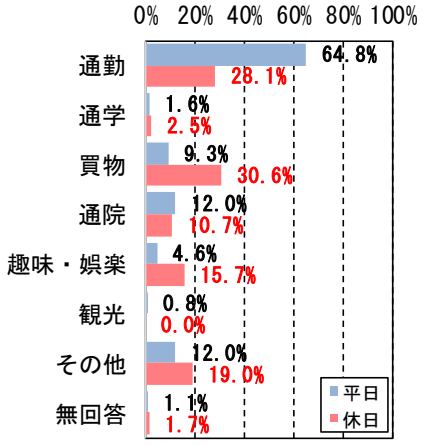
利用目的は、平日は「通勤」が多く、休日は「買物」と「通勤」が多い。また、北ルートより西ルートで平日の「通勤」割合が 87.2%と高い。

■コミュニティバスの利用頻度

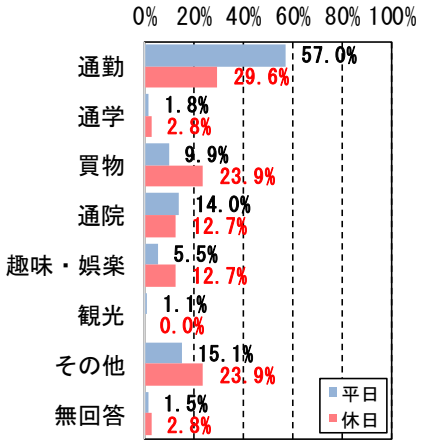


■コミュニティバスの利用目的

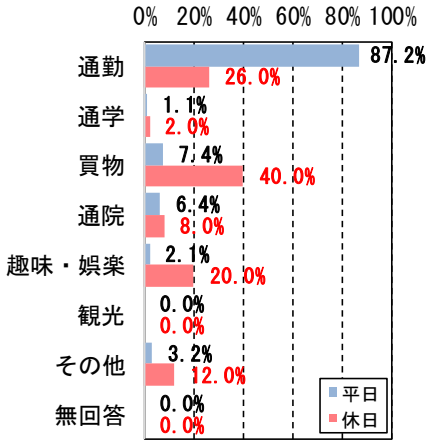
【２ルート合計】



【北ルート】



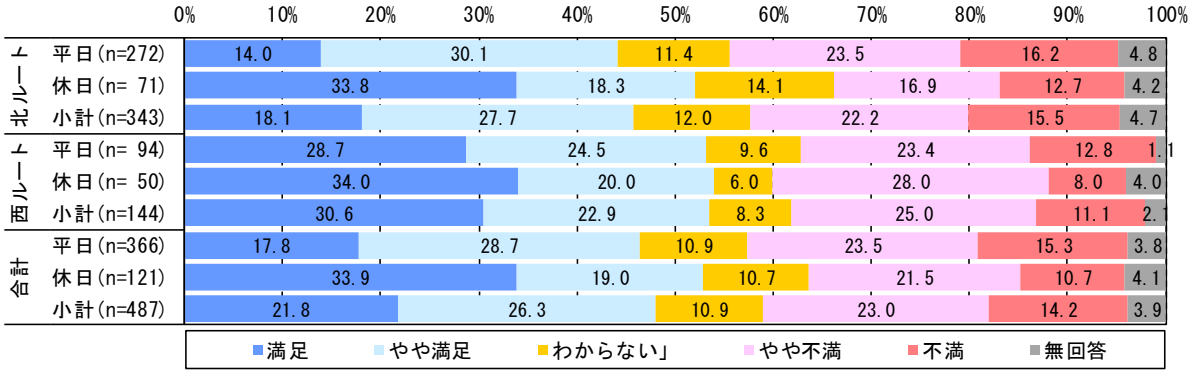
【西ルート】



３）運行サービスの満足度

運行サービスの満足度は、「満足」＋「やや満足」と回答した方が 48.1%、「不満」＋「やや不満」と回答した方が 37.2%となっている。

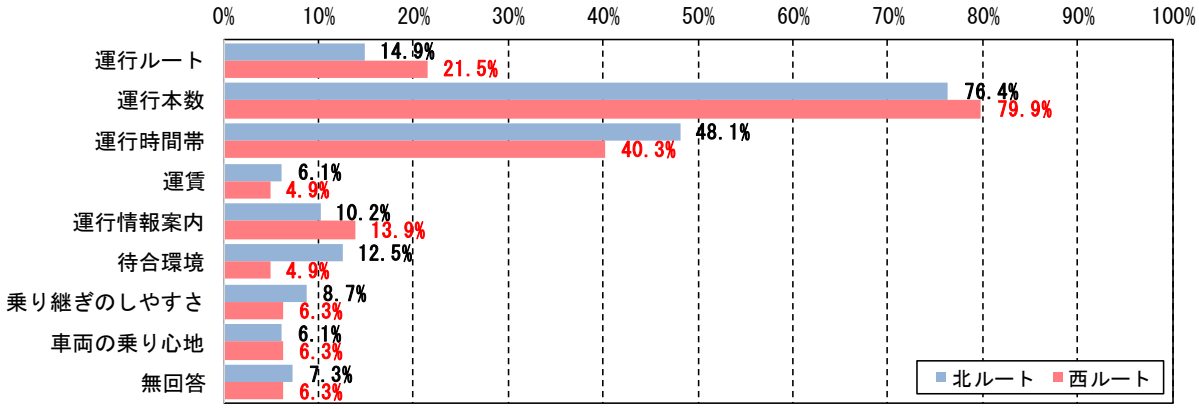
■運行サービスの満足度



４）改善して欲しいサービス

改善して欲しいサービスは、北ルート、西ルートともに「運行本数」が最も多く、次いで「運行時間帯」、「運行ルート」となっている。

■改善して欲しいサービス



２－２－２　主要施設利用者アンケート調査

調査場所	・医療施設：八潮中央総合病院、広瀬病院 ・大規模店舗：ザ・ビック八潮南店、ベルク八潮鶴ヶ曽根店 ・公共施設：八潮市役所・八潮メセナ、楽習館、老人福祉センター（すえひろ荘、寿楽荘）
調査方法	・調査日…令和元年 10 月３日（水） ・調査時間…９：00～17：00（施設の診療・営業時間等により異なる） ・調査方法…調査員による直接ヒアリング
調査項目	・回答者の属性、自動車運転免許証の有無と返納意向、自動車保有状況の有無 ・施設の利用頻度、施設まで（から）の利用交通手段 ・施設へ移動する際の不便度、公共交通の改善点
回答者数	合計 503 人（八潮中央総合病院 72 人、広瀬病院 82 人、ザ・ビック八潮南店 55 人、ベルク八潮鶴ヶ曽根店 119 人、八潮市役所・メセナ 70 人、楽習館 59 人、すえひろ荘 21 人、寿楽荘 25 人）

【主要施設利用者アンケート調査のまとめ】（回答者数：503 人）

○主要施設利用者アンケート調査の回答者は、60 歳以上が約７割と多く、自動車運転免許を持っていない方が 44.2%を占めている。

○施設への利用交通手段は、「車（自分で運転）」や「自転車」が多いが、医療施設で「車（家族等の送迎・同乗）」割合が約２割と多い。

○施設への不便度は、すえひろ荘、八潮市役所・メセナ、八潮中央総合病院の順で高く、運転免許証が有る方より無い方の方が高い。

○公共交通の改善点は、「特になし」と回答した施設は商業施設２店舗で多く、すえひろ荘、八潮市役所・メセナ、八潮中央総合病院でその割合が少なく、改善に対する意見が多い。

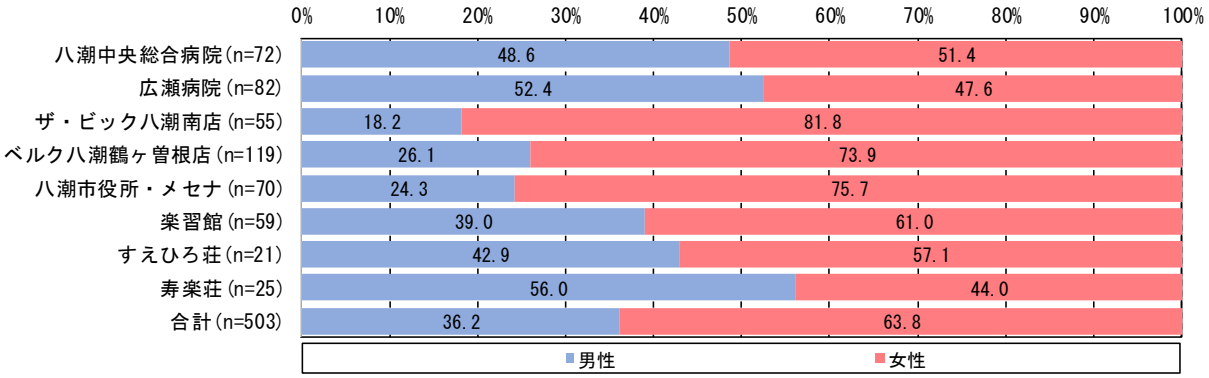
（１）回答者の属性

性別は、「女性」が 63.8%、「男性」が 36.2%と女性の割合が多く、年齢は 60 歳以上が 70.4%を占め、特に老人福祉センター（すえひろ荘、寿楽荘）は 10 割となっている。

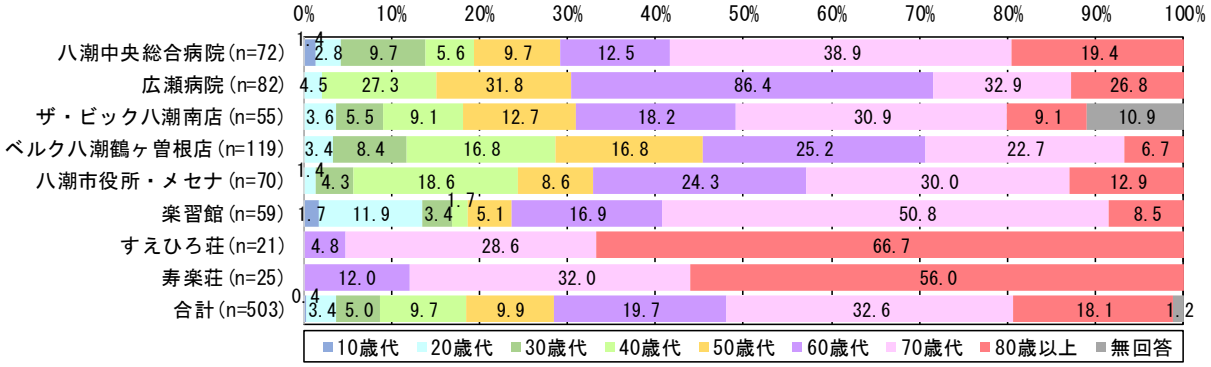
自動車運転免許証は、「有」が 55.7%、「無」あるいは「運転免許返納済」と回答した方は 44.2%を占めており、運転免許証を持っていて満 60 歳以上の方の運転免許返納意向は、「有」と回答した方が 31.7%を占めている。

自動車保有状況は、「自分用の自動車を持っている」が 39.2%、「世帯で自動車を持っている人がいる」が 38.0%と同程度で、「自分も世帯でも持っていない」と回答した方は 21.3%を占めている。

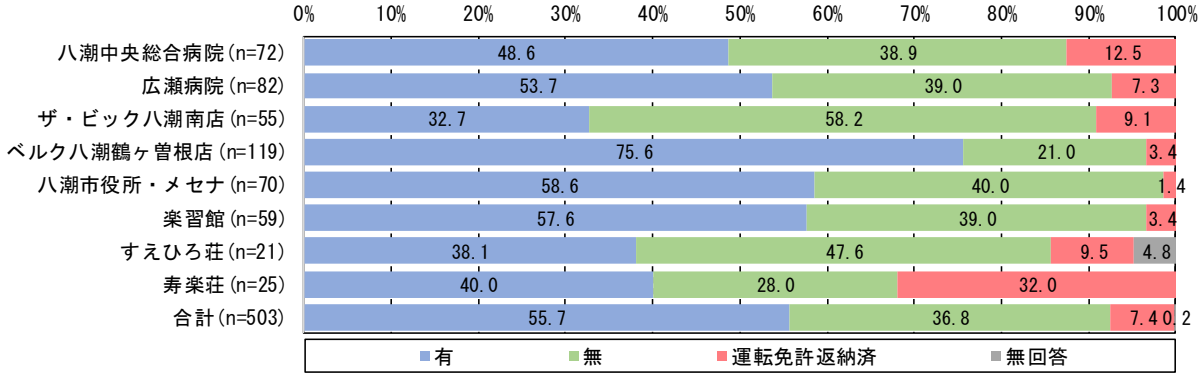
■性別



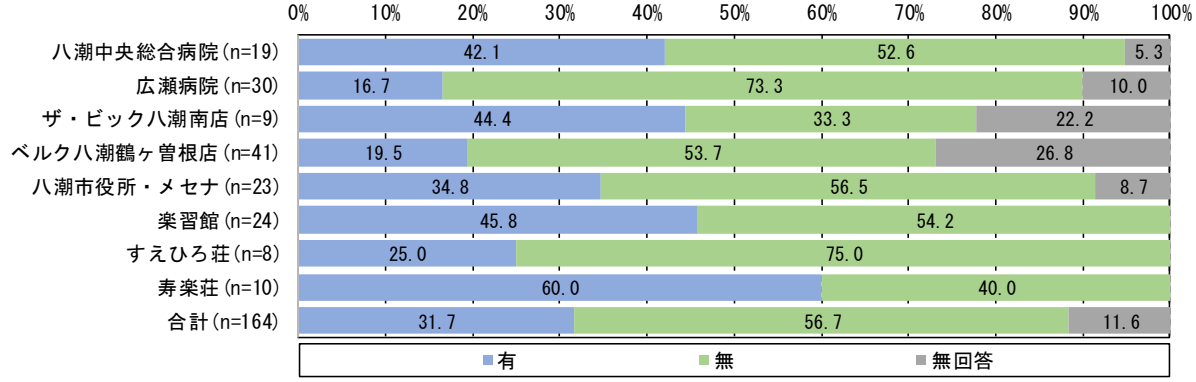
■年齢



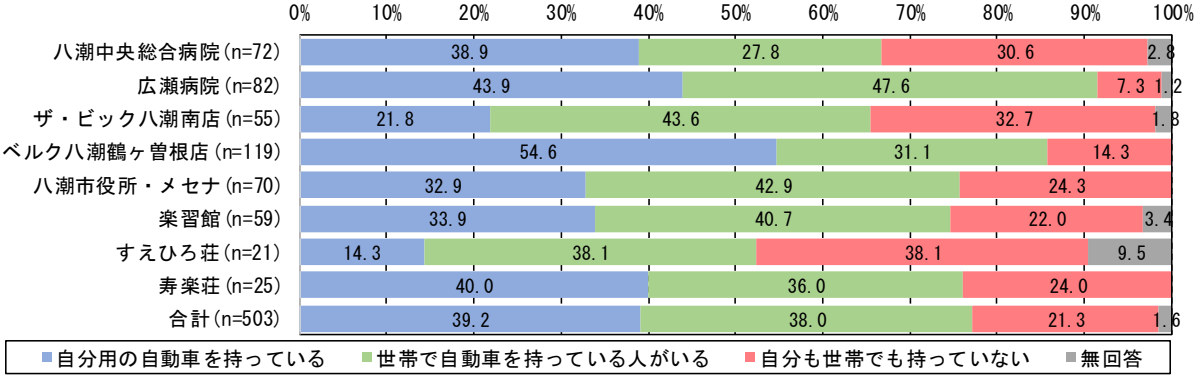
■自動車運転免許証の有無



■運転免許証の返納意思（自動車運転免許証「有」で、満 60 歳以上の方のみ）



■自動車保有状況

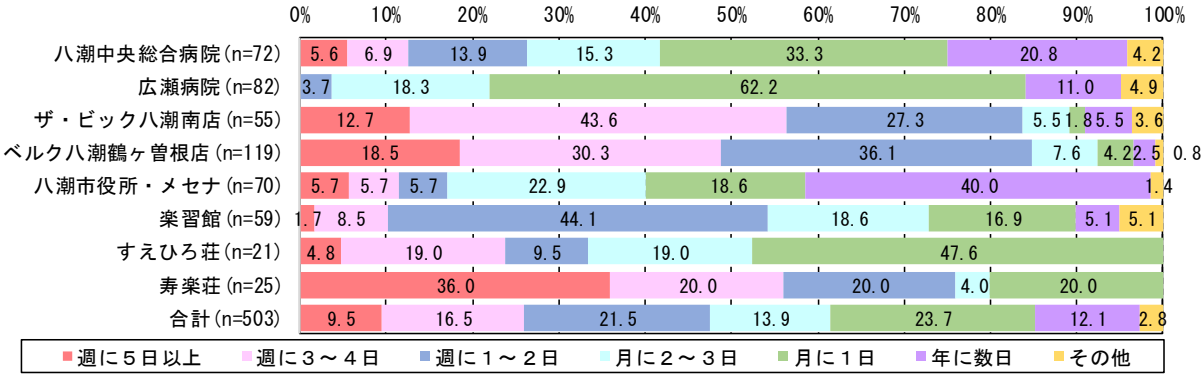


（２）施設への利用特性

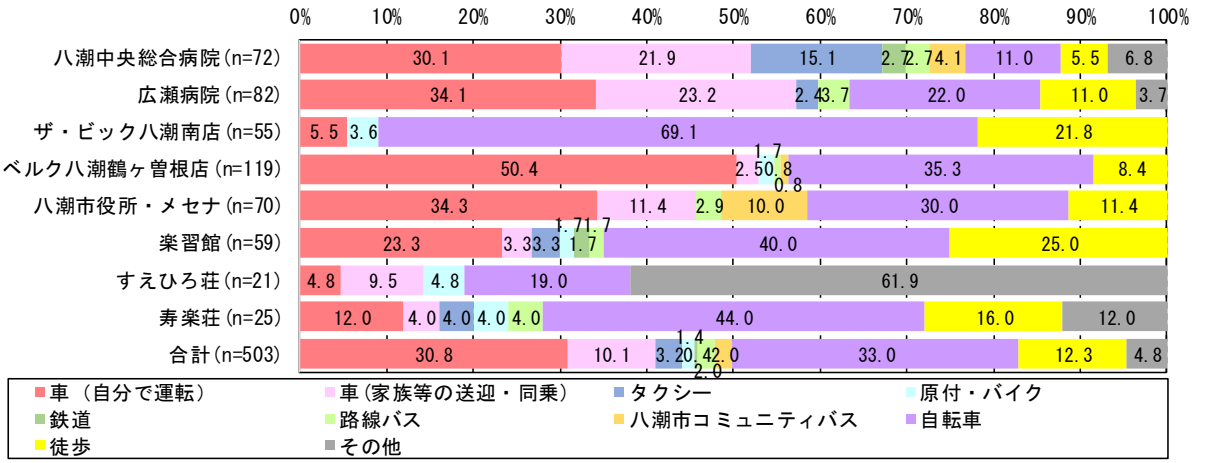
施設の利用頻度は、医療施設は「月に１日」や「年に数日」が多く、商業施設は「週に３～４日」や「週に１～２日」が多い。また、公共施設は施設により異なっている。

施設への利用交通手段は、「車（自分で運転）」が 30.8%、「自転車」が 33.0%と多く、八潮中央総合病院と広瀬病院では他の施設と比較して「車（家族等の送迎・同乗）」割合が高い。

■施設の利用頻度



■施設への利用交通手段

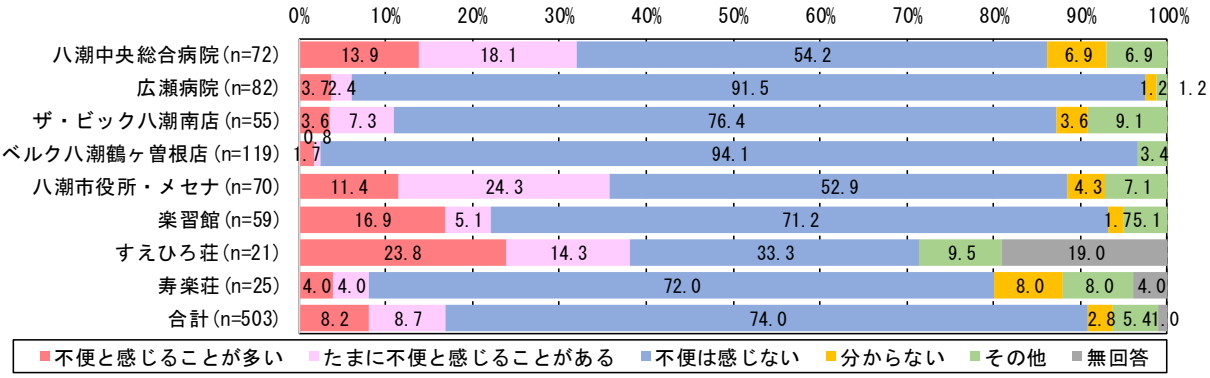


（３）施設への不便度

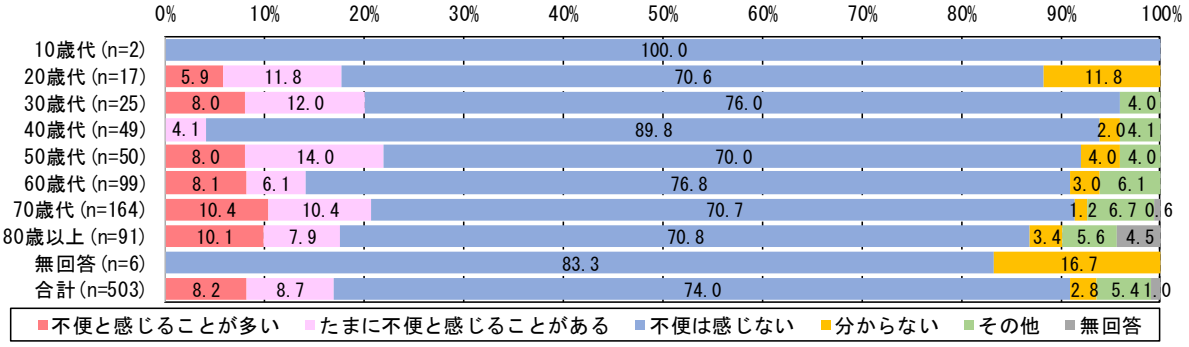
施設へ来るまでの不便度は、各施設とも「不便は感じない」と回答した方の割合が多いものの、「不便と感じることが多い」と「たまに不便と感じることがある」と回答した方は八潮中央総合病院、八潮市役所・メセナ、すえひろ荘で約３割を占めている。

不便と感じる方の割合は年齢により大きな差はなく、運転免許証の有無別に見ると、「有」より「無」と回答した方の割合がやや高い。

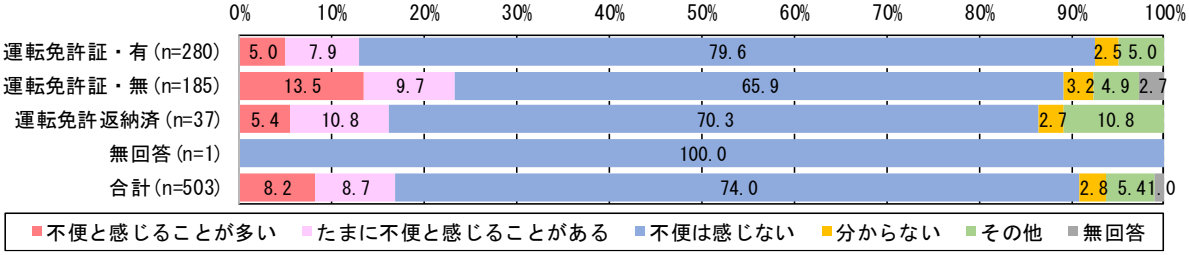
■施設への不便度



■施設への不便度（年齢別）



■施設への不便度（自動車運転免許証の有無別）

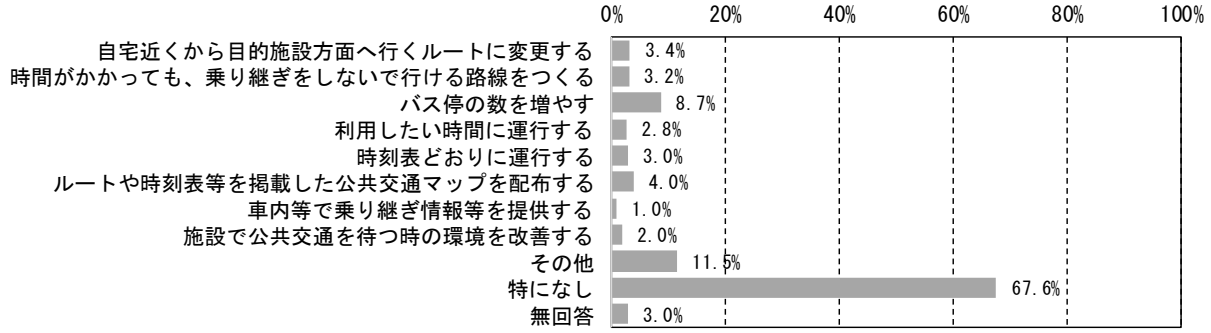


（４）公共交通の改善点

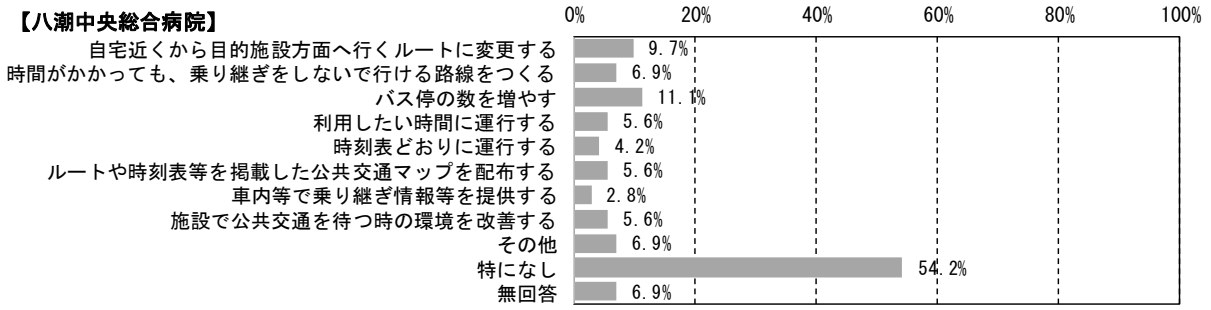
公共交通の改善点は、「特になし」が 67.6%と最も多く、次いでその他を除くと、「バス停の数を増やす」が 8.7%を占めている。

施設別で見ると、「特になし」と回答した方の割合は商業施設２店舗で多いものの、すえひろ荘、八潮市役所・メセナ、八潮中央総合病院では少なく、改善に対する意見が多い。

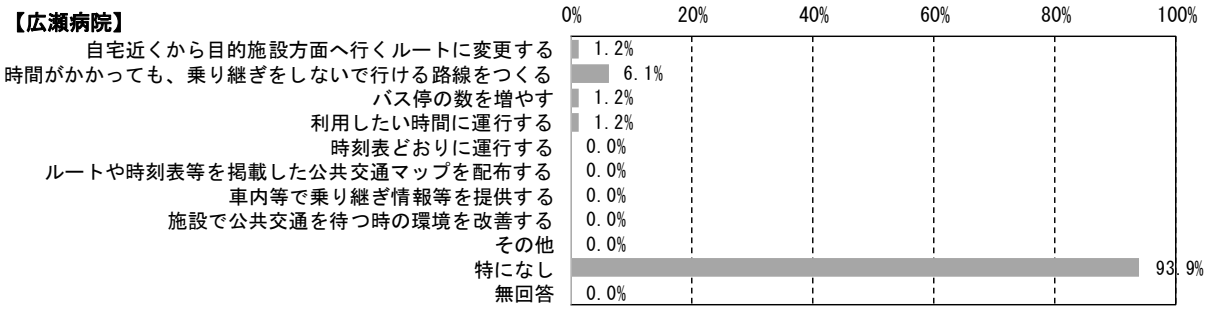
■公共交通の改善点



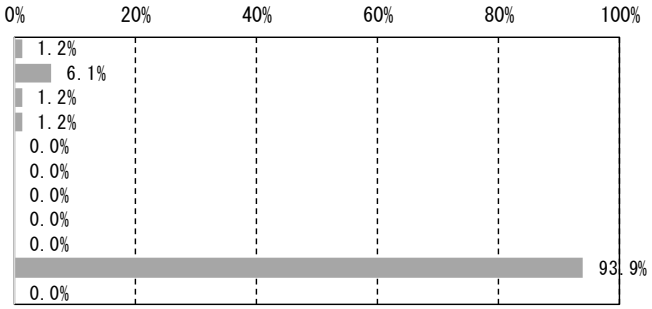
【八潮中央総合病院】



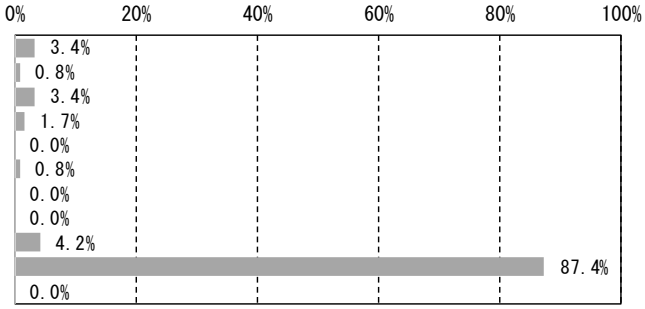
【広瀬病院】



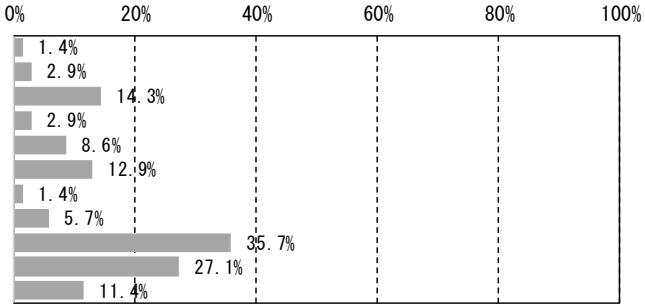
【ザ・ビック八潮南店】



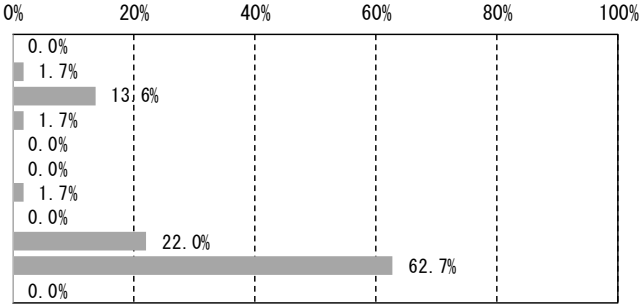
【ベルク八潮鶴ヶ曽根店】



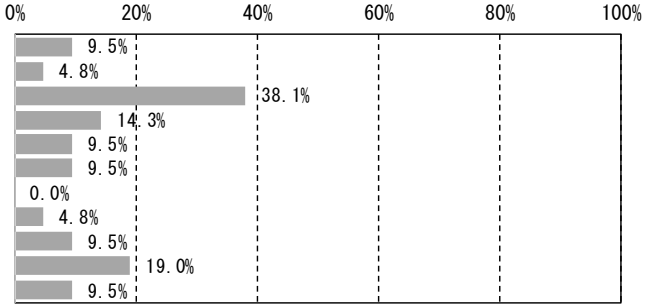
【八潮市役所・メセナ】



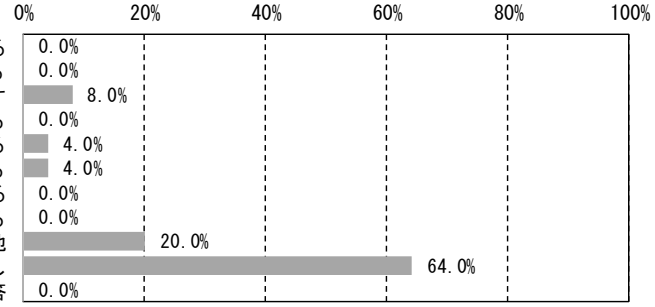
【楽習館】



【すえひろ荘】



【寿楽荘】



２－３　交通事業者･関係団体アンケート調査

交通事業者や関係団体を対象に、定性的な利用特性や、市の地域公共交通の見直しにあたっての留意点、現在抱えている課題等を把握するためのアンケート調査を行った。

調査対象関係者	**交通事業者**	・鉄道：首都圏新都市鉄道㈱、東武鉄道㈱ ・路線バス：東武バスセントラル㈱、京成バス㈱、朝日自動車㈱ ・コミュニティバス：東武バスセントラル㈱ ・タクシー：㈱織田、飛鳥交通㈱、瀬崎交通㈱、八潮交通㈱、豊田タクシー
	関係団体	・八潮市商工会、一般社団法人八潮市観光協会 ・八潮市社会福祉協議会（福祉協議会、身体障害者福祉センターやすらぎ、老人福祉センター寿楽荘・すえひろ荘、障がい者福祉施設やまびこ、コミュニティセンター） ・地域包括支援センター（東部地域、西部地域、南部地域、北部地域） ・八潮市自立支援協議会運営会（八潮市身体障害者福祉会、八潮市手をつなぐ親の会、YSK（八潮市精神しょうがい者家族会）、八潮市生活支援センターあけぼの、杜の家やしお、そうか光生園、NOZOMI、NPO 法人たらちね、NPO 法人 WISH８、スパイダーネットやしお、東部障がい者就業・生活支援センターみらい、八潮市基幹相談支援センター）
調査方法		・調査方法…メール、ＦＡＸなどによる配布、回収 ・調査期間…令和元年９月下旬～10 月中旬

（１）交通事業者　　※<u>太字下線</u>は各事業者で共通する事項を示す

鉄道	首都圏 新都市鉄道㈱	・混雑緩和対策として、「混雑の見える化」の推進や、朝ラッシュ時の運行本数の増便、８両編成化事業を実施予定。 ・また、多言語化に対応した駅窓口への携帯通訳機の設置や、行先・時刻案内を整備予定。 ・利用者等からは運行本数や混雑についての意見・要望が多い。 ・他の交通事業者に求めたいことは、振替輸送時の路線バスとの協力体制強化や、最終列車後のタクシーとの連携を図りたい。 ・提言・期待することとして、混雑緩和の実現を図るため、働き改革による企業の時差通勤を推進。また、自転車利用者が乗車したまま、改札外通路を横切るため、マナー啓発等の危険防止対策を行政と協働で実施したい。
	東武鉄道㈱	・草加駅の冷暖房付きホーム待合室新設、獨協大学前駅の駅舎リニューアル、両駅のホームドアの整備を予定。 ・利用者等からは急行線と緩行線との接続や、ラッシュ時間帯の列車遅延についての意見・要望が多い。 ・他の交通事業者に求めたいことは、特に八潮市北西部から最寄り鉄道駅となる東武線各駅（草加・谷塚・獨協大学前）へのアクセスの利便性向上。
路線バス	東武バス セントラル㈱	・<u>乗務員不足</u>のため、現在あるダイヤを維持するのが精一杯である。 ・走行環境の問題点として<u>「共和橋西詰」、「柳之宮橋」、「八潮・八条」、各交差点を中心とした渋滞（平日通勤学時間帯）。</u> ・乗務員不足に伴うダイヤの再編を検討中。

		・乗務員の不足のため、行政に八潮市主催の合同企業説明会等を開催して欲しい。
	京成バス㈱	・当該路線に関わらず、全体的に**乗務員の不足**状況が続いている。 ・走行環境の問題点として、「地蔵前」バス停～「鎌倉」バス停間で交通集中や戸ヶ崎十字路において交通渋滞が頻発し、遅延の一因となっている（三郷市内）。 ・乗務員の不足のため、乗務員募集の掲出（紙媒体・電子媒体）や八潮市内にて会社説明会の場所をお借りする際の会場使用料減額にご協力いただきたい。
	朝日 自動車㈱	・**深刻な乗務員不足**を抱えている。 ・乗務員の休憩施設・場所の確保が課題となっている。 ・バス路線上に信号機が多いため、遅延の原因となっており、また、道路工事が多い時期は遅延が発生しやすい。 ・八潮駅ロータリーを利用される一般車両ドライバーの公共交通への理解不足（違法駐車や嫌がらせ等） ・足立区の「北綾瀬駅」ホーム 10 両化に伴い、運行ルート及び運行ダイヤの見直しを今後検討していく。
コミュニティバス	東武バス セントラル㈱	・運行上、経営上の問題点として運行担当営業所の**乗務員不足**、小型車両の更新。 ・走行環境の問題点として**八条橋西交差点を中心とした渋滞**（平日通勤学時間帯及び土休レイクタウンのバーゲン時期等）。また、北ルート「入谷」バス停付近は、降雨時に広範囲にわたり水たまりができ、乗降および運行に支障がある。
タクシー	㈱織田	・**運転手の不足や高齢化が課題。** ・乗務員の不足について、行政に対し、**ハローワークやシルバー人材センターと連携し、乗務員希望者を募集・紹介**して欲しい。また、子育て世代（特に女性）に対して、託児所の紹介・推進を図り、女性も働けるよう、女性乗務員希望者を紹介して欲しい。 ・利用促進のため、無線機の代替や、ナビ地図ソフトの更新、決済端末機の更新を実施中。 ・八潮市に提言・期待することとして、路線バスが行っていない地域限定で乗合タクシーの導入を図る。
	飛鳥交通㈱	・利用者等から料金の値下げについての意見・要望が挙がっている。 ・**運転手不足（特に 50 代未満が不足）が課題。** ・**乗務員が常に不足している状態であり、行政から紹介**があると助かる。 ・利用促進等のため、決済端末機の拡充（カード・ＩＣカード決済器の導入、アプリ配車の導入）を実施中。今後バーコード決済端末機の導入を検討中。 ・八潮市に提言・期待することとして、各種割引制度を計画する場合、事業者のみが負担しないようにして頂きたい。
	瀬崎交通㈱	・**運転手不足が課題。**
	八潮交通㈱	・資金不足（車両更新）と**運転手不足（若年者）が課題。** ・**行政に対し、乗務員の紹介等**と、資金の借入れを協力して欲しい。 ・利用促進等のため、バリアフリー化やタクシーアプリ等を実施。
	豊田タクシー	－

（２）関係団体

【関係団体アンケート調査の主な意見のまとめ】

八潮市商工会	○来訪者や商業施設等から市役所近くのバス路線を増便して欲しい意見がある。
一般社団法人 八潮市観光協会	○観光客や観光施設等からイベント時等の臨時バスや増便の要望がある。 ○市内巡回バス等の増便を含めた利便性向上を行って欲しい。
八潮市 社会福祉協議会	○コミュニティバスのルート拡大、増便について希望の声が多数ある。 ○市内の南北のバス便が少ないことは利用者の拡大に繋がらないため、増便して欲しい。 ○運転免許返納者に対する返納の特典が欲しい。
地域包括支援 センター	○西袋地域はバスがないため、移動が困難に感じている声がある。 ○バスに歩行器（シルバーカー）を載せられないという利用者が多い。 ○ノンステップバスをもっと頻繁に運行して欲しい。 ○高齢者には経路が分かりにくい。また、乗り継ぎが大変に感じる。 ○北部地域はバスの本数が少なく、通院や駅に行くのが大変。レイクタウン方面へ行くバスがあると助かる。
自立支援協議会 運営会	○八潮駅から草加駅行きのバスは、南口と北口から出ているので、先発のバスがどれなのか分かりにくい。 ○同じ行き先でも経由地が違うため、迷うことが多い。ルートが分かりにくい。 ○コミュニティバスは便数が少な過ぎて、使い勝手が悪い。 ○コミュニティバス北ルートの八潮団地止まりを外環以北まで運行して欲しい。 ○障がい者施設や楽習館、病院など施設を回れる循環バスが欲しい。 ○ノンステップバスを導入して欲しい。 ○バスが遅れた際、後どれくらいで来るか分かると良い。

１）八潮市商工会

・商業を取り巻く問題点・課題として、首都高、ＴＸ等のアクセスが良いことから近隣の市の大型店への流出が多い。

・商工会主催の枝豆まつり（５～６月）はフレスポ八潮の協力（駐車場一部の借上）で来場者多数。

・来訪者や商業施設等から、八潮市の公共交通に関して寄せられている声として、市役所近くのバス路線が不便（八潮駅、草加駅行き）

・八潮市の公共交通について、市役所近くのバス路線の増便をして欲しい。

２）一般社団法人八潮市観光協会

・外国人観光客数が年々増加傾向にある中、オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、外国人観光客を取り込み、市内観光及び産業の振興につなげたい。多言語版ガイドマップの作成や施設案内表示看板の設置等の課題がある。

・公共交通と連携・協力した取組みとして、八潮夜市や花桃まつり・八潮朝市開催のポスターをつくばエクスプレスの車両内及び駅構内に掲載し、市内外に広くＰＲを実施中。

・観光客や観光施設等から、八潮市の公共交通に関して寄せられている声として、イベント時等の臨時バスや増便の要望あり。

・八潮市の公共交通について市内巡回バス等の増便を含めた利便性向上を行って欲しい。

３）八潮市社会福祉協議会

①高齢者や障がい者等から公共交通に対する寄せられている声について

・コミュニティバスのルート拡大、増便について希望の声が多数ある。
・障がい者から移動手段がないため、タクシー券の支給枚数を増やして欲しい。
・免許返納したら来られない。コミュニティバスの本数が少な過ぎて使えない。最寄りのバス停が八潮団地となり、30 分も歩く必要があり、行きたくても行けない。
・施設を使いたいが、バス路線がないため、会員が乗り合わせて、自分の車で来ないと行けない。もっと便が良ければ、施設を使いたい。
・施設の利用者が通所でバスを利用しており、運行間隔の短くして頂くことにより、スムーズな通所が可能となる。

②貴団体と公共交通が連携して取り組めること、連携すべきと考えられること

・送迎サービスと公共交通を連携して実施すれば、効率的に事業運営ができるのではないか。
・利用者の一部からバスの本数を増やして欲しい。

③公共交通に対する意見・要望

・市内の南北のバス便が少ないことは利用者の拡大に繋がらないため、増便を希望する（やすらぎ）。
・免許返納する方が多く、返納の特典が欲しい声を聞く。
・コミュニティバスをもっと細い道も入れるようにして、不便を解消して欲しい（すえひろ荘）。
・様々な障がい（知的、精神、身体等）を持っている皆様が安心して単独で施設通所や日常に使用して頂けるような公共交通を構築して欲しい。

４）地域包括支援センター

①高齢者や障がい者等から公共交通に対する寄せられている声について

・西袋地域はバスが通っていないため、困難に感じている声がある（西部）。
・買い物や通院に移動手段がない方もいる（西部）。
・バスに歩行器（シルバーカー）を載せられないという利用者が多い（西部）。
・ノンステップバスをもっと頻繁に運行して欲しい（東部）。
・バス停までが遠く、活用できない（東部）。
・バス停に椅子がない。高齢者は待っている時間が辛い（東部）。
・乗降時、シルバーカーの持ち運びができない（東部）。
・高齢者には経路が分かりにくい。また、乗り継ぎが大変に感じる（東部）。
・タクシーの運賃は高いので、日常的に活用できない。また、短距離だと気が引ける。難聴の高齢者は電話でタクシーを呼ぶことができない。電話で指示をされても聞こえない（東部）。
・バスの本数が少ないので、使えないため、買い物、通院が困難（南部）。
・バスの本数が少なく、通院や駅に行くのが大変。レイクタウン方面へ行くバスがあると助かる（北部）。
・やしお寿苑周辺住民から、バスの便が不便だと良く聞く（北部）。
・体操教室や講演会に行きやすいバスが欲しい（北部）。
・北部地域、特に八條、入谷地域のルートが少ない（北部）。

②貴団体と公共交通が連携して取り組めること、連携すべきと考えられること

・乗合タクシーなど家の近くまで来てくれる手段があると良い。ルートやニーズなど利用者の把握

を連携して行える（西部）。
・認知症サポーター養成講座を受けるなど、高齢者のことを知る（東部）。
・公共交通機関の利用促進の啓発を包括支援センターと一緒に実施する（東部）。
・ニーズが高いルートやバス停の提案（北部）。
・ニーズの把握や実態調査の協力（北部）。

③公共交通に対する意見・要望

・八潮市民は車での移動に慣れていて、バスなど公共交通機関を使用する習慣がないように感じる。高齢者が車に乗れなくなり、バスの利用を促しても消極的。公共交通機関の利用に対する啓発が必要と感じる（東部）。
・バスに乗ることが不安に感じる高齢者が多い（座席に座る前に発車してしまい、転んでしまったなど）。高齢者が多くなるため、それに適応した対応が必要ではないか（東部）。
・公共交通が不便なため、認知症、視力低下があっても車を使ったり、介護サービスを頼ることになっている。買い物支援になるよう、移動販売、スーパーへの送迎などをして欲しい（南部）。
・バス停に屋根があると、雨天時にも外出しやすい（北部）。
・バスのルートを分かりやすくして欲しい（北部）。
・既存路線での１時間当たり便数増加、新ルートの開発、低額な公共交通手段の実現をして欲しい（北部）。
・利用の時間帯が集中することがあるため、色々な意見を参考にしていく必要があると思う（北部）。

５）自立支援協議会運営会

①障がい者等から公共交通に対する寄せられている声について

・コミュニティバス費用の予算が課題であるならば、障害者差別解消法（福祉関係の予算）に即した形式で、転用・活用出来ないものか。
・コミュニティバスの本数が少ないので、外出の組立てが難しい。
・八潮駅から草加駅行きのバスは、南口と北口から出ているので、先発のバスがどれなのか分かりにくい。南口にいても、北口のバスの発車時刻（又は、北口にいても南口の）が分かると有難いと思う。
・新町住民、今ある時間帯（土曜日の午後）の本数は、これ以上減らさないで欲しい。
・コミュニティバスが出来て、とても便利になったが、便数が少な過ぎて、使い勝手が悪く、乗車する機会が少ないのが現状。
・障がい者施設や楽習館、病院など施設を回れる循環バスが欲しい。
・法人施設が草加市内に複数あるが、バスの便数が少なく（朝・夕の限られた時間しかなく）、保護者等に頼らざるを得ない状況。
・通所時（特に帰りの午後３時 30 分頃）のバス便が少ない。
・バスの本数が少ないため、利用しにくい。特に帰りが困っており、八潮駅～八潮団地は１時間以上来ない時間帯がある。他者と一緒にいることが苦手な方が一定数いるため、もっと気軽に利用できるようにして欲しい。
・障がい者（特に自閉症）に対し、理解が乏しく、もっと温かい目で見て欲しい。
・公共交通がヘルプマークの周知に力を入れて欲しい。八潮市内に行きたい時の手段がほぼコミュニティバスしかないのに、1 時間に一本しかなく、行くときはともかく帰りはとても不便。時間

に合わせて用事を済ませることなど難しい。コミュニティバスと路線バスが同停留所から同時刻のバスがあり、乗りにくく戸惑う（八潮団地 8:10 発草加行）。

・本数が少ない。ルートが分かりづらい。バスが遅れた際、後どれくらいで来るか分かると良い。八潮中央総合病院へ通院している方が多いので、楽習館から中央病院へ行くルートのバスがもう少しあると良い。同じ行き先でも経由地が違うため、迷うことが多い。コミュニティバス等が一目で分かるようなルート（路線図）があれば、施設内に掲示したい。

②障がい者等が公共交通を利用する際に感じている課題や要望・意見

・バス停の表示、時刻、ルートなどの看板が見えにくい。駅のエスカレーターエレベーターの使い勝手が悪い（障がい者目線で作られていない）。コミュニティバスは、例えば、八條地区は八潮団地止まりが多いので、不便であるなど、効率第一で、障がい者無視の象徴。

・乗降する際、自動的に一段ステップが下がると、とても楽に降りられる。

・バスの座席が狭く、途中段差があり、降り口は特に狭く、荷物を持っていると降りにくい。バスの段差を無くし、降り口は広くして欲しい。コミュニティバスでベビーカーを固定するまで５分以上掛かっており、乗り降りに時間が掛かると、ベビーカーや車椅子の人は利用しにくいと思う。

・ホームドアを導入して欲しい。駅のアナウンス（音声、音響）は、聞く位置によっては騒音となるため、工夫して欲しい。駅構内のエレベーターが少ない。

・ノンステップバスを導入して欲しい。運転手が障がい者割引のことを知らない時があるため、社内研修をして欲しい。精神、疾患、障がいの特性を理解して欲しい。

・気兼ねなく乗れる障がい者専用車両を作って欲しい。

・緊急時のアナウンスは理解の困難な方でも分かりやすい言葉での対応もあれば良いと思う。段差が上れない。バス停が分かりづらい。足の悪い方がバスを乗降する際に困難なことがあるので、ノンステップバスを増やして欲しい。障がい者などが長期入院した際、職員が訓練の一環として付き添う場合、付添い者の乗車割引などを検討して欲しい。視覚障がい者の方や不慣れな方等に対し、段差の注意喚起やバス停のアナウンス、緊急時のアナウンス等丁寧にして欲しい。

③貴団体と公共交通が連携して取り組めること、連携すべきと考えられること

・朝夕の通勤・通学時間帯は大型バスとし、日中は老人や在宅者、障がい者、女性、子ども等が利用しやすく、小回りの利く小型バスとして、病院、市役所、楽習館、図書館、スーパー他、生活の便を重視したルートとする。

・精神障がい者の困っていることを伝える。精神障がい者の家族の相談にのることができる。

・ヘルプマークを周知して頂き、プライオリティシートにヘルプマークの方もどうぞと表示して欲しい。

・利用者が行方不明になった際、タクシー等を利用する場合があるため、連絡が取れる番号等の一覧表を定期的に配布して欲しい。手帳所持者等の割引制度などを周知して欲しい。災害時に、運行情報の把握が分かりやすいように、連携出来たらと思う。障がい者が市内の行動範囲を広げられるような取組みがあっても良いと思う。バス利用時の障がい者割引の説明、定期券の購入などパンフレット等を使って分かりやすく説明出来ると良いと思う。

④公共交通に対する意見・要望

・緊急の要望（切望）は、コミュニティバス北ルートの八潮団地止まりを外環以北まで運行して欲しい。やしお寿苑前にも横断歩道を設けて欲しい。

・コミュニティバスは利用者が少ないので廃止し、ワゴン車で送迎した方が良いと思う。
・送迎車があれば、利用者、参加者が多くなると思う。
・コミュニティバスの西ルートは２台のバスで、両回りを毎日運行して欲しい。
・足立区や三郷市、越谷市など近隣市区等へバス一本で行くことが出来れば、障がい者の生活の幅が広がると思う。
・精神障がい者に対して、ＪＲ等鉄道運賃を他の障がい者と同じように認めて欲しい。事業者への働きかけを望む。精神保健福祉手帳２級までタクシー券を発行して欲しい。
・PASMO のようなもので、障がい者用の半額になるカードがあると良い。
・タクシー会社の送迎料金が補助していただけると利用しやすくなる。障がい者は奇声などバスや電車に乗る事自体、大変なので、タクシー券の配布の拡充をしてほしい。手帳と PASMO などが一緒に持ち歩ける入れ物を提供してくれると助かる。タクシー券ガソリン券の補助割合を各自決められるようにして欲しい（例えば、タクシー券 3 枚ガソリン券 17 枚など）。
・福祉サービスでの連携は可能か。乗車中、具合が悪くなった時の迅速な連絡、連携手段の確保等。市役所等と八潮駅、草加駅とのアクセスを改善して欲しい。

２－４　民生委員･児童委員アンケート調査

調査対象者	民生委員・児童委員 117 人（八條地区 33 人、潮止地区 40 人、八幡地区 44 人）
調査方法	・調査方法…調査方法：郵送配布、郵送回収 ・調査期間…令和元年９月中旬発送～10 月１日（火）締切
調査項目	・相談相手の移動実態、困りごと ・公共交通サービスに関する要望・意見 ・外出する際の困り具合・不便度
回収状況	回収票数 76 票（回収率 65.0%）

【民生委員・児童委員アンケート調査の主な意見のまとめ】　※太字下線は各回答者で共通する事項を示す

八條エリア	○路線バスを**増便**して欲しい。（八條、鶴ヶ曽根） ○八條から市役所や八潮中央総合病院、越谷レイクタウンへ直接行くバスが欲しい。（八條、小作田） ○コミュニティバスの便数が少ない。（鶴ヶ曽根、小作田）
新町・緑町エリア	○路線バスやコミュニティバスのルートや乗り継ぎなどが分かり難い。(伊草、新町) ○八潮中央総合病院へ直接行くバスが欲しい。（新町） ○バスの**本数**とバス停を**増やして**欲しい。（緑町１～５丁目）
二丁目・南川崎エリア	○八潮駅北口行きの路線バスを**増便**して欲しい。（二丁目） ○病院へ行きやすいバスが欲しい。（二丁目） ○八潮市コミュニティバスを**増便**して欲しい。（木曽根） ○八潮市コミュニティバスを運行して欲しい。（南川崎） ○市役所方面のバスが欲しい。（南川崎）
大瀬・古新田エリア	○八潮市コミュニティバスについて運行経路の見直しとバス停の増設、**運行本数の増便**、運賃の低廉化をして欲しい。（古新田） ○八潮市コミュニティバスを増便して欲しい。（大瀬）
八潮駅周辺エリア	○八潮市コミュニティバスについて午前で**増便**して欲しい。（大原） ○八潮市コミュニティバスは小型化し、**増便**したらどうか。（大瀬１～６丁目）
中央・八潮エリア	○この地区はフレスポ八潮などがあるため、日常生活にあまり不便がない。（八潮１～８丁目） ○主要な医療機関のみを回るコミュニティバスがあると便利。（八潮１～８丁目）
大曽根・浮塚エリア	○行きたい場所へバスで行けない。草加駅まで乗換えなしで行きたい。（浮塚） ○八潮中央総合病院へ直接行けるバスが欲しい。（浮塚） ○地区内にスーパーがなく、不便なため、地区内を巡回するバスが欲しい。（浮塚） ○八潮市コミュニティバスについて市役所まで**増便**して欲しい。（浮塚） ○八潮市コミュニティバスを運行して欲しい。（浮塚） ○駅までの路線バスを**増便**して欲しい。（大曽根）
西袋・南後谷エリア	○八潮駅へ行くのが不便。（西袋） ○市役所経由の便が少ない。（南後谷）

【主な回答結果】

①相談相手の移動実態、困りごと

・どこへでも徒歩で行っていたが、体調をくずし、外出に困っている（新町）。
・バスの本数が少なく、バス停が遠いので、雨の日や暑い日は体力的にきついので、困っている（二丁目）。
・病院へバスで行くと、時間が合わないため、タクシーを利用している（二丁目）。
・買物、通院などで路線バスを利用しているが、バス停まで 10 分以上かかって大変である。バスの本数が少ないので、時間がかかる（八條）。
・公共施設のバスの便の悪さ。八幡公民館などの利用が大変不便なので、八潮団地周りと、フジパン周りと一日２回程度でも必要を感じる（八條）。
・地域包括支援センターを軸に、是非考えて欲しい（八條）。
・八潮団地までの交通機関がなく、自転車も交通量が多く危ない。歩くには遠すぎで、八潮駅に行くコミュニティバスが少ない（八條）。
・不便な場所へは長年の友人が車で送ってくれる。草加市内の医療機関へはバスで時間がかかるのでタクシーを利用している（大曽根）。
・遠方の子供（孫含む）に来てもらったり、親しい友人に依頼し、自動車で送迎（大曽根）。
・比較的近くの医療機関はタクシーを利用するが、なかなか来ない。知人にお願いをするが、気を使ってしまう（伊草）。
・自転車で移動しているが、いつまで自転車で行けるか心配。薬が無くなり、必要になって天気が悪い場合、タクシーを利用。年金暮らしでタクシー代も気になる（浮塚）。
・路線バスやコミュニティバスはあるが、バス停まで距離や時間の間隔があって余り利用しない。また、行きたい場所へバスで行けない（浮塚）。
・バス停が遠く、知人に病院へ連れてもらっている。本当は自分で行きたい（浮塚）。
・足が不自由なので、病院へ行くのにバスに乗り換えることが大変。朝出掛けると、夕方になり、たまに近所の方が送ってくれる（浮塚）。
・免許返納したので、移動手段はタクシーかバス。浮塚地区は駅まで遠いため、不便。八潮中央総合病院、保健センター、市役所へ行くのが大変不便（浮塚）。
・八潮駅方面には買い物になかなか行けない。電車に乗るまでが不便。行く時は草加駅まで行き、乗り換えて八潮駅方面へ（西袋）。
・自転車で病院に行っているが、病院へのバスが便利に利用出来れば有難い（二丁目）。
・バスの本数が少な過ぎる。八潮駅、草加駅どちらも少ないため、循環バスが欲しい（鶴ヶ曽根）。
・自宅から２㎞以内に病院やスーパーがないので、車が無いと行けない。コンビニは数ヶ所あるが、コンビニだけでは。病院へ行くにも、バス便が不便で、自家用車かタクシーになる（鶴ヶ曽根）。
・市役所へ行くのが不便（鶴ヶ曽根）。
・清水クリニックへ行くのに、生涯楽習館前バス停で降りて、徒歩 10 分で行かなければならないのが不便。市役所へ行くにも、バスの利用が出来ない。ちょっとした買い物に行きたいが、タクシーを使わないと行けないから不便（木曽根）。
・高齢のため、一度は車を手放したが、やはり買い物、通院等が不便のため、再度車の運転を始めた（中馬場）。
・子供が来た時に、車で送迎してもらっているが、自由に動けなくて不便を感じている（古新田）。

・バスの本数が少なくて不便（大瀬）。
・足が悪いので歩くのも大変で、駅までは押し車を使い、休み休み歩き、駅からはタクシーを使っている。お金も少ないので、困っている（垳）。

②公共交通サービスに関する要望・意見

・八潮駅への本数が少ない。市内で移動する際、バスルートがよく分からない。市民全体に良く分かるよう周知しているのか（鶴ヶ曽根）。
・市内を循環するバスが欲しい。コミュニティバスは余りにも本数が少な過ぎるので、利用するのが難しい。限られた地域だけなので、もっと細かく回って欲しい（鶴ヶ曽根）。
・八潮駅行き市役所周りで、八潮中央総合病院前で降りるバス便が少ない。病院が始まる８時 30 分と９時 30 分のバス便を追加して欲しい（鶴ヶ曽根）。
・コミュニティバスをもっと増やして欲しい（木曽根）。
・コミュニティバスは木曽根ロータリー周辺も運行して欲しい（小学校入口より八潮駅へ）（木曽根）。
・市役所に行くバスがないので、コミュニティバスで良いので運行して欲しい（南川崎）。
・コミュニティバス 11：33 発は病院の受付が間に合わない（古新田）。
・バス停が３箇所だけのため、運行経路の見直しと、バス停を増やして欲しい（古新田）。
・バス料金が高いため、高齢者割引があると良い（古新田）。
・平日７～９時を多くして頂き、午後５時まで運行して欲しい。バスに手押し車で利用する際、降りる時が狭く、大変（古新田）。
・近くにコミュニティバスの停留所があるが、本数が少ないため、利用していない。せめて１時間に１本あれば良い（小作田）。
・八潮中央総合病院に直接行ける路線バスがないので、乗り継ぎが不便（小作田）。
・朝八潮駅へ行きたくても、逆方向、大回りなるバスしか通っていないので、不便を感じる（浮塚）。
・路線バスの補助があると良い（柳之宮）。
・コミュニティバスの本数が少なく、利用したくても不都合を感じる。マイクロバスでも良いので、本数を増やして欲しい。ホームページの時刻表が分かりにくい（新町）。
・小さいバスで、乗りやすい（乗降しやすい）バスが欲しい（大瀬）。
・市役所・けやき通りを通るバスが欲しい（南川崎）。
・バスの便数が少ない。バス停から離れていて大変（南川崎）。
・駅までの路線バスを増発して欲しい。市独自でも高齢者 75 歳以上の方に乗り物の補助（無料あるいは半額位）して欲しい（大曽根）。
・ラブリーパスでコミュニティバスも乗れるようにして欲しい（八潮１～８丁目）。
・草加に出る場合、２回乗換えが必要で不便。コミュニティバスは本数が少なく、時間帯によっては時間がかかる（浮塚）。
・当地区から草加駅方面（東武鉄道）へ行く手段がない（浮塚）。
・コミュニティバスを浮塚まで、要望に沿ったルートで運行して欲しい。乗合タクシー等で買い物に行きたい。高齢者用パスが欲しい。草加駅まで乗換えなしで行きたい（浮塚）。
・浮塚はコミュニティバスがないので不自由（浮塚）。
・直通で八潮中央総合病院まで行けるバスがあると良い。市役所までの直通バスが１日に３本しかなくて、大変不便なので、本数を増やして欲しい（浮塚）。

・駅などの方面へ向かうバス等の増発をして欲しい（八條）。
・八潮市内のバスの本数が少な過ぎだと思う（八條）。
・八條から八潮中央総合病院まで１本の路線で行けない。また、八潮駅までの路線が少ない。八潮市役所も同じことで、八條地区から市の中央に行くのが難しい（八條）。
・バス停を増やして欲しい（路線バスを身近に）（八條）。
・休日のバスの本数を増やして欲しい（緑町１～５丁目）。
・二丁目から八潮駅北口へ行くバス路線を増やして欲しい（二丁目）。
・乗降フリーのコミュニティバス（病院、公共施設など）（二丁目）。
・バスの本数が少ない。コミュニティバスは幹線道路を通っているため、遠くて乗れない（二丁目）。
・駅まで出て、乗り継ぎは時間と料金も掛かる。病院の前にバス停がない（二丁目）。
・市役所経由の便が少ない（南後谷）。
・どこからでも病院行きのバスがあると良い（南後谷）。
・多くのバス路線があるが、高齢者はコース、乗り継ぎなど理解できない。（伊草）。
・八潮から松戸行きのバスの便が少ないので、みさと健和病院へ行きにくい（大瀬）。
・コミュニティバスの本数が増えて、通院、買物等で便利になると良い（大瀬）。
・コミュニティバスの午前の本数を増やして欲しい（大原）。
・運転免許返納者は主に徒歩、バスを利用しており、この地区はフレスポ八潮などがあるため、日常生活にあまり不便がない（八潮１～８丁目）。

③外出する際の困り具合・不便度

	回答数	担当地区　※（　）回答数
困っている方・不便を感じている方が多い	36 票	八條(5)、鶴ヶ曽根(3)、新町(1)、二丁目(3)、南川崎(2)、大瀬(1)、古新田(3)、垰(1)、大原(2)、大曽根(2)、浮塚(5)、西袋(1)、柳之宮(1)、八潮１～８丁目(1)、大瀬１～６丁目(1)
困っている方・不便を感じている方がいるものの、少ない	25 票	八條(1)、鶴ヶ曽根(1)、小作田(4)、伊草(1)、二丁目(2)、木曽根(1)、南川崎(2)、伊勢野(2)、大瀬(2)、中馬場(1)、大曽根(1)、西袋(1)、南後谷(1)、中央１～４丁目(1)、八潮１～８丁目(3)
分からない	６票	木曽根(2)、大曽根(1)、浮塚(1)、南後谷(1)、緑町１～５丁目(1)
その他	４票	新町(1)、二丁目(1)、木曽根(1)、南後谷(1)
無回答	５票	八條(1)、伊勢野(1)、大瀬(1)、八潮１～８丁目(1)、主任児童委員(1)

④公共交通に関する意見・要望

・主要な医療機関のみを回るコミュニティバスがあると便利（八潮１～８丁目）。
・コミュニティバスを充実して欲しい（八潮１～８丁目）。
・高齢化が進み、徒歩や自転車での移動が難しくなってきた方が増えてきた。近所付合いはあっても、人に何かを頼むことが気を使ってしまいできない年代の方達なので、民生委員としての活動にも限界を感じている。公共での移動サービスは今後求められていくので、是非ご考慮頂きたい（新町）。
・路線バスの運行間隔を短くし、きめ細かいバス停を設定して欲しい。タクシー料金の一部補助、または非営利目的での低料金の送迎事業を行って欲しい（古新田）。
・朝の通勤・通学時間帯（７：00～８：30）にバスの運行があると便利（古新田）。

・不便で最悪な所です。古新田～八潮駅まで 220 円は高いので、安くして欲しい（古新田）。
・八潮駅だけでなく、八潮中央総合病院まで行くバスがあってもいいのではないか（新町）。
・タクシーのような、小型で小回りのきく公共交通があったら良い（大瀬）。
・路線バスの本数が少なく、コミュニティバスで良いので中央（市役所方面）を通る路線を運行して欲しい（南川崎）。
・八潮駅に行く、住宅街を巡回する車両があると良い（木曽根）。
・しまむら、マルエツ、銀行、市役所などに止まるバスがない。清水クリニック、耳鼻科へ行ける路線バスがあれば良い（木曽根）。
・気軽に外出できるようにバス網を整備して欲しい（二丁目）。
・70 歳を過ぎて免許証を返納した場合、行動範囲が限られてしまうため、今までと同じように活動できるよう交通機関も整備して欲しい（伊勢野）。
・乗合タクシーのような小回りのきく、住宅近くまで来て頂き、安価であるシステムを考えて欲しい（伊草）。
・浮塚から直接草加駅に出られるバスがあったら便利だと思う。免許返納者も増えると思うので本数を増やして欲しい（浮塚）。
・大曽根、浮塚方面にもっと路線バスやコミュニティバスが欲しい。また、浮塚にもコミュニティバスを運行して欲しい（浮塚）。
・市内の公共施設（市役所、メセナ、楽習館、図書館等）へは自動車がないと（バスが不便）行きにくく、参加したい催しにも参加できないため、自由に行きたい（浮塚）。
・浮塚地区は地区内にスーパーがなく、不便な場所。最寄り駅は綾瀬駅、六町駅で、バスで 20～30 分掛かる。地区内を巡回するバスが欲しい（浮塚）。
・八潮駅方面に行くバス等を増やして欲しい（八條）。
・西袋地区（特に谷塚、草加寄りの方々）は乗り物がないため、八潮市役所、八潮駅、銀行などに行く時が不便（西袋）。
・バス停とバスの本数を増やして欲しい（緑町１～５丁目）。
・コミュニティバスは各地区をこまめに回り、駅や市役所等へ行きやすくして欲しい（大曽根）。
・コミュニティバスを増やして欲しい（南川崎）。
・市役所やメセナに行きたくても、バスがないため、イベントの集客も出来ず、困ることがある（二丁目、木曽根）。
・八潮中央総合病院は八潮駅近くに移転したため、高齢者が多い鶴ヶ曽根地区は大変不便（鶴ヶ曽根）。
・北地区、南地区など、どこどこの地区とこだわりなく八潮市全体をスムーズに移動出来るバスルートを検討して欲しい（鶴ヶ曽根）。
・コミュニティバスの本数が少ない（大瀬）。
・松戸駅経由のバスは八潮駅から八潮中央総合病院前を通り、南川崎交差点を右折し、新中川橋へ出るようなコースを希望する。みさと健和病院にも行きやすい、また、バス停を作ってもらうと、三郷市から通学している八潮南高校の生徒も雨の日の通学に便利（南川崎）。
・コミュニティバスは小型化し、本数を増やしたらどうか（大瀬１～６丁目）。
・八條地区は大きな病院、商業施設、銀行が全くない。車がないと生活が出来ないと言っても過言ではない。公共交通機関を利用して、市内の中央に行くにしても、乗り継ぎしないと行けない現状。本数も少なく不便。東京都で発行している高齢者無料パスのようなものがあれば、もっと公共交通

機関を利用すると思う。そうすれば、免許の返納をする方も増えて、安全な交通社会になると思う（八條）。

・買物できる場所へも路線を繋げて欲しい（レイクタウン、島忠、三郷方面）（八條）。

・越谷レイクタウン駅までに行くバスがあれば、東京方面、その他に外出が便利かと思う。草加市では住宅地の中にバス停を設け、小回りで市民の足に役に立っている。八潮駅周辺は人口増で便利になったが、この八條は取り残されているかと思う（八條）。

２－５　地域会議の開催

八條地区、潮止地区及び八幡地区の市民を対象に、公共交通に関する問題点・改善点などについての意見・要望を把握するため、地域会議を開催した。

<table>
<tr><td>参加者</td><td>町会自治会長より選出、一般市民公募（自治会回覧）</td></tr>
<tr><td>開催日時
・場所
・参加者数</td><td>
<table>
<tr><th>地区</th><th>日付</th><th>時間</th><th>場所</th><th>参加者数</th></tr>
<tr><td rowspan="2">八條地区</td><td rowspan="2">令和元年 10 月 2 日（水）</td><td>午後 2 時 30 分～</td><td>ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ</td><td>21 名</td></tr>
<tr><td>午後 7 時 00 分～</td><td>八條公民館</td><td>15 名</td></tr>
<tr><td rowspan="2">潮止地区</td><td rowspan="2">令和元年 9 月 26 日（木）</td><td>午後 1 時 30 分～</td><td>古新田公民館</td><td>23 名</td></tr>
<tr><td>午後 7 時 00 分～</td><td>ゆまにて</td><td>13 名</td></tr>
<tr><td>八幡地区</td><td>令和元年 9 月 27 日（金）</td><td>午後 7 時 00 分～</td><td>八幡公民館</td><td>18 名</td></tr>
<tr><td>市内全域</td><td>令和元年 10 月 5 日（土）</td><td>午前 10 時 00 分～</td><td>八潮メセナ</td><td>10 名</td></tr>
<tr><td>合計</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>100 名</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>開催
プログラム</td><td>①開会・あいさつ
②地域会議の趣旨説明
③八潮市公共交通の現状説明
④日常の生活実態・移動実態を振り返ろう‼
⑤市内で運行中の公共交通の問題点・改善点を考えよう‼
⑥テーブル別発表
⑦ワークショップアンケート調査
⑧閉会</td></tr>
</table>

▲八條地区（ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ）

▲八條地区（八條公民館）

▲潮止地区（古新田公民館）

▲潮止地区（ゆまにて）

▲八幡地区（八幡公民館）

▲市内全域（八潮メセナ）

【地域会議のまとめ】　　※<u>太字下線</u>は各事業者で共通する事項を示す

<table>
<tr><td colspan="3">鉄道</td><td>○つくばエクスプレスに対する朝の混雑対策（８両化など）や運賃の低廉化、快速運行といった意見が多い《全地区》。
○早期に地下鉄８号線の実現といった意見が多い《古新田公民館、八幡公民館、コミュニティセンター、八條公民館》。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">路線バス・八潮市コミュニティバス</td><td rowspan="2">八條地区</td><td>コミュニティセンター</td><td>○路線バスは越谷レイクタウンへの乗入れ（新設）に対する意見が多い。
○八潮市コミュニティバスは八潮団地止まりの延伸、<u>運行本数の増便（市民温水プール回り）</u>、料金の低廉化といった意見が多い。</td></tr>
<tr><td>八條公民館</td><td>○路線バスは<u>運行本数の増便</u>、越谷レイクタウンへのルート新設、終バスの拡大（草加駅）といった意見が多い。
○八潮市コミュニティバスは<u>運行本数の増便</u>、ルート変更（草加駅、市役所）に対する意見が多い。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">潮止地区</td><td>古新田公民館</td><td>○路線バスは<u>運行本数の増便（朝、夕）</u>やルート変更（健和病院等）といった意見が多い。
○八潮市コミュニティバスは<u>運行本数の増便（特に午前中（通院に間に合うように）</u>やバス停の増設、車両の小型化によるきめ細かな運行といった意見が多い。</td></tr>
<tr><td>ゆまにて</td><td>○路線バスの<u>運行本数の増便</u>に対する意見が多い。
○八潮市コミュニティバスは情報提供の充実（情報が少ない）、ルート変更（南川崎や木曽根、駅まで最短ルート）、車両の小型化、<u>運行本数の増便</u>といった意見が多い。</td></tr>
<tr><td>八幡地区</td><td>八幡公民館</td><td>○路線バスは終バスダイヤの延長（草加駅から）、運行時間帯による車両の変更（朝・夕：大型、昼間：中型）、ルート変更（草加駅方面）、<u>市役所方面への増便</u>、コミュニティバスとの乗換え改善、車両のバリアフリー化といった意見が多い。
○八潮市コミュニティバスは<u>運行本数の増便</u>、ルート変更・追加、ルートの分かり難さの改善といった意見が多い。</td></tr>
<tr><td>市内全域</td><td>八潮メセナ</td><td>○路線バスは越谷レイクタウンへの新設、ルートの再検討（定時性）、<u>運行本数の増便（獨協大学前駅行き）</u>、八潮駅へのルート充実といった意見が挙がっている。
○八潮市コミュニティバスは<u>運行本数の増便</u>、行き先の分かり難さの改善、公共施設等を巡回するルート新設といった意見が挙がっている。</td></tr>
<tr><td colspan="3">タクシー</td><td>○タクシーの高齢者割引運賃、タクシー券の発行といった意見が多い《古新田公民館、ゆまにて、コミュニティセンター》。
○乗合タクシーの導入に対する意見が多い《八幡公民館、コミュニティセンター、八條公民館》。
○八潮駅で深夜時間帯に台数が少ない、料金が高いといった意見が挙がっている。</td></tr>
</table>

（１）八條地区

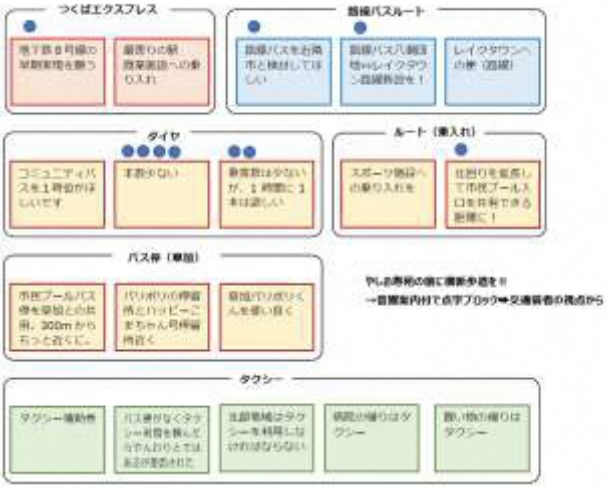
①コミュニティセンター

Ａ班

～八潮市内で運行中の公共交通の問題点・改善点を考えよう!!～

Ｂ班

～八潮市内で運行中の公共交通の問題点・改善点を考えよう!!～



Ｃ班

～八潮市内で運行中の公共交通の問題点・改善点を考えよう!!～

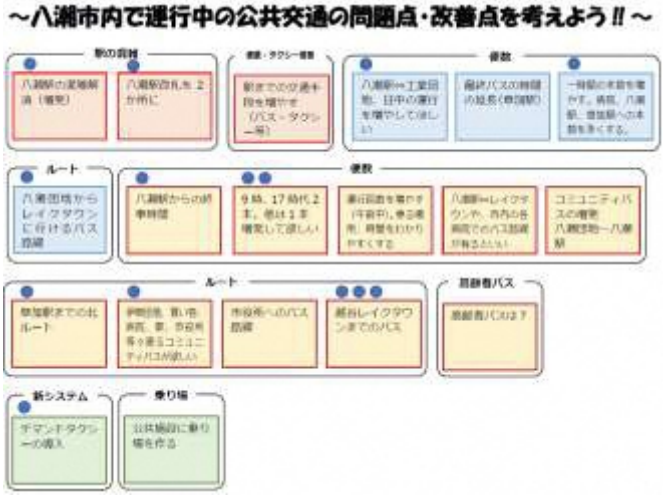
凡例

：鉄道　：路線バス　：コミュニティバス　：タクシー　：その他

●：重要だと思う取組みについて一人２枚までシールを張った

②八條公民館

Ａ班



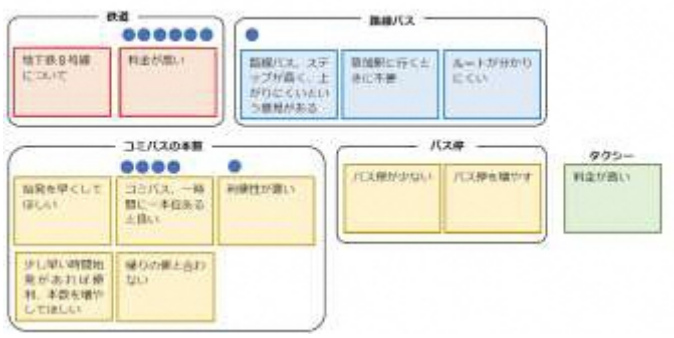
Ｂ班

（２）潮止地区

①古新田公民館

Ａ班

Ｂ班



Ｃ班

②ゆまにて会議室兼研修室

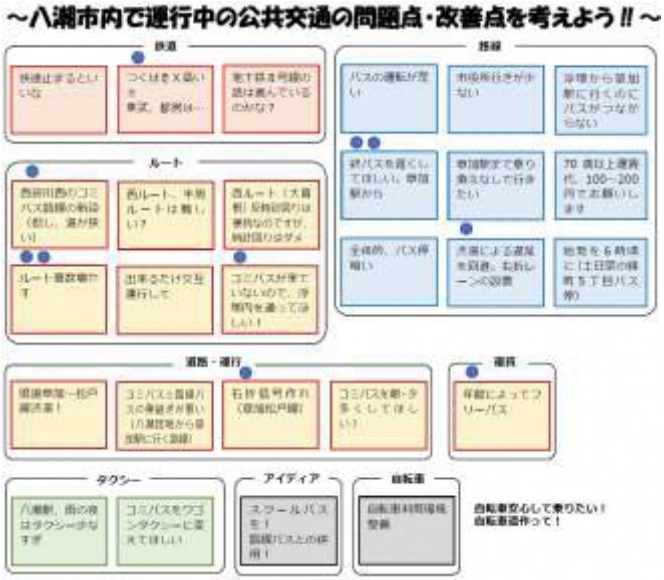
Ａ班

Ｂ班

（２）八幡地区（八幡公民館）

Ａ班

Ｂ班



Ｃ班

（４）市内全域（八潮メセナ）

Ａ班

Ｂ班

（参考）地域会議ワークショップアンケート調査結果

地区	場所	住まい	意見・要望
八條地区	ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	八條	コミュニティバスの北ルートを利用している人は少なそうですが、絶対に時間的本数が少ない
八條地区	ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	八條	バス(コミバス、市バスとも)プライオリティシートにヘルプマークも表示してほしい。障がい者割引、タクシー券とガソリン券の割合を各自で決められるようにしてほしい(例えば、タクシー券３枚ガソリン券 17 枚など)。障がい者、高齢者はバス停までも難しい。又、障がい者によっては乗ること自体ハードルが高い人もいるので、タクシー券の拡充をしてほしい。
八條地区	ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	八條	70 代以上の方へバスの利用の無料券を出す。→免許証の返納の促進につながります→バスに乗る方が増えればバス会社も潤います
八條地区	ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	八條	公共交通と並行して道路整備の拡充をぜひ考えて下さい。安心して交通が利用できるように点字ブロックの整備、信号(音声、振動)を設置してほしいです
八條地区	ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	八條	高齢者を無料にしてほしい
八條地区	ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	八條	コミバス…八潮団地止まりの延伸、始発時間を早くする、本数を増やす 路線バス…八潮駅からレイクタウンまで運行してほしい
八條地区	ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	八條	一日も早くバスの事をお願い致します。今日は本当にありがとうございました
八條地区	ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	八條	いろいろ困難かと存じますが、少しでも便利で住みよい街になりますよう検討して下さいませ。特に、コミュニティバスの本数を増やすこと、「八潮団地止まり」なくして延長して頂くこと。
八條地区	ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	八條	コミュニティバスに乗車する方が多くなりますことを願います
八條地区	ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	八條	夢に終らず、実現してほしいと思います。八潮に住んで、20 年間発展していく街、すたれていく街!!バスの本数が増えていく事を祈ります。
八條地区	ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	八條	当「形式計画」に着手されたことを良く評価、感謝致します。尚一層、声なき声を汲み上げて、良い結果を期待しています。
八條地区	ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	八條	どうしても実現してほしいこと…八潮市のコミュニティバス(本数を増やす)、八潮団地→温水プール入口まで延長してもらいたい
八條地区	ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	緑町二丁目	渋滞解消のため道路整備もお願いします。(バス路線の中には運転しづらそうな箇所も多いので、道路の拡張等もお願いします)
八條地区	八條公民館	伊草団地	伊草団地では高齢化が進み公共交通の必要性が増しております。少なくとも現状を維持する様に願い、コミュニティバスの利用も可能にしたい。
八條地区	八條公民館	鶴ヶ曽根	八潮市内のコミバスの経路や本数、時間など地図も含めて市民にもっと知らせるべきだと思います。住民向けの路線バス、コミバスの活用に向けての希望・要望を聞くアンケートなど実施してみてはどうでしょうか。
八條地区	八條公民館	鶴ヶ曽根	財政負担をどこまでするか(出来るか)という事でしょう。
八條地区	八條公民館	鶴ヶ曽根	TX の混雑解消、増便、改札の二か所化、高齢者用パスの発行(コミュニティバス)
八條地区	八條公民館	鶴ヶ曽根	市内でのバス路線(病院、市役所)
八條地区	八條公民館	八條	北ルートをどうにかしてほしい！越谷レイクタウン駅までのバスがほしい！本数が少ないので利用したくてもできない！高齢者へのバス代変更

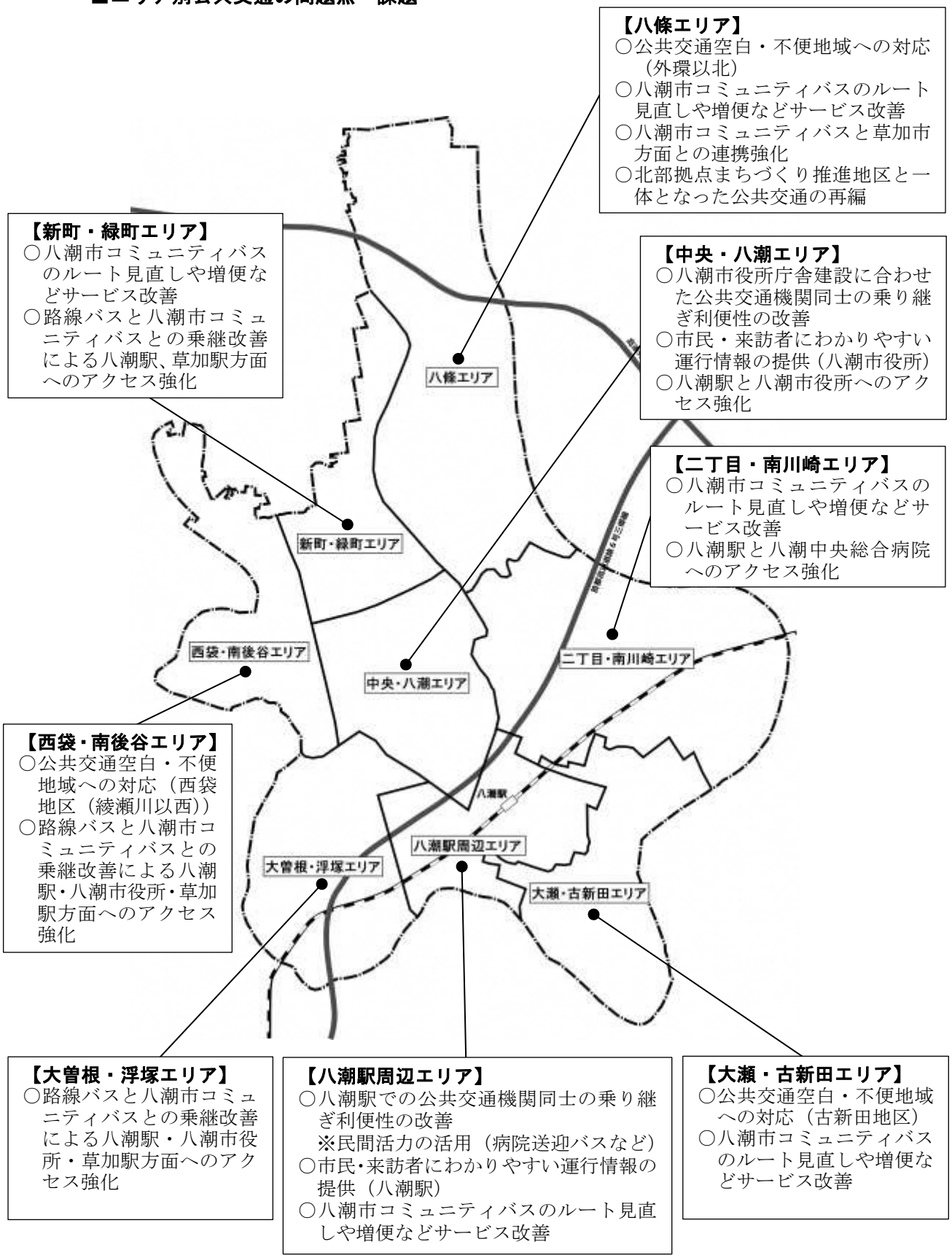
地区	場所	住まい	意見・要望
八條地区	八條公民館	八潮団地	レイクタウン駅行のバス路線の早期開設を望みます。(八潮団地→八條八幡神社→レイクタウンを通って行く)それには道幅の問題がありますが、東埼玉道路を通ればあまり意味がないと思います。
潮止地区	古新田公民館	大瀬	バスの時間、バス停
潮止地区	古新田公民館	大瀬	バス停を大瀬にもう一ヵ所ふやしてほしい。古新田のバス停２つが近すぎると思う。
潮止地区	古新田公民館	大瀬	コミュニティバスは、回数が増えてくれたらと願っています。
潮止地区	古新田公民館	大瀬	バスの本数多く
潮止地区	古新田公民館	大瀬	松戸草加線の歩道の改善が切実。午前中の医者通院に間に合うコミュバスの始発を！高齢者が外で交流しやすい環境をつくることは病気予防にもなり、市の財政にも影響するのではないか。公共機関をつなぐバスもほしい
潮止地区	古新田公民館	大瀬	古新田から市役所直通がほしい
潮止地区	古新田公民館	大瀬	路線バスを小型化してこまめに回ってほしい。
潮止地区	古新田公民館	大瀬	コミュニティバスを９時台にほしい
潮止地区	古新田公民館	大瀬	八潮駅行きのバスの本数を増やしてほしい。バス通りの歩道の整備を。
潮止地区	古新田公民館	大瀬	ほんとに良くしてほしい。皆様がわくわくする様にして下さい。
潮止地区	古新田公民館	古新田	コミュニティバスの利便性をあげてほしい。
潮止地区	古新田公民館	古新田	この地区は、区画整理事業が大切だと思う。
潮止地区	古新田公民館	古新田	バス停間の時間がほしい
潮止地区	古新田公民館	古新田	コミュニティバスの件、一日も早く実行してもらいたいです
潮止地区	古新田公民館	垰	①潮止橋の歩道は自転車と共用ではないのに、共用状態で小さな事故の原因になっている。②コミュバスはダイヤが午後に偏っていて、午前中は殆んど利用できないので、午後は空気を運んでいるようだ。もっと利用しやすいようにダイヤを変更すべきではないか。③北口発市役所経由のバスが平日・祝祭日ともに少なすぎる。④八潮市南部から八條公民館、やしお寿苑特養杜の家へはバス利用が全く出来ない
潮止地区	ゆまにて	木曽根	コミュニティバスの情報が欲しい。
潮止地区	ゆまにて	二丁目	バスルート図がわかりづらい。
潮止地区	ゆまにて	南川崎	市の道路状況に合った小型バスを利用、小型車両の通行
潮止地区	ゆまにて	南川崎	近くにコミュニティバス停が(コース)出来るのを速みたい
潮止地区	ゆまにて	八潮一丁目	問題点の抽出、動機づけをしっかりすべきだと思う。例…交通量、福祉行政との関連性、運行会社の採算性の根拠等。
潮止地区	ゆまにて	垰	ワークショップも大切ですが、移動に困っている人からのヒアリングをするのもいいかと思います。車がなくても移動しやすい方法を(シェアサイクル、白タクアプリ等)考えていけばいいと思います。
潮止地区	ゆまにて	垰	お年寄りに運転させないのが一つの目標に路線バス、コミュニティバス、タクシーを有効利用していただけるようルート、運転回数、利用料金を低料金でお願いできれば。町会員の意見を多く聞き、取り上げられればと思います。
八幡地区	八幡公民館	浮塚	都県境のため行政が遅れている？草加駅行直行バスがない
八幡地区	八幡公民館	浮塚	コミバスが通ってないので通ってほしい。本数も多くして。市内を自由に行き来できるようにしてほしい(買い物、病院等)
八幡地区	八幡公民館	大曽根	今はお年寄りが多いですが今後は若い人の利用出来る様にすると良いと思います
八幡地区	八幡公民館	大曽根	高齢者・障がい者の利用しやすいノンステップバスの増便も検討してほしい。

地区	場所	住まい	意見・要望
八幡地区	八幡公民館	大曽根	色々と要望が出た中で少しでも改善してほしいと思います
八幡地区	八幡公民館	大曽根	路線、コミュニティとも、昼間の時間帯は乗客が少ない。2-3 人の時が多いので(路線は中型、コミュニティは小型)車両運行の検討をお願いしたい。
八幡地区	八幡公民館	大曽根	今は車を運転していますが、年齢を重ねた時は公共交通機関を使うことになると思っています。今のままでは不安です。年金生活になると交通費のことも心配だし、路線バスのバス停までも少し歩くし、コミュバスのバス停は割と近いので、便利になれば利用すると思います。
八幡地区	八幡公民館	中央四丁目	安心して運転免許証返納ができるよう、バスタクシー福祉交通のシステム構築をしてもらいたい。交通は市民にとって生活の根幹に関わることである。行政全体の問題として行って欲しい
八幡地区	八幡公民館	西袋	コミバスのルート、運賃などがわからない。東武バスとコミバスの乗り継ぎをよくしてほしい。八潮駅⇔谷塚駅を運行してほしい。高齢者(70 歳以上)の運賃割引をしてほしい。つくば TX の増車をしてほしい
八幡地区	八幡公民館	西袋	区画整理(柳の宮橋)の進展を希望します。
八幡地区	八幡公民館	西袋	コミバスが川西には通っていない。通して欲しい
八幡地区	八幡公民館	緑町四丁目	路線バスの本数を増やして頂き安心・安全の公共交通を目指してほしい
八幡地区	八幡公民館	八潮三丁目	目的地までのバスルート乗場時間をスマホで検索できないか 。八潮駅混雑緩和のためにも地下鉄８号線の早期開業を！
市全域	メセナ	上二丁目	路線バスもとても便利に利用させて頂いております。
市全域	メセナ	新町	公共交通について市民レベルで勉強できて、それを今後の計画策定に活かして頂きたい。 (町会レベルでの学習会が必要ではないか)
市全域	メセナ	鶴ヶ曽根	コミュニティバスのコースを増やす、本数を増やす(老人になると、バス停に行くまでが大変なため)
市全域	メセナ	二丁目	コミュニティバスのコースと本数を増やしてほしい。
市全域	メセナ	二丁目	コースを増やすと助かります。
市全域	メセナ	八條	北周りバスの八潮団地止まりを外環以北にも運行して下さい。生涯学習都市宣言の八潮市でありながら、楽習館、図書館(八條、八幡)、他への足の便が不自由、不便極まりない
市全域	メセナ	八條	北ルート 03 を使用しますが、本数が少ないので困っています。地域の方は非常に何とかならないかといつも意見が出ています。レイクタウン方面の道路のため、時間がかかる。特に八潮団地からレイクタウンに行くバスの運行を希望！
市全域	メセナ	緑町五丁目	八潮駅で「川に抱かれて」市歌を流してほしいです。シルバー人材へコミバスを回ってほしいです。
市全域	メセナ	南後谷	モノレールを！地下鉄推進が進展の故、しかし、空中景色も売りに出せるモノレールを！舎人ライナー→草加→八潮
市全域	メセナ	八潮団地	この場に来られない人の意見を取り入れてほしい。送迎して欲しい（会議に参加するため）

3　公共交通の問題点･課題の整理

八潮市の地域特性と公共交通の現状把握や、公共交通利用者等ニーズ調査結果などを踏まえ、公共交通の問題点及び課題を整理する。

■エリア別公共交通の問題点・課題



【参考】地区別公共交通の問題点・課題

【八條エリア】

<table>
<tr><td colspan="2">地区概況
※人口：各年４月１日現在
（住民基本台帳）</td><td>○人口…平成 26 年：10,774 人→平成 30 年：10,449 人
《主要施設立地状況》
<table><tr><td>公共施設</td><td>やしお生涯楽習館、コミュニティセンター、すえひろ荘、エイトアリーナ、八條公民館・図書館</td></tr><tr><td>大規模店舗</td><td>ベルク八潮鶴ヶ曽根店</td></tr><tr><td>医療施設</td><td>広瀬病院、八潮病院</td></tr><tr><td>高校</td><td>八潮高校</td></tr></table>《都市基盤整備の進捗状況》
○「北部拠点まちづくり推進地区」で（仮称）外環八潮パーキングエリアの整備と併せ、（仮称）外環八潮スマートインターチェンジの整備や流通業務施設などの誘導を計画中。
《地域包括支援センター》　北部地域包括支援センター：やしお寿苑</td></tr>
<tr><td colspan="2">公共交通の現状</td><td>○八潮駅や草加駅、獨協大学前駅方面の路線バスや、八潮市コミュニティバス（北ルート）が運行中。
○公共交通空白地域は市境界の一部エリアで存在。
○外環以北で公共交通不便地域が存在し、八潮市コミュニティバス（北ルート）のみで、便数も８便（日中２時間以上の間隔もある）と少ない。
○市域から約 250ｍの距離に、草加市コミュニティバス「パリポリくんバス北東ルート」（便数：25 便/日）や路線バスが運行中。
○広瀬病院、八潮病院で送迎バスを運行中。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">市民
アンケート
調査</td><td>移動の
困り具合</td><td>○外出時に「困ることがよくある」と「困ることがたまにある」と回答した方の合計は 44.1%と、８エリアの中で最も高い。
○その行き先は、「草加駅方面《草加市》」、「越谷レイクタウン《越谷市》」、「八潮駅から市外」へ移動する際に困っている回答が多い。</td></tr>
<tr><td>公共交通
の利用意向</td><td>○公共交通で行きたい場所は、「越谷レイクタウン《越谷市》」、「ららぽーと新三郷《三郷市》」、「八潮駅から市外」と、困っている行き先として多かった草加駅方面は５番目と低い。</td></tr>
<tr><td colspan="2">民生委員・児童委員
ｱﾝｹｰﾄ調査の主な意見</td><td>○路線バスを増便して欲しい。（八條、鶴ヶ曽根）
○八條から市役所や八潮中央総合病院、越谷レイクタウンへ直接行くバスが欲しい。（八條、小作田）
○コミュニティバスの便数が少ない。（鶴ヶ曽根、小作田）</td></tr>
<tr><td colspan="2">地域会議の主な意見</td><td>○路線バスは運行本数の増便、越谷レイクタウンへの乗入れ（新設）、終バスの拡大（草加駅）といった意見が多い。
○八潮市コミュニティバスは八潮団地止まりの延伸、運行本数の増便（市民温水プール回り）、料金の低廉化、ルート変更（草加駅、市役所）といった意見が多い。</td></tr>
<tr><td colspan="2">公共交通の問題点・課題</td><td>○公共交通空白・不便地域への対応（外環以北）
○八潮市コミュニティバスのルート見直しや増便などサービス改善
○八潮市コミュニティバスと草加市方面との連携強化
○北部拠点まちづくり推進地区と一体となった公共交通の再編</td></tr>
</table>

【新町・緑町エリア】

<table>
<tr><td colspan="2">地区概況
※人口：各年４月１日現在
（住民基本台帳）</td><td>○人口…平成 26 年：12,277 人→平成 30 年：12,111 人
《主要施設立地状況》
<table><tr><td>公共施設</td><td>－</td></tr><tr><td>大規模店舗</td><td>マミーマート八潮伊草店、おっ母さん食品館八潮店</td></tr><tr><td>医療施設</td><td>－</td></tr><tr><td>高校</td><td>－</td></tr></table>**《都市基盤整備の進捗状況》**
○稲荷伊草第二土地区画整理事業（計画人口：1,600 人、事業施行期間：昭和 58 年度～令和６年度）が整備中。
《地域包括支援センター》
西部地域包括支援センター：ケアセンター八潮</td></tr>
<tr><td colspan="2">公共交通の現状</td><td>○八潮駅や草加駅、獨協大学前駅方面の路線バスや、エリア南側境界部に八潮市コミュニティバス（西ルート）が運行中で、公共交通空白地域は無い。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">市民
アンケート
調査</td><td>移動の
困り具合</td><td>○外出時に「困ることがよくある」と「困ることがたまにある」と回答した方の合計は 39.5%と、８エリアの中で２番目に高い。
○その行き先は、「越谷レイクタウン《越谷市》」、「八潮駅から市外」、「草加駅方面《草加市》」へ移動する際に困っている回答が多い。</td></tr>
<tr><td>公共交通
の利用意向</td><td>○公共交通で行きたい場所は「越谷レイクタウン《越谷市》」、「ららぽーと新三郷《三郷市》」、「ピアラシティ《三郷市》」が多い。</td></tr>
<tr><td colspan="2">民生委員・児童委員
ｱﾝｹｰﾄ調査の主な意見</td><td>○路線バスやコミュニティバスのルートや乗り継ぎなどが分かり難い。（伊草、新町）
○八潮中央総合病院へ直接行くバスが欲しい。（新町）
○バスの本数とバス停を増やして欲しい。（緑町１～５丁目）</td></tr>
<tr><td colspan="2">地域会議の主な意見</td><td>○伊草団地は高齢化が進み、公共交通の必要性が増しており、少なくとも現状維持して欲しい。
○路線バスの運行本数の増便や、八潮市コミュニティバスのシルバー人材センターへのルート変更といった意見が挙がっている。</td></tr>
<tr><td colspan="2">公共交通の問題点・課題</td><td>○八潮市コミュニティバスのルート見直しや増便などサービス改善
○路線バスと八潮市コミュニティバスとの乗継改善による八潮駅、草加駅方面へのアクセス強化</td></tr>
</table>

【二丁目・南川崎エリア】

<table>
<tr><td colspan="2">地区概況
※人口：各年４月１日現在
（住民基本台帳）</td><td>○人口…平成 26 年：12,665 人→平成 30 年：13,446 人
《主要施設立地状況》
<table><tr><td>公共施設</td><td>ゆまにて、寿楽荘</td></tr><tr><td>大規模店舗</td><td>－</td></tr><tr><td>医療施設</td><td>八潮中央総合病院</td></tr><tr><td>高校</td><td>八潮南高校</td></tr></table>**《都市基盤整備の進捗状況》**
○八潮南部東一体型特定土地区画整理事業（計画人口：9,100 人、事業施行期間：平成９年度～令和６年度）が整備中。
《地域包括支援センター》　南部地域包括支援センター：やしお苑</td></tr>
<tr><td colspan="2">公共交通の現状</td><td>○八潮駅や草加駅方面の路線バスや、八潮市コミュニティバス（北ルート）が運行中で、公共交通空白地域は市境界の一部エリアで存在。
○八潮中央総合病院で八潮駅と草加駅から無料送迎バス（運賃：無料）を運行中。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">市民
アンケート
調査</td><td>移動の
困り具合</td><td>○外出時に「困ることがよくある」と「困ることがたまにある」と回答した方の合計は 39.4%と、８エリアの中で３番目に高い。
○その行き先は、「八潮駅から市外」、「越谷レイクタウン《越谷市》」、へ移動する際に困っている回答が多い。</td></tr>
<tr><td>公共交通
の利用意向</td><td>○公共交通で行きたい場所は、「越谷レイクタウン《越谷市》」、「ららぽーと新三郷《三郷市》」、「八潮駅から市外」が多い。</td></tr>
<tr><td colspan="2">民生委員・児童委員
ｱﾝｹｰﾄ調査の主な意見</td><td>○八潮駅北口行きの路線バスを増便して欲しい。（二丁目）
○病院へ行きやすいバスが欲しい。（二丁目）
○八潮市コミュニティバスを増便して欲しい。（木曽根）
○八潮市コミュニティバスを運行して欲しい。（南川崎）
○市役所方面のバスが欲しい。（南川崎）</td></tr>
<tr><td colspan="2">地域会議の主な意見</td><td>○路線バスの運行本数の増便に対する意見が多い。
○八潮市コミュニティバスは情報提供の充実（情報が少ない）、ルート変更（南川崎や木曽根、駅まで最短ルート）、車両の小型化、運行本数の増便といった意見が多い。
○タクシーの高齢者割引運賃、タクシー券の発行といった意見が多い。</td></tr>
<tr><td colspan="2">公共交通の問題点・課題</td><td>○八潮市コミュニティバスのルート見直しや増便などサービス改善
○八潮駅と八潮中央総合病院へのアクセス強化</td></tr>
</table>

【大瀬・古新田エリア】

<table>
<tr><td colspan="2">地区概況
※人口：各年４月１日現在
（住民基本台帳）</td><td>○人口…平成 26 年：13,659 人→平成 30 年：10,635 人
《主要施設立地状況》
<table><tr><td>公共施設</td><td>－</td></tr><tr><td>大規模店舗</td><td>－</td></tr><tr><td>医療施設</td><td>－</td></tr><tr><td>高校</td><td>－</td></tr></table>**《都市基盤整備の進捗状況》**
○大瀬古新田土地区画整理事業（計画人口：6,300 人、事業施行期間：昭和 63 年度～令和 13 年度）が整備中。</td></tr>
<tr><td colspan="2">公共交通の現状</td><td>○八潮駅や草加駅、松戸駅、金町駅、亀有駅方面の路線バスや、八潮市コミュニティバス（西ルート）が運行中。
○公共交通空白地域は市境界の一部エリアで存在し、古新田地区で公共交通不便地域が存在し、八潮市コミュニティバス（西ルート）のみで、便数も５便と少ない。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">市民
アンケート
調査</td><td>移動の
困り具合</td><td>○外出時に「困ることがよくある」と「困ることがたまにある」と回答した方の合計は 30.3%と、８エリアの中で６番目と低い。
○その行き先は、「八潮駅から市外」、「八潮市役所」へ移動する際に困っている回答が多い。</td></tr>
<tr><td>公共交通
の利用意向</td><td>○公共交通で行きたい場所は、「越谷レイクタウン《越谷市》」、「ららぽーと新三郷《三郷市》」、「八潮駅から市外」が多い。</td></tr>
<tr><td colspan="2">民生委員・児童委員
ｱﾝｹｰﾄ調査の主な意見</td><td>○八潮市コミュニティバスについて運行経路の見直しとバス停の増設、運行本数の増便、運賃の低廉化をして欲しい。（古新田）
○八潮市コミュニティバスを増便して欲しい。（大瀬）</td></tr>
<tr><td colspan="2">地域会議の主な意見</td><td>○路線バスは運行本数の増便（朝、夕）やルート変更（健和病院等）といった意見が多い。
○八潮市コミュニティバスは運行本数の増便（特に午前中（通院に間に合うように）やバス停の増設、車両の小型化によるきめ細かな運行といった意見が多い。
○タクシーの高齢者割引運賃、タクシー券の発行といった意見が多い。
○乗合タクシーの導入に対する意見が多い。</td></tr>
<tr><td colspan="2">公共交通の問題点・課題</td><td>○公共交通空白・不便地域への対応（古新田地区）
○八潮市コミュニティバスのルート見直しや増便などサービス改善</td></tr>
</table>

【八潮駅周辺エリア】

<table>
<tr><td colspan="2">地区概況
※人口：各年４月１日現在
（住民基本台帳）</td><td>○人口…平成 26 年：2,567 人→平成 30 年：10,054 人
《主要施設立地状況》
<table><tr><td>公共施設</td><td>駅前出張所</td></tr><tr><td>大規模店舗</td><td>フレスポ八潮、アコレ八潮ＴＸ店、ヤオコー八潮店</td></tr><tr><td>医療施設</td><td>埼玉回生病院</td></tr><tr><td>高校</td><td>－</td></tr></table>**《都市基盤整備の進捗状況》**
○八潮南部西一体型特定土地区画整理事業（計画人口：10,400 人、事業施行期間：平成９年度～令和 12 年度）が整備中。
《地域包括支援センター》　南部地域包括支援センター：埼玉回生病院</td></tr>
<tr><td colspan="2">公共交通の現状</td><td>○つくばエクスプレス・八潮駅があり、路線バスや八潮市コミュニティバスの起終点となっており、市の重要な交通結節点がある。
○公共交通空白地域はない。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">市民
アンケート
調査</td><td>移動の
困り具合</td><td>○外出時に「困ることがよくある」と「困ることがたまにある」と回答した方の合計は 25.5%と、８エリアの中で最も低い。
○その行き先は、「八潮駅から市外」へ移動する際に困っている回答が多い。
※困っていると回答した方は若年層（40 歳未満：60.8%）で、自動車を持っておらず、最寄りバス停までの遠い方（徒歩所要時間が 10 分以上：39.1%）の割合が多い。</td></tr>
<tr><td>公共交通
の利用意向</td><td>○公共交通で行きたい場所は、「越谷レイクタウン《越谷市》」、「ららぽーと新三郷《三郷市》」が多い。</td></tr>
<tr><td colspan="2">民生委員・児童委員
ｱﾝｹｰﾄ調査の主な意見</td><td>○八潮市コミュニティバスについて午前で増便して欲しい。（大原）
○八潮市コミュニティバスは小型化し、増便したらどうか。（大瀬１～６丁目）</td></tr>
<tr><td colspan="2">地域会議の主な意見</td><td>○路線バス、コミュニティバス、タクシーを有効利用するよう、運賃を低廉化して欲しい。
○八潮市コミュニティバスはダイヤの見直し（特に午前中）や、市役所経由の運行本数の増便、八條公民館、やしお寿苑へアクセスを改善して欲しい。
○八潮駅でタクシーの深夜時間帯の台数が少ない、料金が高い。</td></tr>
<tr><td colspan="2">公共交通の問題点・課題</td><td>○八潮駅での公共交通機関同士の乗り継ぎ利便性の改善
※民間活力の活用（病院送迎バスなど）
○市民・来訪者にわかりやすい運行情報の提供（八潮駅）
○八潮市コミュニティバスのルート見直しや増便などサービス改善</td></tr>
</table>

【中央・八潮エリア】

<table>
<tr><td colspan="2">地区概況
※人口：各年４月１日現在
（住民基本台帳）</td><td>○人口…平成 26 年：15,088 人→平成 30 年：14,967 人
《主要施設立地状況》
<table><tr><td>公共施設</td><td>八潮市役所、八潮メセナ、文化スポーツセンター、だいばら児童館、保健センター、八幡公民館・図書館</td></tr><tr><td>大規模店舗</td><td>ビック・エー八潮店、マルエツ八潮店、いなげや八潮中馬場店</td></tr><tr><td>医療施設</td><td>－</td></tr><tr><td>高校</td><td>－</td></tr></table>
《都市基盤整備の進捗状況》
○八潮市役所庁舎建設が事業中で、令和５年度までに整備目標。</td></tr>
<tr><td colspan="2">公共交通の現状</td><td>○八潮駅や草加駅、綾瀬駅方面の路線バスや、八潮市コミュニティバス（北ルート、西ルート）が運行中で、公共交通空白地域はない。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">市民
アンケート
調査</td><td>移動の
困り具合</td><td>○外出時に「困ることがよくある」と「困ることがたまにある」と回答した方の合計は 29.8%と、８エリアの中で２番目に低い。
○その行き先は、「八潮駅から市外」、「越谷レイクタウン《越谷市》」、へ移動する際に困っている回答が多い。</td></tr>
<tr><td>公共交通
の利用意向</td><td>○公共交通で行きたい場所は、「越谷レイクタウン《越谷市》」、「ららぽーと新三郷《三郷市》」、「八潮駅から市外」が多い。</td></tr>
<tr><td colspan="2">民生委員・児童委員
ｱﾝｹｰﾄ調査の主な意見</td><td>○この地区はフレスポ八潮などがあるため、日常生活にあまり不便がない。（八潮１～８丁目）
○主要な医療機関のみを回るコミュニティバスがあると便利。（八潮１～８丁目）</td></tr>
<tr><td colspan="2">地域会議の主な意見</td><td>○路線バスは終バスダイヤの延長（草加駅から）、運行時間帯による車両の変更（朝・夕：大型、昼間：中型）、ルート変更（草加駅方面）、市役所方面への増便、コミュニティバスとの乗換え改善、車両のバリアフリー化といった意見が多い。
○八潮市コミュニティバスは運行本数の増便、ルート変更・追加、ルートの分かり難さの改善といった意見が多い。
○乗合タクシーの導入に対する意見が多い。</td></tr>
<tr><td colspan="2">公共交通の問題点・課題</td><td>○八潮市役所庁舎建設に合わせた公共交通機関同士の乗り継ぎ利便性の改善
○市民や来訪者にわかりやすい運行情報の提供（八潮市役所）
※現状バス停は市役所周辺に分散し、配置
○八潮駅と八潮市役所へのアクセス強化</td></tr>
</table>

【大曽根・浮塚エリア】

<table>
<tr><td colspan="2">地区概況
※人口：各年４月１日現在
（住民基本台帳）</td><td>○人口…平成 26 年：10,037 人→平成 30 年：9,911 人
《主要施設立地状況》
<table><tr><td>公共施設</td><td>－</td></tr><tr><td>大規模店舗</td><td>ザ・ビック八潮南店</td></tr><tr><td>医療施設</td><td>－</td></tr><tr><td>高校</td><td>－</td></tr></table>《都市基盤整備の進捗状況》：無</td></tr>
<tr><td colspan="2">公共交通の現状</td><td>○八潮駅や綾瀬駅方面の路線バスや、八潮市コミュニティバス（西ルート）が運行中で、公共交通空白地域は市境界の一部エリアで存在。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">市民
アンケート
調査</td><td>移動の
困り具合</td><td>○外出時に「困ることがよくある」と「困ることがたまにある」と回答した方の合計は 35.2%と、８エリアの中で５番目と、市平均並みとなっている。
○その行き先は、「八潮駅から市外」へ移動する際に困っている回答が多い。</td></tr>
<tr><td>公共交通
の利用意向</td><td>○公共交通で行きたい場所は、「越谷レイクタウン《越谷市》」、「ららぽーと新三郷《三郷市》」が多い。</td></tr>
<tr><td colspan="2">民生委員・児童委員
ｱﾝｹｰﾄ調査の主な意見</td><td>○行きたい場所へバスで行けない。草加駅まで乗換えなしで行きたい。（浮塚）
○八潮中央総合病院へ直接行けるバスが欲しい。（浮塚）
○地区内にスーパーがなく、不便なため、地区内を巡回するバスが欲しい。（浮塚）
○八潮市コミュニティバスについて市役所まで増便して欲しい。（浮塚）
○八潮市コミュニティバスを運行して欲しい。（浮塚）
○駅までの路線バスを増便して欲しい。（大曽根）</td></tr>
<tr><td colspan="2">地域会議の主な意見</td><td>○草加駅行きの路線バスを新設して欲しい。
○八潮市コミュニティバスはルート変更して欲しい（運行していない）。
○路線バスと八潮市コミュニティバスは、高齢者・障がい者が利用しやすいノンステップバスの増便、車両の小型化（昼間時間帯で利用者が少ない）といった意見が挙がっている。
○買物、通院目的で市内を自由に行き来できるよう、公共交通を充実して欲しい。</td></tr>
<tr><td colspan="2">公共交通の問題点・課題</td><td>○路線バスと八潮市コミュニティバスとの乗継改善による八潮駅・八潮市役所・草加駅方面へのアクセス強化</td></tr>
</table>

【西袋・南後谷エリア】

<table>
<tr><td colspan="2">地区概況
※人口：各年４月１日現在
（住民基本台帳）</td><td>○人口…平成 26 年：7,869 人→平成 30 年：7,639 人
《主要施設立地状況》
<table><tr><td>公共施設</td><td>資料館</td></tr><tr><td>大規模店舗</td><td>－</td></tr><tr><td>医療施設</td><td>－</td></tr><tr><td>高校</td><td>－</td></tr></table>**《都市基盤整備の進捗状況》**
○西袋上馬場土地区画整理事業（計画人口：3,900 人、事業施行期間：平成８年度～令和４年度）が整備中。</td></tr>
<tr><td colspan="2">公共交通の現状</td><td>○八潮駅や草加駅方面の路線バスや、エリア西側境界部に八潮市コミュニティバス（西ルート）が運行中で、公共交通空白地域は西袋地区（綾瀬川以西）で存在。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">市民
アンケート
調査</td><td>移動の
困り具合</td><td>○外出時に「困ることがよくある」と「困ることがたまにある」と回答した方の合計は 36.1%と、８エリアの中で４番目に高い。
○その行き先は、「草加駅方面《草加市》」、「八潮市役所」へ移動する際に困っている回答が多い。</td></tr>
<tr><td>公共交通
の利用意向</td><td>○公共交通で行きたい場所は、「越谷レイクタウン《越谷市》」、「ららぽーと新三郷《三郷市》」、「草加駅方面《草加市》が多い。</td></tr>
<tr><td colspan="2">民生委員・児童委員
ｱﾝｹｰﾄ調査の主な意見</td><td>○八潮駅へ行くのが不便。（西袋）
○市役所経由の便が少ない。（南後谷）</td></tr>
<tr><td colspan="2">地域会議の主な意見</td><td>○路線バスと八潮市コミュニティバスとの乗継ぎを改善して欲しい。
○八潮駅と谷塚駅を結ぶ路線バスを新設して欲しい。
○八潮市コミュニティバスはルート変更、運行情報提供や高齢者割引の導入といった意見が挙がっている。</td></tr>
<tr><td colspan="2">公共交通の問題点・課題</td><td>○公共交通空白・不便地域への対応（西袋地区（綾瀬川以西））
○路線バスと八潮市コミュニティバスとの乗継改善による八潮駅・八潮市役所・草加駅方面へのアクセス強化</td></tr>
</table>

【八潮市の地域特性及び公共交通の現状】

《地域特性》

○平成 31 年４月１日現在、総人口は 91,148 人で、平成 17 年のつくばエクスプレスの開通以降増加しており、「第５次八潮市総合計画（平成 28 年３月）」で令和７年の将来目標人口は 10 万人と設定。
○高齢化率は平成 27 年が 22.1%に対し、平成 31 年が 22.8%とゆるやかに上昇しており、全国（28.1%）、埼玉県（26.4%）（平成 30 年 10 月１日時点、令和元年度高齢者白書）と比べ低いものの、高齢化している。
○八潮駅周辺や市の中央部の市役所周辺などに商業施設や公共施設などが集積しているものの、市全域に分散しており、これら施設へ公共交通で移動する際、乗り継ぎが発生。
○土地区画整理事業（６地区）や、八潮市役所庁舎建設、北部拠点まちづくり推進地区など新たなまちづくりが推進。

《公共交通の現状》

○鉄道（八潮駅）の利用者数は増加傾向で、つくばエクスプレスの混雑緩和対策として、朝ラッシュ時の増便（令和２年春）や８両編成化事業（2030 年代前半）が今後実施予定。
○路線バスと八潮市コミュニティバスの利用者数は横ばい傾向。
○八潮市コミュニティバスの赤字額は約 2,400 万円で、直近５年間の収支率は５割前後で横ばい状態。
○北部地域（八條）や西袋、古新田など一部地域で公共交通空白・不便地域が複数箇所存在。

【ニーズ調査】

《市民アンケート調査》

○「買い物」や「遊び・趣味・習い事など」、「通院」目的で外出する際、３人に１人（35.3%）が困っており、八條エリアや新町・緑町エリア、二丁目・南川崎エリアで困り具合が高い。
○運行サービスに対する満足度は、鉄道が「乗り継ぎのしやすさ」、路線バスが「運行本数」と「運行時間帯」で不満度が高い。
○公共交通機関が運行された場合、「越谷レイクタウン《越谷市》」や「ららぽーと新三郷《三郷市》」、「ピアラシティ《三郷市》」、「草加駅方面《草加市》」など市外への移動ニーズが高い。その利用目的は買い物、金融機関利用及び公共施設利用で、利用頻度は「月に２～３日程度」、「年に数日程度」と低頻度が多い。
○公共交通の利用促進は、「公共交通マップの作成・配布」（42.9%）や「自動車運転免許証返納者への公共交通割引制度などの導入」（42.4%）に対する回答が多い。

《公共交通利用者実態調査》

○路線バスは「運行ルート（行き先）」で満足率が高いものの、「運行本数」、「運行時間帯」で不満率が高い。コミュニティバスは不満率より満足率の方が高い。
○路線バス、八潮市コミュニティバスともに「運行本数」や「運行時間帯」に対する改善要望が多く、路線バス利用者からは「バス停の待合環境（ベンチ、屋根）の設置」や、「路線バス同士の乗り継ぎ時間の短縮や運賃割引の導入」に対する回答も多い。

《主要施設利用者アンケート調査（医療施設：３箇所、大規模店舗：２箇所、公共施設：４箇所）》

○施設への交通手段は、「車（自分で運転）」や「自転車」が多いが、医療施設で「車（家族等の送迎・同乗）」割合が約２割と多い。
○施設への不便度は、八潮中央総合病院、八潮市役所・メセナ、すえひろ荘で３割を超えて高く、運転免許証が有る方より無い方の方が高い。
○公共交通の改善点は、「特になし」と回答した方の割合は商業施設２店舗で多いものの、すえひろ荘、八潮市役所・メセナ、八潮中央総合病院では少なく、改善に対する意見が多い。

《交通事業者・関係団体アンケート調査》

○鉄道事業者で、利用者等から運行本数の増便や混雑緩和、ラッシュ時間帯の遅延等の意見・要望が多い。混雑緩和対策として企業の時差通勤の推進を期待。
○路線バスやタクシーで乗務員不足が課題。乗務員不足の改善に向け、合同企業説明会の開催や行政からの紹介等を期待されている。通勤・通学時間帯の橋梁部等で渋滞により遅延発生。
○関係団体より、コミュニティバスのルート拡大や増便、運行経路の分かり難さの改善、市役所やレイクタウン方面へのアクセス改善、乗り継ぎの改善などの意見が寄せられている。

《民生委員・児童委員アンケート調査》

○運行本数の増便や、市役所や八潮中央総合病院、草加駅等へのアクセス改善、コミュニティバスの見直し（ダイヤ、ルートなど）、高齢者運賃割引などの意見が多い。
○八條、鶴ヶ曽根、古新田、南川崎、大曽根など市境部分や市の中央などで困っている方・不便を感じている方が多い。

《地域会議（八條地区、潮止地区、八幡地区、市内全域）》

○つくばエクスプレスに対する朝の混雑対策や快速運行、料金の低廉化などや、地下鉄８号線の早期実現といった意見が多い。
○路線バスに対してはルート再編（草加駅、越谷レイクタウン等）や増便など、コミュニティバスに対してはルートの再検討（駅へ最短ルート等）や増便（午前中）、ルートの分かり難さなどが、タクシーに対しては高齢者割引運賃、タクシーチケットや乗合タクシーの導入といった意見が多い。

公共交通の問題点及び課題

①高齢者・障がい者など交通弱者への対応

②公共交通機関同士の乗り継ぎ利便性の改善

③広域アクセスに留意し、需要の変化に対応した移動手段の確保

④八潮駅と主要施設へのアクセス強化

⑤公共交通空白・不便地域への対応

⑥八潮市コミュニティバスの見直し・改善

⑦市民・来訪者に分かりやすい運行情報の提供や利用促進に向けた市民意識の醸成

⑧多様な主体の連携による持続可能性の確保

①高齢者・障がい者など交通弱者への対応【市全域】

八潮市は、鉄道駅の開業以降、総人口が年々増加しており、今後もその傾向は継続する見込みであるが、高齢化率は平成 27 年が 22.1%に対し、平成 31 年が 22.8%とゆるやかに上昇している。

障がい者（手帳所持者）は平成 31 年４月１日時点で 3,580 人で、総人口の約 3.9%となっており、平成 27 年の 3,200 人と比べて、380 人増加している。

市内の人身事故件数は減少傾向（平成 26 年：528 件→平成 30 年：343 件）にあるものの、県内で発生している 75 歳以上の高齢者ドライバーによる交通事故は増加（平成 26 年：1,450 件→平成 30 年：1,650 件）しており、交通事故防止が重要課題となっている。また、市民アンケート調査では、公共交通の利用促進策として「自動車運転免許証返納者への公共交通割引制度などの導入」が 42.4%と二番目に高くなっている。

地域公共交通は、通勤、通学、通院、買い物及び公共施設利用などといった日常生活及び社会生活に不可欠な「地域の足」としての役割だけでなく、高齢者や障がい者などの交通弱者に対する交通事故防止及び外出機会の増加などの役割を担う必要がある。また、円滑に移動できるようにバリアフリー化の推進など公共交通の環境整備が必要である。

②公共交通機関同士の乗り継ぎ利便性の改善【八潮駅周辺エリア、中央・八潮エリア】

八潮市内の公共交通機関は鉄道、路線バス、八潮市コミュニティバス、タクシー及び高速バスの他、民間企業送迎バス、社会福祉協議会で実施中の送迎サービスなど多様な公共交通システムが運行されている。しかしながら、「八潮駅」に一極集中した公共交通ネットワークのため、市民の主な目的地である商業施設や医療機関などへ移動する場合、地域により八潮駅で乗換えが必要となっている。市民アンケート調査では、鉄道や路線バスの「乗り継ぎのしやすさ」に対する満足度で不満度が高くなっており、民生委員・児童委員アンケート調査では市役所などが立地する市の中央へのアクセス改善に対する意見が多くあった。

現在運行中の公共交通機関全体の満足度を高めるためには、現存する公共交通機関や民間活力を活用しつつ、それぞれの交通機関の機能を最大限に発揮できるよう、交通資源同士の利用のしやすい接続や乗り継ぎに関する負担の軽減、運行情報案内の充実、待合環境の改善など交通結節点の機能強化により、利便性の高い公共交通ネットワークを構築することが必要である。

③広域アクセスに留意し、需要の変化に対応した移動手段の確保【市全域】

八潮市では平成 17 年に八潮駅が開業し、都心方面へのアクセスの良さや、駅周辺の開発事業により商業施設などが進出するなどしたことから、人口は増加している。今後、シビックセンター拠点の形成に寄与する八潮市役所庁舎建設や、北部拠点まちづくりの推進など新たな交流と賑わいの創出が期待されるため、需要の変化に対応した移動手段の確保が重要である。

しかしながら、路線バスや八潮市コミュニティバス、タクシーの担い手である運転手の不足や高齢化は各事業者とも深刻で、現行のサービスを維持するのが精一杯の状況である。

そのため、市民ニーズが高い越谷市や三郷市、草加市など近隣市への広域アクセスに留意しつつ、人口動態やまちづくりの変化を捉え、需要の変化や利用ニーズに対応した公共交通ネットワークの構築が必要である。

④八潮駅と主要施設へのアクセス強化【八潮駅周辺エリア】

駅や公共施設、商業施設、病院などの主要施設は、八潮駅周辺や市役所周辺以外にも市全域に分散している。それらの施設を繋ぐように公共交通網は構築されているが、地域によっては、遠回りする運行ルートや乗換えが必要となっている。

市民アンケート調査では、市内の行きたい場所として八潮駅、八潮中央総合病院、市役所の順となっており、民生委員・児童委員アンケート調査や地域会議でも同様の意見が挙がっている。

そのため、公共交通ネットワークの交通結節点である八潮駅と市役所などの主要施設へのアクセス改善を図るよう、公共交通ネットワークの改善（ルート再編や交通モード同士の接続強化など）が必要である。

⑤公共交通空白・不便地域への対応【八條エリア、大瀬・古新田エリア、西袋・南後谷エリア】

八潮市内の公共交通は、つくばエクスプレスの開業に合わせて、八潮駅を起終点とした路線バスの再編や八潮市コミュニティバスの運行開始などが行われた。

しかしながら、北部地域（八條）や西袋、古新田など一部地域で公共交通空白地域（鉄道駅より半径１㎞以遠、バス停より半径 300m以遠）や公共交通不便地域が複数箇所点在しており、これらの地域について民生委員・児童委員アンケート調査や地域会議において、路線バス及び八潮市コミュニティバスの運行本数の増便やルート変更といった意見が多数寄せられている。

そのため、これらの地域で移動手段の確保を図り、公共交通空白・不便地域の解消に向けた取組みが必要である。

⑥八潮市コミュニティバスの見直し・改善【市全域】

八潮市コミュニティバスの利用者数は、通勤・通学が中心で、平日の朝・夕時間帯が最も多くなっている。それ以外の時間帯では、１便平均利用者数で１人未満のダイヤもあり、土日祝も利用者数が少ない傾向となっている。

八潮市コミュニティバス利用者実態調査では、運行本数や運行時間帯、運行ルートで不満度が高く、民生委員・児童委員アンケート調査及び地域会議でも運行本数が少ない八條地区（外環以北）や古新田地区などで同様の意見が多数寄せられている。

そのため、運行開始以降 10 年以上経過した八潮市コミュニティバスについて、改めて担うべき役割や対象者を明確化した上で、草加市など広域アクセスに留意しつつ、運行ルート、運行時間帯・便数などの見直し・改善を検討していく必要がある。

⑦市民・来訪者に分かりやすい運行情報の提供や利用促進に向けた市民意識の醸成【市全域】

市内を運行中の路線バスや八潮市コミュニティバスは、バス事業者や市ホームページ上に運行情報案内を掲載しているが、普段路線バスを使わない人や初めて来訪する人にとって行き先や乗り場などが分かりにくい状況である。

また、市民アンケート調査では、公共交通の利用促進策で「路線バスや八潮市コミュニティバスなどのルートや時刻表などを掲載した公共交通マップの作成・配布」が 42.9%と一番目に高く、関係団体アンケート調査や民生委員・児童委員アンケート調査でも運行ルートが分かり難いといった意見が寄せられている。

公共交通を次世代に繋ぐためには、市民の協力や利用促進による新たな利用者の獲得が不可欠なため、利用者目線に立った分かりやすい情報の提供・充実や、公共交通の利用者に対するより一層の意識の醸成が必要である。

⑧多様な主体の連携による持続可能性の確保【市全域】

交通事業者アンケート調査では、路線バス、八潮市コミュニティバス及びタクシー事業者で運転手の不足や高齢化が課題として挙がっており、公共交通を担う人材の確保が難しい状況にある。

一方で、市民アンケート調査では、公共交通に対する財政負担の考え方で「市が財政負担をし、主になって公共交通を充実していくことに加え、住民、企業などが協力し合って維持していくべきだ」が４割弱と高くなっている。

そのため、市民（地域）、交通事業者、行政が役割分担を図りながら、移動利便性の高い都市として八潮市のポテンシャルを最大限引き出すよう、課題①から⑦までの解決に取り組むとともに、多様な主体が連携するため市の公共交通の現状について理解を深めることにより、各地域に適した持続可能な仕組みづくりを構築することが必要である。

4　目指すべき公共交通の方向性

（１）公共交通の構築に係る基本的な方針

八潮市における公共交通は、次の４つの基本方針により、公共交通を必要とする人のための持続可能な公共交通網の構築を目指す。

【公共交通の基本理念】

まちのコミュニティをつなぐ
利用しやすい公共交通網の構築

【公共交通の問題点及び課題】

- ①高齢者・障がい者など交通弱者への対応
- ②公共交通機関同士の乗り継ぎ利便性の改善
- ③広域アクセスに留意し、需要の変化に対応した移動手段の確保
- ④八潮駅と主要施設へのアクセス強化
- ⑤公共交通空白・不便地域への対応
- ⑥八潮市コミュニティバスの見直し・改善
- ①高齢者・障がい者など交通弱者への対応（再掲）
- ⑦市民・来訪者に分かりやすい運行情報の改善と利用促進に向けた市民意識の醸成
- ⑧多様な主体の連携による持続可能性の確保

【公共交通の基本的な方針】

- **基本方針１**
  ：広域アクセスやまちづくりとの連携を図った利便性の高い公共交通網の構築を目指す
- **基本方針２**
  ：八潮市コミュニティバスの再編等により公共交通空白・不便地域の改善を目指す
- **基本方針３**
  ：市民や来訪者等誰もが利用しやすい公共交通環境の充実を目指す
- **基本方針４**
  ：多様な主体との連携によるまちづくりと一体となった持続可能な公共交通を目指す

基本方針① 広域アクセスやまちづくりとの連携を図った利便性の高い公共交通網の構築を目指す

鉄道、路線バス、八潮市コミュニティバス、タクシーの各公共交通機関や民間企業送迎バスが機能分担し、拠点間と周辺都市を結び、市内外の活発な交流促進を目指した公共交通ネットワークの構築を目指すことが重要である。

このことから、現在整備中の土地区画整理事業や、八潮市役所庁舎建設及び北部拠点まちづくり推進地区などのまちづくりと連携を図りながら、需要やニーズに対応し、有機的かつ効率的に機能する公共交通ネットワークの実現を目指す。

なお、市民ニーズが高い越谷市や三郷市にある大規模店舗へのアクセスについては、需要面や運行の効率性等を見極めながら、民間主体を基本に、運行の可能性を検討していく。

○八潮市役所庁舎建設に合わせた公共交通の再編（八潮駅と主要施設へのアクセス強化）

○交通結節点の機能強化（運行情報案内の充実、運行ダイヤの接続、乗継運賃割引など）

基本方針② 八潮市コミュニティバスの再編等により公共交通空白・不便地域の改善を目指す

八潮市コミュニティバスの再編に向けては、鉄道や路線バスとの役割分担を図りつつ、時間帯毎や曜日毎の需要変動、運行の効率性（1運行当り所要時間（最大）…北ルート：70分、西ルート：67分）、財政負担などを考慮し、さらに草加市など周辺都市で運行中の路線バスやコミュニティバスとの連携強化など広域アクセスにも配慮して、公共交通空白・不便地域の改善を図る。

○八潮市コミュニティバスの再編

○新たな交通モードの導入検討

基本方針③ 市民や来訪者等誰もが利用しやすい公共交通環境の充実を目指す

各公共交通機関同士を有機的に接続させ、乗継ぎに対する負担や抵抗が最小限となるよう、交通結節点での乗継環境（ダイヤ、待合環境、料金等）の整備を進めるとともに、市民だけでなく、多くの来訪者や観光客にも分かりやすい利用者目線に立った情報提供の充実を目指す。

さらに、高齢者や障がい者など誰もが無理なく移動できるようにするため、公共交通に関連する施設や車両のバリアフリー化等、円滑に公共交通が利用できる環境整備に取組む。

○交通結節点の機能強化《再掲》

○運転免許証自主返納などのための高齢者の移動支援の充実

○バリアフリー車両の導入促進、バス停の待合環境の改善

基本方針④ 多様な主体との連携によるまちづくりと一体となった持続可能な公共交通を目指す

持続可能な公共交通ネットワークを確保するためには、従来の行政、交通事業者に頼った公共交通の維持・確保ではなく、地域自らが「公共交通はみんなで『つくり・守り・育てる』」という意識を持って関わっていくことが重要である。

公助、共助による支え合いを大切にし、商工会、観光協会、社会福祉協議会、企業など様々な団体等との連携による地域ぐるみの利用促進の展開などにより、まちづくりと一体となった持続可能な公

共交通を目指す。

さらに、自動運転技術等の導入や限られた交通手段の有効利用により安全で利便性の高い公共交通を目指す。

〇公共交通に対する情報発信の充実

〇意識啓発や醸成を促す利用促進活動（モビリティ・マネジメント）の展開

〇短距離移動の支援

〇運転手の確保・育成

〇既存ストック（民間企業送迎バス等）の有効活用

〇技術改革（MaaＳなど）に関する情報提供の充実

（２）公共交通網のあり方

①公共交通再編の基本的な考え方

八潮市の公共交通ネットワークは、基本理念である「まちのコミュニティをつなぐ利用しやすい公共交通網の構築」に向けて、広域アクセスに留意し、次の観点から**「八潮駅～八潮市役所～草加駅を基軸とした多方面に行きやすいネットワーク」**の構築を目指す。

○八潮駅と八潮市役所、草加駅を基軸に、他公共交通と連携し、効率的で効果的な公共交通ネットワークの構築
○路線バスと八潮市コミュニティバス、民間企業送迎バス等とが有効活用できる組合せ及び輸送効率の向上の実現
○交通結節点の機能強化による公共交通機関同士の相互連携の実現

②各公共交通機関の役割

八潮市は東西に約 5.23 km、南北に約 7.45 kmと南北に長い市域となっており、目的地・外出パターンに合った直行性を追求した公共交通網では、路線長が長大となるため、利便性や効率性などの低下が懸念される。

そのため、各公共交通機関が提供するサービスの特徴を最大限に発揮し、適切な役割分担のもと緊密に連携しながら、利便性向上と効率的な運行を目指した公共交通網の構築を目指す。

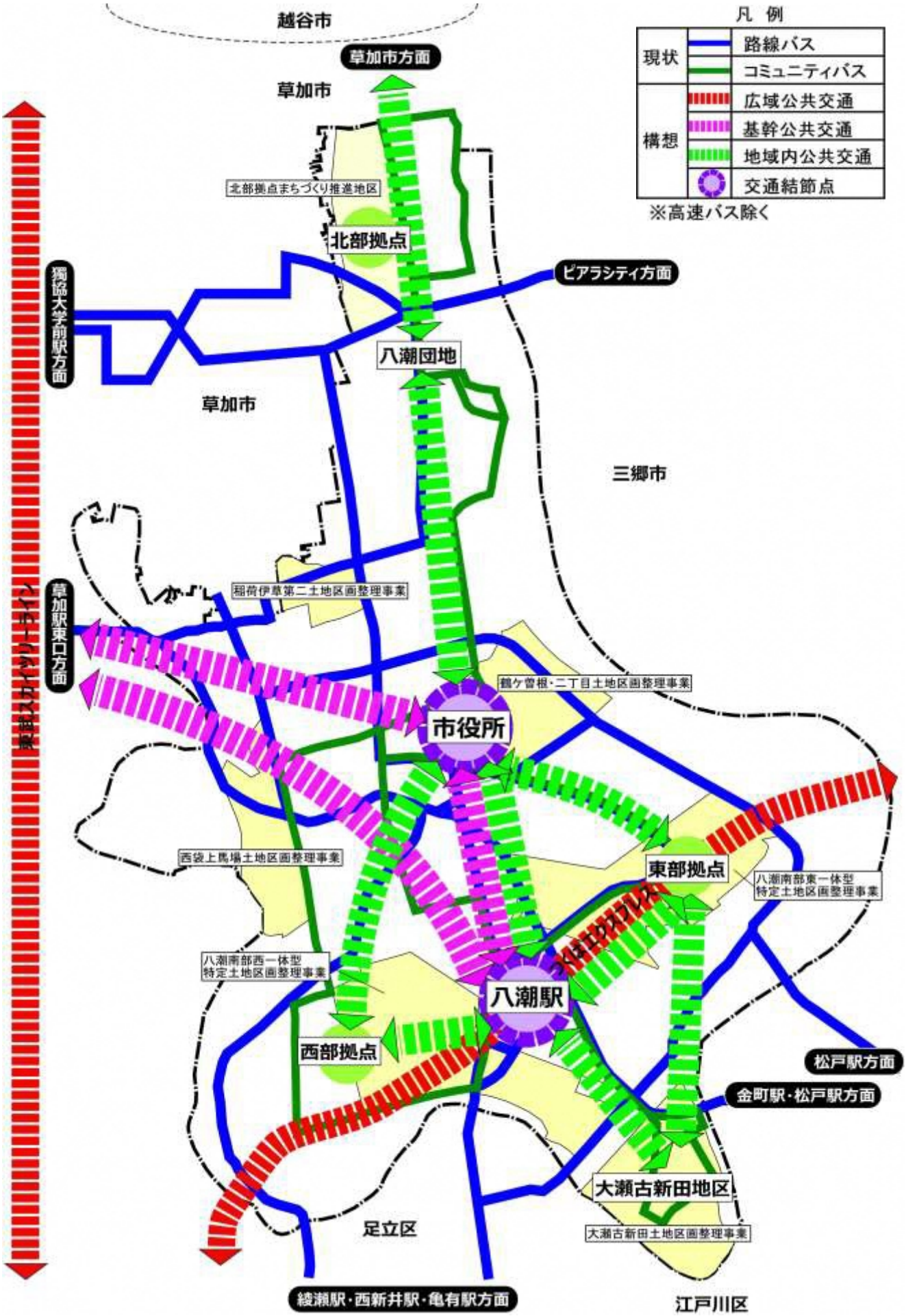
■各公共交通機関の機能分担

分類		交通機関	位置付け・役割	移動距離※	
				都市間	市内
幹線	広域公共交通	鉄道、高速バス	・都市間を連絡し、広域的な移動を担う交通	◎	×
	基幹公共交通	路線バス	・八潮駅と八潮市役所、草加駅を連絡し、骨格的な移動を担う交通	○	○
	地域間公共交通	路線バス	・草加市、周辺都市の各地や、八潮駅と市内各地を結ぶ移動を担う交通	○	○
支線	地域内公共交通	八潮市コミュニティバス（新たな交通モードの導入検討含む）	・主に地域内の移動と交通不便地域の解消を担う交通	×	◎
補完公共交通		タクシー	・ドア・ツー・ドアの少量個別輸送を担う移動手段で、個別のニーズに機動的や柔軟的に対応可能な交通	△	○
その他		民間企業送迎バス	・病院など特定の利用者等の移動を担う交通	×	△

※移動距離（利用者の移動）…◎：多い、○：やや多い、△：少ない、×：無い

③交通結節点のあり方

効率的で効果的な地域公共交通網の構築を目指す上で、交通結節点は、幹線、支線、補完公共交通の接続性を高める重要な役割を担う。そのため、情報提供、乗継負担の軽減などを考慮する必要がある。

交通結節点は、幹線同士、あるいは幹線・支線の乗継が可能な場所で、「八潮市都市計画マスタープラン」の将来都市構造で「都市核」に位置付けられている**「八潮駅」**と**「八潮市役所」**とする。

■公共交通骨格形成イメージ